Vol. 71 通巻823号　平成2年10月25日発行　毎月1回25日発行　昭和24年3月19日第3種郵便物認可

ISSN 0912-8182

建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY

特集

兵庫県営繕の歩み
都市のナイス・プレイス

10

OCTOBER



1990

日本建築協会

大阪ガス

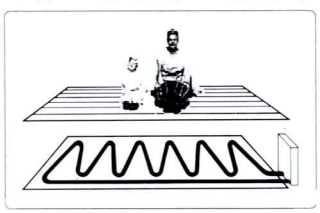
◎新居に床があると限り、床暖房はカンタンです。

近い将来、新居を計画してる方と、
遠い将来だけど、予定はしてるぞって方に、お伝えします。
これからのおうち暖房は、ガス温水床暖房がいいですよ。
ぜひ、よーく知って欲しいのですよ。
みんなが思ってる以上に、身近なモノなのですよ。



そのぬくもりは、日なたぼっこみたいなんです。

床の下にお湯をめぐらせてあったためる温水床暖房は、頭寒足熱の健康的な暖房です。しかも、皮ふ内の温点に直接作用する遠赤外線効果で、からだの芯までポカポカに。寒い冬の日も、日だまりみたいなお部屋で過ごせるんですね。



その燃費は、ホントは安あがりなんです。

とはいうものの、ガス代が気になるわって声に、ズバリお答えします。1時間でわずか※約17円、1カ月でも※約3,050円。お部屋を効率よくあったためる温水床暖房ならではの、うれしい燃費です。これなら冬中使い続けられますね。

※1時間当たり＝1日6時間連続運転した場合ひと月当たり÷1時間当たりのガス代。6時間×30日6畳洋室、外気温5℃（湿度60%）室温18℃ガス119.42円／㎥（大阪ガス実測値）

その工事は、おおげさに考えなくて大丈夫。

家を建てる前に計画しておけば、とってもスムーズに設置できますよ。洋室から和室まで、床材も豊富に揃ってます。設置にかかる費用もそんなにおおげさな値段ではありません。ホントです。まずは大阪ガスに、声をかけてください。

ガス温水床暖房

（ よーし、わが家も考えてみようと思ったら、）

【ガス温水 床暖房に関する資料請求・お問合せは、お近くの大阪ガス各支社まで】

大阪エネルギー営業部　大阪市西区千代崎3-2-95☎ 06(582)0471
南部支社　堺市住吉橋町2-2-19☎0722(38)1131
北部支社　高槻市藤の里町39-6☎0726(71)0361
阪神支社　西宮市和上町4-11☎0798(26)3101
東部支社　東大阪市稲葉2-3-17☎0729(62)1131
神戸支社　神戸市中央区東川崎町1-8-2☎078(360)3024
京都支社　京都市下京区中堂寺粟田町1☎075(312)3961
奈良支社　奈良市学園北2-4-1☎0742(44)1111
和歌山支社　和歌山市本町1-5☎0734(31)2481
姫路支社　姫路市神屋町4-8☎0792(85)2221
東播支社　加古川市加古川町粟津29-1☎0794(21)1801
豊岡支社　豊岡市三坂町6-57☎0796(23)2221
湖南支社　草津市追分町字荒堀680-1☎0775(62)5311
彦根支社　彦根市大東町12-11☎0749(22)3131

日本建築協会・海外研修旅行参加者募集

イスラムの建築を訪ねて



622年にアラビア半島で興ったイスラム教は、その後約100年の間に西はエジプト、アフリカ北岸、イベリア半島、東はイラン、中央アジア、インダス流域に到るまでの広範な地域に拡大し、以降、諸王朝の栄枯盛衰をみながら、それらの地域文化に影響を与えました。

しかし、イスラム教発祥の地には、とりたてて建築文化があったわけでなく、各地域固有の文化にイスラム教が影響を与え、新たな文化として昇華し、優れた美を後世に伝えています。これは、異文化（イスラム）に対する憧れを表明しつつ、自らの文化との融合を実現させたからと言えます。

今回の研修旅行で、トルコ、モロッコ、スペインのイスラム建築を訪ね、それぞれの建築文化の微妙な差異を感じとれれば、モダニズム以降の過剰なまでのデザイン的状況におかれている私達に清新なインパクトをもたらしてくれるに違いありません。

悠久の時間をかけた文化の伝播を15日間で旅してみませんか。

〈募集要項〉

1．訪問都市

（トルコ）　イスタンブール
（モロッコ）ラバト、メクネス、フェズ
（スペイン）セビリア、コルドバ、グラナダ、バルセロナ

2．旅行期間

1991年2月5日(火)～2月19日(火)〔15日間〕

3．募集人員

先着25名（最小催行人員）
※募集人員に達し次第締切前でもお断りする場合があります。

4．旅行費用

会員　465,000円（団体会員は、1社につき1名まで会員扱いとさせていただきます）
一般　490,000円
※定員に満たない時は変更する場合があります。

5．申込締切日

1990年12月10日(月)

6．申込方法

下記「参加申込用紙請求書」を(社)日本建築協会事業課へお送り下さい。折り返し正式申込書、手続案内書をお送りいたします。(本会事業課までＦＡＸか電話でご連絡いただいても結構です)

7．申込金

★50,000円（旅行費用に繰り入れます）
★正式参加申込時に下記銀行へお振り込み下さい。

8．旅行費用振込先および振込期日

★北海道銀行大阪支店
㈱日本交通公社大阪本町支店
普通預金口座002219
★平成3年1月21日(月)までに残金をお振り込み下さい。
※ローンのご利用も可能ですので、下記旅行社にお問い合わせ下さい。

9．問い合わせ先

★社団法人日本建築協会事業課
〒530 大阪市北区梅田1-1-3-2100
（大阪駅前第3ビル21階）
TEL.06-348-0633　FAX.06-348-0634
★株式会社日本交通公社大阪本町支店
〒541 大阪市中央区安土町3丁目5-12
TEL.06-261-2513
旅行業務取扱主任者／岸隆次
担当者／萬代・松尾・岩田

〈旅行条件〉

この旅行は、㈱日本交通公社が取り扱うものです。

■次の費用は旅行費に含まれています。

1．旅行日程に明示された航空運賃（ただしエコノミークラス）、船舶運賃およびバス料金
2．各地におけるファーストクラスホテルの宿泊料金および税・サービス料金（2人部屋に2人宿泊を基準とします）
3．全朝食、昼食6回、夕食6回（機内食含まず）の食事料金および税・サービス料
4．手荷物の運搬料金（お一人様20kg以内のスーツケース1個）
5．添乗員費用

■上記費用のほかは旅行費に含まれません。その一部を例示します。超過手荷物料金、クリーニング代・電報電話料・ホテルのボーイ・メイド等に対するチップその他追加飲食等個人的性質の諸費用およびそれに伴う税・サービス料、渡航手続関係諸費用、お客様のご希望による1人部屋追加料金、オプショナルツアー代金、日本国内の空港施設使用料、日本国内におけるご自宅から発着空港までの交通費・宿泊費、旅行日程中の空港税等。

■取消料

申込者のご都合で参加をお取り消しになる場合、1人当たり下記の取消料を申し受けます。
平成2年12月25日以降……50,000円
平成3年1月21日以降……100,000円
平成3年2月3日以降……200,000円
旅行開始後……お客様が未だ旅行サービス提供を受けていない部分に係わる旅行代金の金額。

■この旅行条件は、平成2年9月29日を基準としておりますので、航空運賃および各種交通機関などの運賃改訂並びに為替相場その他の事由により変更される場合があります。

■特に記載のない事項については、株式会社日本交通公社旅行業約款に準拠するものとします。

切取線

日本建築協会
海外研修旅行
参加申込用紙請求書

現　住　所

氏　　名　　年齢(　　歳)

勤 務 先 名

電　話(自宅)

電話(勤務先)

イスラムの建築を訪ねて　1991年2月5日～2月19日

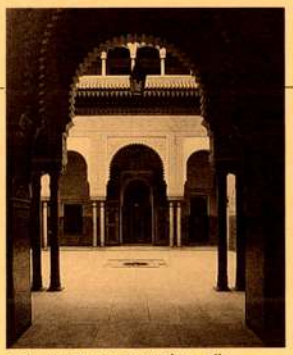
日本建築協会海外建築視察旅行日程表

日次	月日(曜)	都　市	現地時刻	交通機関	摘　要	宿泊地	主な見学施設
1	2月 5日(火)	大阪発	19：20	LH734		機中泊	
2	2月 6日(水)	フランクフルト着 フランクフルト発 イスタンブール着	06：15 09：20 13：10	LH1090 貸切バス	**イスタンブール** 建築視察	イスタンブール	●スレイマニエモスク ●ブルーモスク ●アハメットIII噴水 ●リュステム・パシャ・モスク ●トプカプ・サライ など
3	2月 7日(木)	イスタンブール (OP：エディルネ)			**イスタンブール** 自由視察	イスタンブール	
4	2月 8日(金)	イスタンブール発 フランクフルト着	18：20 20：20	貸切バス LH109	**イスタンブール** 建築視察	フランクフルト	
5	2月 9日(土)	フランクフルト発 カサブランカ着	10：45 12：20	LH1958 貸切バス	貸切バスで**ラバト**へ 着後 **ラバト**建築視察	ラバト	●ハッサンの塔 ●ルワーの門 ●ウダイヤカスバ など
6	2月 10日(日)	ラバト発 フェズ着	朝 夕	貸切バス	貸切バスで**メクネス** 経由 **フェズ**へ 途中 **メクネス**建築視察	フェズ	●ムーレイ・イスマイル廟 ●マンスール門 ●ブー・アナーニア・メドレセ など
7	2月 11日(月)	フェズ			**フェズ**建築視察	フェズ	
8	2月 12日(火)	フェズ発 タンジール着	午後 夜	貸切バス 〃	**フェズ**建築視察	タンジール	●エル・カラウィン・モスク ●ブー・イナニア・メドレセ ●王宮の門 ●ヌ・ジャーリーン広場 ●メディナ など
9	2月 13日(水)	タンジール発 アルヘシラス セビリア着	07：00 09：00 午後	船 貸切バス 〃	**セビリア**建築視察	セビリア	●アルカサール ●ヒラルダの塔 など
10	2月 14日(木)	セビリア発 グラナダ着	朝 夕	貸切バス	貸切バスで**コルドバ** 経由 **グラナダ**へ 途中 **コルドバ**建築視察	グラナダ	●メスキータ など
11	2月 15日(金)	グラナダ発 バルセロナ着	19：15 20：25	AO434 貸切バス	**グラナダ**建築視察	バルセロナ	●アルハンブラ宮殿 ●ヘネラリーフェ など
12	2月 16日(土)	バルセロナ			**バルセロナ**自由視察	バルセロナ	
13	2月 17日(日)	バルセロナ			**バルセロナ**自由視察	バルセロナ	
14	2月 18日(月)	バルセロナ発 フランクフルト着 フランクフルト発	13：10 15：10 17：55	LH1883 LH742	**バルセロナ**自由視察	機中泊	
15	2月 19日(火)	大阪着	17：25				


スレイマニエモスク(イスタンブール)


リュステム・パシャ・モスク(イスタンブール)


ブルーモスク(イスタンブール)


エル・カラウィン・モスク(フェズ)


ブー・イナニア・メドレセ(フェズ)


メスキータ(コルドバ)


アルハンブラ宮殿(グラナダ)

＊上記日程は交通機関の都合により変更になることがありますので、予めご了承下さい。

出版委員会企画「プロのノウハウ」講座シリーズ（第4回）

「ニュー組積建築のすすめ」—21世紀の建築生産システム

日時　平成2年11月22日㈭　開場17:30　開会18:00→閉会20:00
会場　日本建築協会・ラウンジ（大阪駅前第3ビル・21階）

近年、新しい組積造の開発がさまざまなレベルで行われるようになってきています。とりわけ、日米共同大型耐震実験研究計画の成果として誕生した新型組積造「RM構造」（Reinforced Masonry）は、鉄筋コンクリート壁式構造の施工に組積式プレキャスト型わくを用いた新しい建築生産システムをもたらし、またそれに関連して、建設の計画やブロック関連の新しい工業化技術の開発など新しい動きがでてきています。

「プロのノウハウ」講座シリーズ（第4回）では、「ニュー組積建築のすすめ—21世紀の建築生産システム」の監修および執筆をされた福嶋孝之氏と共同執筆者である石井克侑氏、北原哲五郎氏の3人を講師にお招きし、・組積建築の生い立ち　・現代に生きる建築生産技術の条件　・ニュー組積建築とは　・工業化技術への挑戦についてをわかりやすく解説していただき、21世紀のために必要な工業化システムが可能となるまったく新しい組積式型わくを用いた鉄筋コンクリート構造の施工システムの将来性について語っていただきます。

設計や施工にたずさわっている方にとって役に立つお話が伺えます。

多数のご参加をお待ちいたします。

講　師　福嶋 孝之氏（株式会社長谷工コーポレーション専務取締役、本社技術研究所所長）
石井 克侑氏（太陽セメント工業株式会社専務取締役）
北原 哲五郎氏（株式会社タイガーマシン製作所代表取締役）

定　員　30名

受講料　会員　4,000円
一般　5,000円
（消費税を含みます）
※当日受付にていただきます。

テキスト　〈プロのノウハウ〉「ニュー組積建築のすすめ—21世紀の建築生産システム」を使用（テキスト代1部特価1,957円〔消費税含む〕にて頒布、当日ご持参の方は不要です）。

申　込　はがきかＦＡＸまたは電話にて、11月15日㈭までに本会事業課へお申込みください。催し名（プロのノウハウ講座）、氏名、会員・一般の別、勤務先、参加証送付先、電話番号をお知らせ願います。定員超過の場合は抽せんにて決定の上、参加証をお送りいたします。
日本建築協会事業課：〒530 大阪市北区梅田1-1-3-2100（大阪駅前第3ビル・21階）
FAX.06-348-0634　TEL.06-348-0633

福嶋孝之（ふくしま　たかゆき）
1961年　京都大学工学部建築学科卒業
1963年　同修士課程修了
㈱長谷川工務店（現　長谷工コーポレーション）入社、取締役設計本部長、常務取締役本社技術開発部担当等を経て
現　在　同社専務取締役、本社技術研究所所長、一級建築士、技術士（建設部門）
著　書　「高層集合住宅の維持管理」学芸出版社
「老朽マンションの保守・再生」鹿島出版会

石井克侑（いしい　かつゆき）
1977年　早稲田大学商学部卒業
1979年　米国、アメリカン大学経営大学院修了（MBA）
太陽セメント工業㈱入社、取締役企画室長を経て
現　在　同社専務取締役

北原哲五郎（きたはら　てつごろう）
1972年　大阪大学工学部機械工学科卒業
1974年　大阪大学経済学部経営学科卒業
㈱タイガーマシン製作所入社、企画開発室長、副社長を経て
現　在　同社代表取締役



◀「建築と街づくりを考える」—PART 1—

—日本建築協会協賛—

日本建築学会近畿支部主催の講演会「建築と街づくりを考える」シリーズの第一弾は、「設計とその表現」です。

日　時　1990年11月30日㈮　18:00～20:00
会　場　大阪科学技術センター8F中ホール
（大阪市西区靱本町1-8-4　TEL.06-443-5321）
講　師　川崎　清氏（京都大学教授）
司　会　大辻眞喜夫氏（竹中工務店）
定　員　100名（先着順）
参加費　1,000円（資料代含む）—当日会場にて徴収—
申　込　日本建築学会近畿支部（〒550 大阪市西区靱本町1-8-4）へ往復ハガキで、11月16日㈮必着。

◀「フランク・ロイド・ライト展」

—日本建築学会ほか主催、日本建築協会ほか後援—

フランク・ロイド・ライト（1867～1959）の業績を今日の視点から再考紹介するための、本格的な展覧会が来春開催されます。

会期会場　1991年1月2日～2月10日　東京池袋・セゾン美術館
4月2日～5月6日　京都国立近代美術館
5月18日～6月23日　横浜美術館
7月2日～7月28日　北九州市立美術館

内　容　オリジナルスケッチ、設計図面、建築模型、建築部分、家具、装飾ガラス、食器、写真、ライト蒐集の日本関係のコレクション、ＴＶインタビューのビデオ

借用先（予定）　シカゴ美術館、メトロポリタン美術館、ジョンソン・ワックス社、ニューヨーク近代美術館、京都大学ほか

◀'90建築関係団体合同忘年懇親会

関西建築界の恒例行事である忘年懇親会を、本年も建築関係団体合同で開催することになりました。多数の建築関係者が集い、親交を深めます。何卒ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

日　時　平成２年12月14日㈮　午後６時～７時30分

会　場　太閤園ダイヤモンドホール
（ビュッフェ・スタイルのパーティ）
大阪市都島区網島町９－10　電話 06(356)1111番
（京阪京橋駅より西へ徒歩10分・市バス東野田より徒歩５分）

会　費　8,000円（別に多額の補助があります）
●ご面倒ですが会費を添えて申込期間中（11月15日～12月５日）に共催団体事務局までお越し下さるか、現金送金にてお願いします。（土曜休日）
●申込者には忘年懇親会参加証をお渡しします。

定　員　400名

余興・福引　豪華景品が当たります。（寄贈品を含む）

お土産　参加者全員に進呈

お願い
(1)出席者名簿を作成しますので申込の際に氏名・勤務先をお知らせ下さい。
(2)申込者で12月５日までに欠席の連絡がない場合は会費のご負担を願います。
(3)当日は参加証で受付いたしますから必ずご持参願います。

共　催　㈳日本建築協会　㈳大阪府建築士会　㈳大阪建築士事務所協会　㈳新日本建築家協会近畿支部

協　賛　㈳日本建築学会近畿支部　㈳大阪建設業協会　㈳日本建築材料協会　㈳建築業協会関西支部　㈳日本建築構造技術者協会関西支部

◀'91建築関係9団体合同新年交礼会

日　時　平成３年１月４日㈮　午後２時30分～３時30分

会　場　大阪コクサイホテル８階宴会場（大阪市中央区内本町）

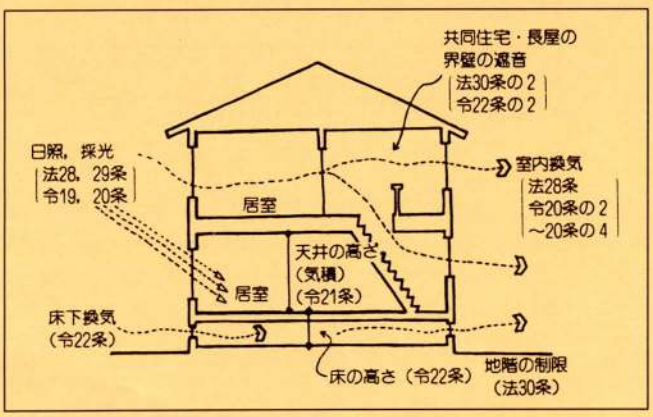
会　費　2,500円（申込者で当日欠席されても会費をいただきます）

申　込　12月11日までに会費を添えて最寄りの団体にお申込下さい。

建築基準法を読みこなすコツ

プロのノウハウ

高木任之著　四六判・256頁・定価2060円(本体2000円)



法令を正しく読んで運用するコツを伝授!!

＜目　次＞
1章　建築基準法を読みこなすコツ
2章　建築物の敷地の評価（用途地域・道路との関係）から
3章　建築物の造形的な可能性（床面積・高さ）をさぐる
（補章）良い環境の市街地を創り出すための手法
4章　建築物の構造形式を決める（防水・構造）
5章　階段を中心とした避難のための設計を行う
6章　火災による被害の拡大を防ぐ
7章　建築物の室内環境を整える
8章　建築物の構造強度を確かめる
9章　建築物の設備を充実させる
10章　建築手続きと建築工事ほか

企画／日本建築協会

〒600　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
☎075-343-0811　振替／京都 0-26789

㈱学芸出版社



文化の表層

タイルは、時間を越えて存在を主張する。
タイルが集まった時に生まれる表層は、差異化しているように思える。
薄いけれど深い、時間と空間が凝縮された文化の表層である。
TOTOエクステリアタイル。豊富な形象を備えて表層に文化を追う。

TOTOエクステリアタイル

東陶機器株式会社 神戸営業所 〒650 神戸市中央区三宮町1-3-11 朝日生命三宮ビル……☎078(391)8411
ショールーム 〒650 神戸市中央区京町75-2 朝日生命神戸京町ビル……☎078(391)7726



シャッターに描かれたメッセージが、閉店後のお店をアピール。

絵や写真、文字、ロゴタイプなどを使って自由に描けるスクリーンと、バックライトを、シャッターに組み込んだ〈アドビジョン〉。浮かびあがる美しいメッセージが、閉店後のお店を効果的にアピールし、前を通る人に、お店を強く印象づけます。
〈アドビジョン〉は、今、新しい時代の、新しい扉を開きました。

アドビジョン



東洋シヤッター株式会社
本　社／大阪市中央区常盤町1-3-8（日本生命谷町ビル）〒540 TEL.06 943-6571㈹　東京本社／東京都港区六本木6-3-18（第一地所麻布ビル）〒106 TEL.03 479-2911㈹

1917創刊
1990
71集

建築と社会 © ARCHITECTURE AND SOCIETY
CONTENTS
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

10 通巻823

「建築と社会」10月号表紙
表紙写真撮影　黒田青巌
表紙デザイン　藤田治彦

稗田の環濠集落

奈良県・大和郡山の稗田は、大和盆地にあった200近くの環濠集落の中で、いまも比較的原型を良く残しているものの一つである。各集落はまず濠を周囲にめぐらし、その内側には土塁と植栽を設け、狭くて見通しの悪い道路を備えている。もともと、旱魃と洪水という相反する水理条件の解決と、中世来の不安定な社会情勢への自治防衛との二つの目的を持つこの集落は、中庭を囲んだ主屋、作業小屋、倉などの単位の組み合わせで成立している。それぞれの主屋は、茅葺の両側の妻面に瓦葺の小屋根と塀を持った大屋根を備えたいわゆる大和棟の形をとっており、今なお美しい白壁があちこちに見られる。

■特集予告
11月号／第37回青年技術者和歌山県の展望と景観
12月号／高級感ー建物の顔：感性の時代を迎えての外装材
1月号／新しいまちづくりの手法

会　長　佐野正一
副会長　金多　潔・秦貨公明
　　市川　宏・鴻池藤一

編集委員会（平成2年度）

■編集理事
井上　豊
金井　弘次
小島　雄
城　憲一
須賀　好富
竹中　練一
深江　実
松村　慶三
溝神宏至朗
若山　繁

■編集委員長
溝神宏至朗

■編集顧問
東　孝光

■編集委員
★計画系分科会
☆計画系
梅村　宏尚
河端　秀直
小浦　久子
※鈴木　克彦
○田中　直人
中井　省吾
松川　敏正
山尾　弘子
横関　真紀
吉村　英祐
☆建築計画系
石山　道男
○上杉　秀隆
江副　敏史
北村　潤
※佐藤不二男
塚本　史郎
刃金　国男
三沢　真理
森田　晴美
矢野　裕芳
山中　恵子
山本　匡
☆インテリア・住宅系
石倉　健彦
大森　智子
大橋真由美
○加藤　力
神谷　剛
※北浦かほる
駒田　哲男
西川　純一
福田　由利
増地　秀夫
★構造分科会
和泉　一義
稲葉　繁夫
角　彰
多賀　謙蔵
馬場　研介
○山崎　雅生

★設備分科会
安倍　浩一
池田　秀行
○遠藤　進
梶井　宏修
河津　隆之
伊達　正雄
★施工材料分科会
○有光　利治
植田　実
河戸　隆
志水　史典
松村　衛
村上　信直
★法令分科会
佐藤　勝
○島田　裕至
高橋　博之
寺田　恭信
松井　昭
■作品作風小委員会
荒川　朱美
遠藤　公介
尾崎　久純
岡本　隆
※北澤　修一
玉崎　良和
富田　昌義
福地　一彦
前川　治彦
松田　善弘
○宮下　幹雄
水川　尚彦
宮崎ひろ志
■会員企画小委員会
伊藤　郁郎
稲木　裕子
上埜　京子
尾崎　俊文
大沢　智弘
北村　恭一
小板橋鉄雄
小林　孝一
※佐伯由紀子
柴田　厚
○高田　光雄
※高橋　麗子
塚口　明洋
増渕　昌利
山嵜　章子
■広告企画小委員会
※池渕　俊男
佐野　寛志
○下村　甫
橋本龍二郎
原田　常介
藤田　孝吉
山下　修司
○渡辺　忠

○印 副委員長と幹事　※印 同代行

印　刷　平成2年10月20日
発　行　平成2年10月25日
発行人　社団法人日本建築協会
発行所　社団法人日本建築協会
　　大阪市北区梅田1-1-3-2100
　　電　06—348—0635
　　振替口座 大阪1-39975
印刷所　日本写植印刷株式会社
　　電　06—606—1111㈹
　　青葉印刷株式会社
　　電　06—351—5428㈹
定　価　980円（本体価格951円・送料共 消費税29円）

会告
作品作風
スケッチブック
法令コーナー
INFORMATION
being
書評
新建材紹介コーナー
GBRCニュース
建築の眼
特集
作品
記事・資料
メッセージ
特集
構造の頁185
設備の頁187
INFORMATION
月報
アメリカからの報告(7)

特集●兵庫県営繕の歩み ●都市のナイス・プレイス

SPECIAL FEATURES ON 1920-1990 HYOGO PREFECTURAL GOVERNMENT PUBLIC BUILDING MAINTENANCE DIVISION AND A NICE PLACE IN THE TOWN.

海外研修旅行参加者募集「イスラムの建築を訪ねて」．プロのノウハウ講座シリーズ第4回「ニュー組積建築のすすめ」－21世紀の建築生産システム．「建築と街づくりを考える」－PART 1－．「フランク・ロイド・ライト展」．'90 建築関係団体合同忘年懇親会．'91 建築関係9団体合同新年交礼会 —— 1
JCB琵琶湖荘 —— 設計施工：大林組 —— 8
ニッセイ大分駅前ビル —— 設計監理：安井建築設計事務所　施工：東急建設・後藤組共同企業体 —— 10
最近竣工した新建築8点(No.2295～No.2302) —— 12
都市城における住宅地等の供給促進のための都市計画法ほかの改正／梶原昭二 —— 13
「安藤忠雄建築展」東京、大阪で開催．大阪まちなみフェスティバル、記念講演は安藤忠雄氏．来年8月、石川県能登島にガラス専門美術館誕生．GALLERY MA主催展「北川原温の建築」．INAXギャラリー大阪企画展「万国博の日本館展」．住まいの提案募集「女性にとって魅力あるまちと住まい」．「ペレストロイカ－ゴルビーの家」コンペ． —— 14
森田啓介／堤　展子 —— 16
中世の建築家像の謎／加藤邦男 —— 18
ブックステーション／大沢智弘・山嵜章子 —— 19
エバーフレッシュII／戸田悠二 —— 21
複層ガラスの加速耐久性試験(耐湿耐光試験)装置／行貝光史 —— 23
ゴシック建築のアイロニー／加藤邦男．研究者の住宅対策／馬場宏史．「見る人」と「作る人」／黒田公三．車と社会－その4／山根千鶴子 —— 24

兵庫県営繕の歩み

兵庫県庁舎第3号館．兵庫県公館．県立神戸商科大学．たんば田園交響ホール．兵庫県立こどもの館．県立尼崎病院．新たんば荘．県立歴史博物館．神戸高等技術専門学院・女子高等技術専門学院．尼崎青少年創造劇場．西はりま天文台公園．県立図書館．淡路勤労センター．生活科学研究所．篠山総合庁舎．健康センター．嬉野台生涯教育センター．姫路短期大学．浜坂身障者保養センター．城崎大会議館．兵庫県職員会館．西はりま青少年館．大鳴門橋記念館．淡路ファームパーク．県立総合体育館．県立文化体育館．垂水警察署．県立柏原病院．県立兵庫工業高等学校．円山川公苑．西宮警察署．県立弓道場．姫路港旅客ターミナル．県立篠山産業高等学校．長田警察署． —— 26
挨拶“公共建築”21世紀への飛躍 —— 足立穎一郎 —— 48
年譜　兵庫県営繕組織の変遷 —— 兵庫県都市住宅部営繕課 —— 49
掲載作品建築概要 —— 兵庫県都市住宅部営繕課 —— 53
掲載作品ガイドマップ —— 兵庫県都市住宅部営繕課 —— 55
抱負　70年の伝統を引き継いで —— 松田泰典 —— 57
営繕課の70周年を振り返って／神田省三．兵庫県営繕課への思い入れ／光安義光．兵庫県営繕課の伝統の更なる発展に期待する／嶋田勝次．光を創る／三浦啓子．確かさの追求－これからの兵庫県営繕／安藤忠雄．公共建築への情熱／内井昭蔵． —— 58

都市のナイス・プレイス

陶器神社／松川敏正．法善寺の界隈／木津川計．彼との出会い／梅村宏尚．秘密の散歩道／有村桂子．雙ヶ丘・石仏への道／入江美津子．“ヶ”の聖空間／今井祝雄．四天王寺西門から／井本由之．新しさの中の古さ、古さの中の新しさ／鳴海邦碩．OLD AND MODERN INTERESTING STROLLING AREA…／SOWIYK EKO CAHYONO．賀茂川と高野川が合流する地点／鈴木克彦．中之島かいわい／恒成一訓．都市のオアシス／川西祐三郎．意外に知られてない“蔦風発祥の地”／浅井峅一．人工都市の緑のオアシス－千里南公園－／磯野新．KAMOGAWA:A 'SENPAI' RIVER／LOPEZ P.,MIGUEL A.西宮港／中井省吾．開けた水面／菅家克子．川向こうの梅田／横関真紀．大川左岸－様々な人風景－／山尾弘子．街のパースペクティブ／小浦久子．O.B.P.から極楽橋へ／瀬尾理．カルチェ・ヌーボー新開地／高田昇．安治川トンネル／國本喜之．筋違橋／北辻稔．ニュータウンの歩道／黄大田．電柱のない道／Karin Kuroda=Hachtmannn．神戸っ子の“花の道”／小泉美喜子．奈良町と私／北條蓮英．帝塚山の裏道／山形政昭．陰れている小路／徐貴淑．アメリカンビレッジ／川井秀幸．大阪スタヂアム／橋爪紳也．都市の中のINDIA／鎌田幹子．職人の心意気を感じる露店／瀬川雅士．匂いのある場所／西島登子．一万三千坪の宿／和田幸治．錦市場／高田公理．屋台／薄俊也．巷大好き／藤田邦昭．Multi-Purpose Spot／TANIMU TANKO OSMAN．JR片町駅／吉村英祐．大阪駅前第3ビル3階広場／岡田和子．湧き水のあるスポット／田中直人．すきまから見えるげ・ん・ば／井面和子．ナイスにしたいダイヤモンドプラザ／高田佳子．ギャラクシー・ホール／河端秀直．日常生活の片隅になにげなく／望月照彦．木津川べりの私の住まい／伊勢戸佐一郎．At the Foot of Mt.Rokko／Anne Yamatsui．玄妙庵から／山崎泰孝 —— 72

プレキャスト・プレストレスト・コンクリート版を用いたドーム型シェル屋根の設計と施工／土居健二 —— 93
凍結防止弁／南　正文 —— 95
美と建築－ＪＩＡ大阪講演会．秋期講演会－建設省建築研究所．1990建築仕上フォーラム－展示会・シンポジウム．国際デザイン・コンベンション．グローバリゼーション・オブ・デザイン —— 96
平成2年8月分 —— 97
名門の反攻　ＳＯＭシカゴ事務所の最新作2題／薄田　学 —— 98

外観南面(夜景)

JCB琵琶湖荘

設計施工　大林組



外観南西面



琵琶湖を眺む



食堂

ＪＲ湖西線・近江舞子駅より徒歩約10分。比良山系のふもとに位置し、周囲を雄大な松林で囲まれ琵琶湖岸に面する風光明媚な立地に、自社の厚生施設であるＪＣＢ琵琶湖荘が完成しました。設計にあたり我々が最も意を払ったのは、この恵まれた豊かな自然環境といかに調和させるかであり、その為に――

- 豊かな自然環境を最大限に取り込んだ計画。
- 宿泊室、食堂等目的空間に至るドラマチックなアクセス空間の演出。
- 日照、通風、プライバシー等住空間の基本条件遵守。――というコンセプトをたてました。

まず、建物は宿泊室・食堂・浴室等より成る２つのソリッドなコンクリートの部分に、階段室・談話コーナー・廊下より成るボイドなガラスの部分を挟み込んだ構成とし、その建物を既存の松林の間に注意深く配置しました。

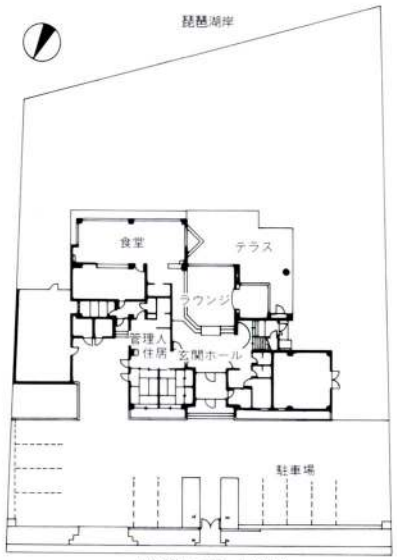
玄関を入ると２層吹抜のラウンジがあり、おおきなガラス窓を通して琵琶湖が眺められ、床レベルの変化・淡い２トーンのクロス・木質目地などにより、第一印象を大切にしています。

２・３階への階段、廊下はカーテンウォールのガラス貼りとし、東・西・北面のそれぞれ異なった風景を取り込む事により、宿泊室にいたる気持ちの高まりを、より効果的に演出しています。又、宿泊室は和室仕様で、比良の山並みや琵琶湖が一望出来るよう配慮しています。

今後、季節によって変化する環境に素直に馴染み、いつまでも新鮮味を失わず親しまれる事を願っています。　（小川芳弘・近藤友佳子／大林組）

所 在 地　滋賀県滋賀郡志賀町大字南小松字男松1095-25
敷地面積　1,936.06㎡
建築面積　379.02㎡
延床面積　774.29㎡
構造規模　ＲＣ、３Ｆ
工　　期　1989年９月～1990年５月
最 寄 駅　JR湖西線近江舞子駅

撮　　影　山本冨實成、河合止揚



1階平面図　1：800


外観西面（夜景）


ラウンジ

ニッセイ大分駅前ビル

設計監理　安井建築設計事務所
施　　工　東急建設・後藤組共同企業体

電　気　九州電気工事・日鐵電設工業共同企業体　　昇 降 機　東芝
空　調　菱熱・三信工業共同企業体　　立体駐車場　石川島播磨重工業
衛　生　朝日工業社



外観北西面

ニッセイ大分駅前ビルはＪＲ日豊本線大分駅より徒歩２分という市の玄関口に位置している。
前面は幅員30ｍの産業道路に面し、オフィスビルとしては絶好の立地条件であるが、まわりは大小様々な建物が思い思いに建ち並び、オープンスペースや緑地も不足していて、市の玄関口らしい市街地環境にはなっていない状態であった。本計画ではこうした現況を考慮して、高層建築による市街地景観を形成する手法として総合設計制度を採用した。公開空地を歩道・小公園・緑地として市民に開放し、市街地に『やすらぎの場』を提供するとともに街なみの景観形成にも寄与することを課題とした。
高層建築が街なみに与える景観上の効果を配慮して、建物の外観デザインはタイル打込みのＰＣ版に大きな横連窓とコーナー部の細い窓との組み合わせを基調としてまとめ、軽快なリズム感のあるすっきりとした表情になるよう留意した。
建物の平面構成は１階から15階まで全館貸事務室としてまとめ、高層のタワーパーキング（２基：80台）を１階から10階まで組み込み、公開空地から直接入れる店舗を地下に設けている。防災計画上の配慮から居室・避難通路は全て自然排煙が取れるように計画し、コの字形の避難通路をバルコニーで結んで災害時の安全性にも留意している。
貸室は柱のないフレキシブルな空間でまとめ、全体をヘビーデューティーゾーンに設定して将来の利用形態の変化やＯＡ・設備機器等の変更・増設に充分対応できるように計画した。また、これからのオフィスとして24時間対応のセキュリティシステム・空調システムを確立し、別府湾を一望できる大きな窓から自然光をふんだんに取り入れた『快適オフィス空間』を提供することを意図した。

（岡　憲司／安井建築設計事務所）



１階平面図　１：800

所 在 地　大分市末広町1丁目16番
敷地面積　1,470.25㎡
建築面積　933.02㎡
延床面積　11,215.49㎡
構造規模　S(一部SRC)、B1、15F、P1
工　　期　1988年10月～1990年8月
最 寄 駅　JR日豊本線大分駅

撮　　影　SS九州


玄関


東側公開空地


玄関ホール


1階エレベーターホール


5階大会議室

スケッチブック

■写真と概要をどしどしお送り下さい。
凡例：a．所在地　b．敷地面積　c．建築面積　d．延床面積　e．構造規模　f．工期　g．最寄駅



2295 香川県工業技術センター本館・試験研究棟

設　計：香川県土木部建築課　片山建築設計事務所　日本設計　斉藤設備設計事務所
施　工：青木・河辺・別枝JV
a．高松市郷東町587-1
b．9,681.02㎡
c．2,093.6 ㎡
d．5,732.5 ㎡
e．RC、3F
f．1988年7月～1989年3月
g．JR高松駅



2296 毎日新聞神戸支局

設　計：大林組本店一級建築士事務所
施　工：大林組
a．神戸市中央区栄町通4-3-5
b．　425.19㎡
c．　370.13㎡
d．2,991.23㎡
e．RC(一部SRC)、8F、P1
f．1988年6月～1989年8月
g．阪神電鉄元町駅



2297 香川県工業技術センター実験棟

設　計：香川県土木部建築課　三高建築事務所　斉藤設備設計事務所
施　工：河辺建設工業
a．高松市郷東町587-1
b．9,681.02㎡
c．1,319.4 ㎡
d．1,282.7 ㎡
e．SRC、平屋
f．1989年7月～1990年2月
g．JR高松駅



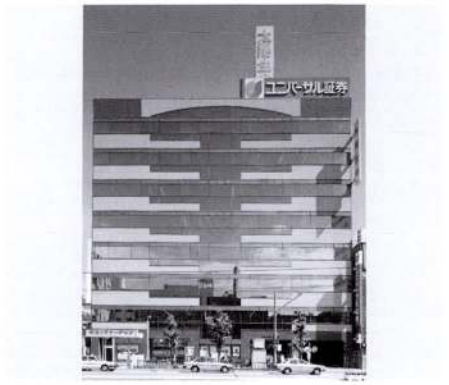
2298 日本城郭研究センター

設　計：久米建築事務所
施　工：鹿島建設・神崎組JV
a．姫路市本町68
b．8,938.09㎡
c．2,819.20㎡
d．7,497.87㎡
e．RC、一部S、B1F、2F
f．1988年9月～1990年2月
g．JR姫路駅



2299 仙台市こども宇宙館・仙台市泉図書館

設　計：佐藤総合計画
施　工：三井建設・大末建設・野呂建設・片桐工務店JV
a．仙台市泉区七北田字二本柳86
b．5,191.74㎡
c．2,282.39㎡
d．8,851.00㎡
e．SRC、RC、B1F、5F
f．1988年9月～1990年3月
g．仙台市営地下鉄八乙女駅～バス停「沖北」



2300 太陽生命鹿児島ビル

設　計：大林組九州支店一級建築士事務所
施　工：大林組九州支店
a．鹿児島市山之口町12-14
b．　573.03㎡
c．　482.45㎡
d．4,071.37㎡
e．SRC、B1F、8F、P1
f．1989年4月～1990年4月
g．バス停「天文館」



2301 紅の家 No. 2

設　計：上谷重男＋U建築企画室
施　工：久寿工務店
a．城陽市寺田庭井1-9
b．310.47㎡
c．121.91㎡
d．204.26㎡
e．木造、2F
f．1988年3月～1988年8月
g．JR奈良線城陽駅



2302 星ヶ丘住宅

設　計：神戸市住宅局住宅部建設課
施　工：鉄建建設大阪支店
a．神戸市垂水区星ヶ丘2丁目
b．6,340㎡
c．1,740㎡
d．6,220㎡
e．RC、2F～6F、4棟
f．1987年9月～1989年12月
g．JR垂水駅

スケッチブック欄作品募集！

当欄では、日々新しく竣工していく建築作品を記録として永くとどめるため、会員の皆様から提供いただいた作品を写真と概要でご紹介しております。
ご掲載ご希望の方は当協会編集部まで、どしどし原稿(写真と概要)をお送り下さい。

●スケッチブック欄原稿用紙を用意しております。ご請求ください。

法令コーナー

編集委員会法令分科会

253

都市域における住宅地等の供給促進のための都市計画法ほかの改正

主として大都市地域での住宅・宅地の供給を促進するため、関係法律が改正された。三大都市圏を対象とした「大都市地域における住宅地等の供給の促進に関する特別措置法」と、全国レベルでの「都市計画法」および「建築基準法」の三つの法律の改正であり、平成2年6月29日に公布された。

「大都市地域における住宅地等の供給の促進に関する特別措置法」の改正

現在の大都市地域における住宅・宅地問題が一の都府県の区域を超えて広範囲に及んでおり、国および地方公共団体が独自に施策を講じるだけでは不十分であることから、例えば近畿圏を一つの単位として、住宅・宅地に関する施策を推進する体制を確立することを狙っている。

国は、首都圏、近畿圏および中部圏の各圏域ごとに、「住宅及び住宅地の供給に関する基本方針」を定める。大都市圏の都府県は、この基本供給方針に即して、住宅・宅地の具体的な供給計画を定めることとしている。また、この目的を達するための具体策として、土地区画整理促進区域の指定要件が、従来「5ha以上」であったものは「2ha以上」に引き下げられた。住宅街区整備促進区域の指定要件についても、「第2種住居専用地域のみ」から「住居地域を含んでもよい」に緩和された。

従来より、土地区画整理促進区域内の土地区画整理事業は、「特定土地区画整理事業」として、共同住宅区・集合農地区への集約換地等の特例が認められている。今回の改正により市街化区域内農地等を活用した土地区画整理事業の一層の促進が図られることが期待されている。

また住宅街区整備促進区域内においては、住宅街区整備事業（当面の営農の継続を図りつつ中高層共同住宅および公共施設の整備を行う事業）を施行することができ、今回の改正により、この事業の推進を図ろうとするものである。

「都市計画法」および「建築基準法」の改正

近年の大都市地域を中心とした住宅・宅地の需給の逼迫に対処するためには、市街地における適正かつ合理的な土地利用を図ることが重要であり、とりわけ市街地区域内農地等の利用を促進するとともに、都市内の遊休土地を有効利用することがますます必要となってきている。このような観点から、「住宅地高度利用地区計画」、「用途別容積型地区計画」および「遊休土地転換利用促進地区」の三つの制度が創設された。

1．「住宅地高度利用地区計画」

第1種住居専用地域等にある、農地や、農地とバラ建ち住宅の混在する低・未利用地などで一定規模の地区を対象として、道路・公園など公共施設の整備を伴いつつ、容積率制限、高さ制限等を緩和することにより、良好な中高層の住宅市街地を形成していこうとする制度である。

その特徴は、次のようなものである。

1）都市計画として、市町村が決定するものであり、再開発地区計画と同様の土地利用転換型の地区計画である。

2）対象となる地区は、第1種住居専用地域または第2種住居専用地域内の土地利用の変化が顕著であり、十分な公共施設がない等の要件に該当する土地の区域で、良好な市街地の開発整備を行うことが必要な区域である。

3）地区計画で定める事項は、

- 土地利用に関する基本方針、その他
- 道路・公園等の公共施設の配置と規模
- 地区整備計画

4）地区整備計画は段階的に策定が行えることとし、また未策定の土地の所有者等は計画策定を市町村に要請できる。

5）地区計画の区域内において、土地の区画形質の変更、建築物・工作物の新築等を行おうとする場合には、市長村長に届出が必要である。さらに、届出に係る行為が地区計画にそぐわないときは、設計変更等の勧告をすることができる。

6）地区整備計画の内容を市町村の条例として定めた場合は建築確認の基準となり、また開発許可を要する行為については開発許可基準となる。

7）良好な住宅市街地の形成に資する建築行為については、ベースの用途地域で定められた数値等に係わらず、次のような制限の特例が認められる。

- 容積率の緩和
- 建ぺい率の緩和（最高60%）
- 第1種住居専用地域の絶対高さ（最高20m）
- 斜線制限の緩和
- 用途制限の緩和

2．「用途別容積型地区計画」

都心部やその周辺部の住宅と商店等とが混在している市街地においては、地価高騰や業務ビルの集中により、住宅と定住人口の著しい減少を示している地区がある。これらの地区では、人口減少によるコミュニティの崩壊や公共施設の遊休化等を生じており、既成市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用による住宅供給の要求が高まっている。このため、住宅に係る容積率について、ベースの用途地域の容積率の1.5倍以下を限度として割増しを行い、都心部やその周辺部での住宅供給を推進しようとする制度である。

その特徴は、次のようなものである。

1）従来からある地区計画制度を拡充して、その地区整備計画において住宅を含む建築物について特例を認めるため、計画決定の基準を定めたものである。

2）2）～5）の条件に該当する地区計画の区域内にある住宅を含む建築物の容積率の最高限度については、その地区計画で定められたものをベースの用途地域において指定された容積率の最高限度にかえて適用する。

3）住居地域、近隣商業地域、商業地域または準工業地域。

4）地区整備計画で、次の事項が定められた区域。

- 住宅に係る容積率をベースの用途地域の容積率の1.5倍以下で定められていること。
- 敷地面積の最低限度・容積率の最低限度および壁面の位置の制限。

5）4）の制限事項について、建築基準法に基づく市町村の条例が定められている区域。

3．「遊休土地転換利用促進地区」制度の新設

都市内の土地は、その地域の特性におうじて有効に利用することが必要であるが、工場跡地等の未利用地や、著しく低度にしか利用されていない駐車場・資材置場等が多く存在する。大都市地域の住宅・宅地の供給に関しては、このような低・未利用地を有効に利用することも課題である。そこで、新たに土地所有者等に土地の有効利用の責務を課すとともに、市町村にも一定の義務を課すものである。

具体的には、

1）市街化区域内の工場跡地等の低・未利用地の有効利用を図るため、都市計画により、おおむね5,000㎡以上の低・未利用の状態にある一団の土地を遊休土地転換利用促進地区に指定する。

2）この地区内の土地の所有者・権利者の協力をえて、市町村による助言・指導、地区計画の決定、土地区画整理事業の施行等を行うことにより、土地の有効かつ適切な利用を促進する。

3）さらに地区指定後2年を経過しても未利用または著しく低利用の場合には、

- 市町村長は、1,000㎡以上の一団の土地について遊休土地である旨の通知を行い、通知を受けた者は、通知後6週間以内に土地の利用または処分に関する計画を届け出なければならない。
- 市町村長は、届出のあった計画について計画変更等の勧告を行うことができ、また勧告に従わない場合は、買い取りの協議を行うことができる。

＊

都市計画法および建築基準法は、公布の日から6月以内に政令で定める日から施行するものとされており、現在、建設省において所要の政令が検討されつつあり、遅くとも年内には施行される。

（兵庫県都市住宅部建築指導課　梶原昭二）

「安藤忠雄建築展」東京、大阪で開催



大阪府立近つ飛鳥博物館(仮称)

11月から来年2月にかけて、東京、および大阪で「安藤忠雄建築展」が開かれる。

ここに展示されるのは、現在計画中あるいは工事進行中のプロジェクトの、設計のプロセスである。設計過程のスケッチからドローイング、模型、設計図、原寸図を通じて、設計のプロセスを展開しようとするものである。

展示作品は以下の通り。

「大阪府立近つ飛鳥博物館」(仮称)
「姫路市立青少年の家」(仮称)
「TIME'S II」
「六甲ハウジングII」
「EXPO'92 SEVILLA日本政府館」
「直島プロジェクト」
「中之島プロジェクト」

■東京展
会　期　1990年11月10日(土)～12月16日(日)
午後12時～6時　月曜日休館
会　場　GAギャラリー　(TEL03-403-1581)
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-12-14
主　催　A.D.A EDITA Tokyo Co., Ltd.
入場料　500円(前売、団体10名以上は400円)

■大阪展
会　期　1991年1月12日(土)～2月10日(日)
会　場　K2ギャラリー　(TEL03-354-1564)
大阪市都島区東野田町2-9-7　K2ビル

大阪まちなみフェスティバル、記念講演は安藤忠雄氏

恒例の大阪まちなみ賞(主催：大阪府、大阪市、大阪府建築士会)は、現在推薦公募中で、10月末には受賞作が決定する予定だが、その表彰式を兼ねた"大阪まちなみ賞10周年記念式典・記念講演"が大阪国際交流センターで行われる。

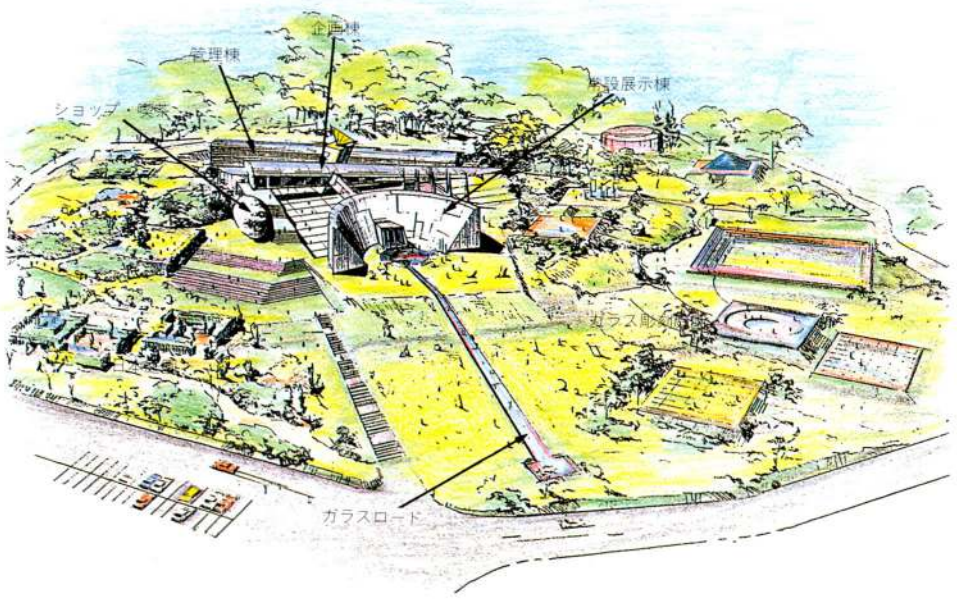
今回の記念講演は、安藤忠雄氏による「大阪に明日はあるのか－21世紀に向けての都市づくり」。

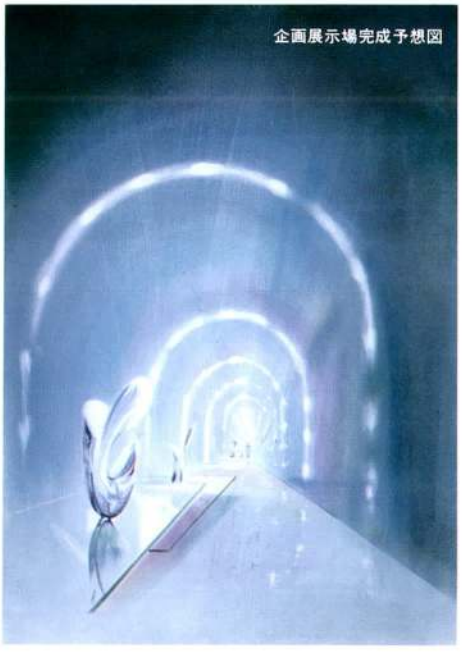
*

■大阪まちなみ賞10周年記念式典・記念講演
日　時　1990年11月27日(火) 13:30～17:00
会　場　大阪国際交流センター　(TEL07-772-5931)
大阪市天王寺区上本町8-2-6
入　場　無料　1,000名先着順
申　込　ハガキまたはFAXで、(社)大阪府建築士会「大阪まちなみフェスティバル」係
(〒540 大阪市中央区常盤町1-2-17
FAX06-943-7103)へ。入場券を送付。
式次第　13:55～14:35 第10回大阪まちなみ賞表彰
14:55～16:15 記念講演－安藤忠雄氏－
16:25～16:55 受賞作品スライド映写

■大阪まちなみ賞展(1990年11月27日～11月30日)
大阪国際交流センター、大阪府文化情報センター、大阪府本庁舎と各府民センター

来年8月、石川県能登島にガラス専門美術館誕生





企画展示場完成予想図

石川県七尾湾の真ん中に位置し、和倉温泉からは能登大橋で結ばれている周囲72kmの大きな島・能登島には手づくり工芸村「たくみの里」がある。

これは、能登島町がリゾート開発による町おこし事業構想の一環として計画しているもので、すでに実現したガラス工房では、ガラス職人が集まり、家族とともにガラス工芸品の制作から展示・販売までを手がけ、能登島観光の拠点ともなっている。

来年5月、このガラス工房とともに構想の核となる施設として、公立では国内唯一のガラス専門美術館が竣工し、8月にはオープンする予定である。このガラス専門美術館は、能登島のすぐれた自然景観を取り入れつつ、ガラスのイメージを生かし、池とガラスロードを中心に白を基調とした4棟の建物が独特な形をなすもので、イベントを実施するなど、ガラス芸術におけるリーダー的役割を果たすものである。

設計は、毛綱毅曠建築事務所。

石川県立能登島ガラス美術館(仮称)概要
建設地　石川県鹿島郡能登島町向田地内
面　積　31,107㎡(敷地)、1,812.45㎡(建築延)
構造規模　RC造、2F
工　期　着工/平成2年7月～竣工/平成3年5月
収蔵品　●乾隆ガラス152点
●ヴェネチアのガラス作家コンスタンチーニが、ピカソ、シャガールのデッサンに基づき共同制作した作品43点

GALLERY・MA主催展

「北川原温の建築」



GALLERY・MA(間)は、建築家・北川原温氏による「北川原温の建築、横たわる円錐—MALLARMÉ DE SIEGE—」と題した展示会並びに講演会を開催する。

*

■作品展

会　期　1990年11月22日(木)～12月22日(土)
11:00～19:00（日曜、祝日は休館）

会　場　GALLERY・MA　電話 03-402-1010
東京都港区南青山1-24-3 TOTO乃木坂ビル

入場料　無料

企　画　GALLERY・MA運営委員会（安藤忠雄・川上元美・黒川雅之・杉本貴志・田中一光）

■講演会

●東京　1990年11月29日(木)　18:30開演

会　場　銀座ガスホール７Ｆ
東京都中央区銀座7-9-15

定　員　360名（当日先着順受付）

入場料　無料

●大阪　1990年11月30日(金)　18:30開演

会　場　朝日生命ホール（朝日生命ビル8F）
大阪市中央区高麗橋筋5-50

定　員　400名（当日先着順受付）

入場料　無料

INAXギャラリー大阪企画展

「万国博の日本館展」

期　間　1990年11月９日(金)～1991年１月30日(木)
(11月17・18日、12月29日～1991年1月6日は休館)
AM10:00～PM6:00

場　所　INAX大阪ショールーム２Ｆ
（大阪市西区新町1-7-1　TEL 06-532-1956）

監　修　吉田光邦京都大学名誉教授

協　力　寺下　勍（博覧会研究家）
中谷作次（新聞文化資料館館長）

*

万国博における日本館の建築に焦点を当てた展示で、二つの世界大戦をはさみ百余年の日本館の変遷を、国内外の当時の資料・写真をもとに歴史年表的に構成される。また、博覧会にかかわった日本の芸人や、〝らんかい屋〟と呼ばれた博覧会専門の興行師などのエピソードも紹介される。

なお、会期中、二つの講演会が開かれる。

*

■11日13日(火)　PM6:00～7:30
講師　吉田光邦氏（京都大学名誉教授）

■12日21日(金)　PM6:00～7:30
講師　寺下　勍氏（博覧会研究家）
橋爪紳也氏（京都精華大学講師）

いずれも、会場はINAX大阪支店8F会議室。



シカゴ万国博覧会日本館（1893）

「ペレストロイカ—ゴルビーの家」コンペ

エス・バイ・エル株式会社〈旧社名：小堀住研㈱〉は、創立40周年およびＣＩ導入記念事業の一環として、設計、デザイン、建築エンジニアリング関係者を対象に、標記コンペを実施する。

*

課　題　「ペレストロイカ—ゴルビーの家」
今日、住宅の設計にペレストロイカ（改革）は必要ないであろうか。ペレストロイカの主人公「ゴルバチョフの家」の設計が今回の課題である。
この５年間にペレストロイカを強力に実行してきたゴルバチョフを丸ごと呑み込んだ上で、さらにペレストロイカを実践し続けるにふさわしいゴルバチョフとライサ夫人の家を設計してもらいたい。これまで、越えてはならないという境界線、無視してはならないという前提条件をいくつも取り払って改革を行ってきたゴルバチョフである。このゴルバチョフを刺激するに足りる住宅のペレストロイカとは何か、を踏まえて設計に取り組んでほしいのである。そして、今後の住宅設計を進める上で手掛かりとなるようなものを、少なくともひとつ提示してほしい。
改革者ゴルバチョフに必要な家の立地、面積、道具立て、設備などはすべて自由に想定してよい。大統領官邸として公式の執務や行事に使用されるスペースを組み込んだものでもよいし、プライベート専用の住宅、あるいはセカンドハウスとして設計してもよい。（募集要項一部抜萃）

審査員　出江　寛（出江寛建築事務所所長）
斎藤　裕（斎藤裕建築研究所所長）
富永　譲（富永譲＋フォルムシステム研究所所長）
葉　祥栄（葉デザイン事務所所長）
中島昭午（エス・バイ・エル代表取締役社長）

賞　金　１等１点150万円　２等２点各50万円
審査員賞5点各10万円、佳作10点各５万円

登　録　1991年３月15日(金)—当日消印有効—
応募希望者は官製ハガキに氏名、住所、年齢、電話番号、勤務先名、勤務先所在地と電話番号を明記して登録されたい。

応　募　1991年４月15日(月)
応募資格不問。応募作品裏面に登録票を貼付の上、持参または郵送。

提出図　●平面図、配置図、立面図、断面図、透視図(模型・写真可)、設計意図を表現する図面や説明文(400字以内)。
●中判ケント紙または600×840mmの厚紙を使用。青焼き、鉛筆、墨入れ、着色、写真貼付は自由、パネル化は不可。

登録応募　新建築社　電話03-811-7101
〒113 東京都文京区湯島2-31-2

住まいの提案募集「女性にとって魅力あるまちと住まい」

大阪市都市居住イベント（大阪市HOPE計画）の一環として、「住まいの提案募集」が実施される。今回のテーマは、「女性にとって魅力あるまちと住まい」。

応募期間　1990年10月１日(月)～12月５日(土)

■論文部門

・満16歳以上の女性
・400字詰原稿用紙６枚以内（ワープロ可）に住まいやまちづくりに関する意見・提言をまとめる。
・最優秀賞（１点）表彰状と10万円、優秀賞（３点）表彰状と５万円、佳作（５点）記念品

■企画・設計部門

・住まいやまちづくりに関する企画・設計などの実務や研究（学生含む）に携わる女性。
・Ａ２判１枚に、提案の主旨、具体的イメージを、図面、パース、イラストなどで表現する。
・最優秀賞（１点）表彰状と30万円、優秀賞（３点）表彰状と10万円、佳作（５点）記念品

提出先　大阪市「住まいの提案募集」実行委員会事務局（〒530 大阪市北区天満２－８－17天満橋カナエビル６Ｆ）

入選発表　平成３年３月上旬

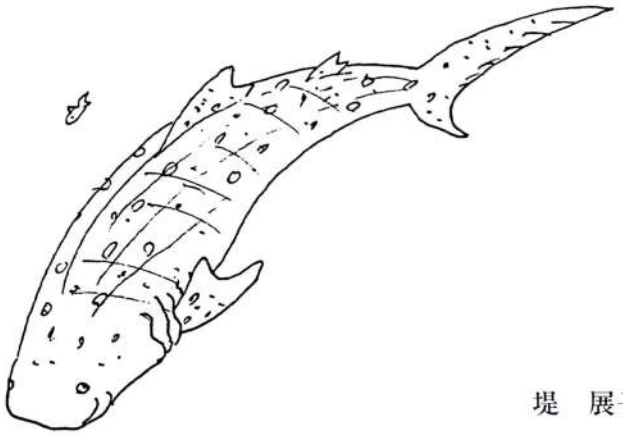
審査委員　巽　　和夫（京都大学工学部教授）－審査委員長－
加藤　　力（京都工芸繊維大学工芸学部助教授）
佐々木恵子（インテリアデザイナー）
橋本　敏子（㈱生活環境文化研究所所長）
前田　邦江（建築家）
三輪　昌子（生活評論家）
吉崎　寧彦（NHK大阪放送局・放送センター編成副部長）

応募の問い合わせは、大阪市都市整備局住宅政策課（TEL 06-208-9224）、または上記「住まいの提案募集」事務局（TEL 06-351-6354）へ。

being 25
森田 啓介

再生水の都：大阪を絵にするプロデューサー







堤　展子　海遊記



先日、太平洋へ行ってきました。
太平洋は、大阪のおしゃれスポット、ベイエリアの中、森田さんがプロデュースなさった「てんぽーざんハーバービレッジ」の海遊館にあります。
海遊館のてっぺんからグルグル降りて行くと陸上から海中にもぐるみたい。生き物の音が流れる青い世界になり、ジンベイザメやアザラシがゆっくり泳ぎ、カツオが「カールルイス」して、ペンギンは抱きしめられるみたいで、気分はすっかりマーメイド。
こんな世界をハイヒールのままデートできるなら「ジョンローン」ばりの彼を調達するしかないゾなんて「海遊館に説明はいらない。人が何かを感じて自然への愛情が生まれることの切っ掛けになる」。とおっしゃった森田さんの思うツボです。
水族館には、さまざまな水族との愛情の交歓や、繁殖をはかる研究活動、という博物館的役割と、魚を閉じ込めるという犠牲のもとに成り立っているという事実をふまえて、それなりに棲める可能性があるなら、さわることは出来なくても息づかいが聞こえるようなエンターテインメント的役割が必要だと思っていましたので、これからは研究所も作られると伺い満足です。
今に、大阪を絵になる水の都にしたいとおっしゃる森田さんに大いに期待しています。デートスポットもふえるしね。



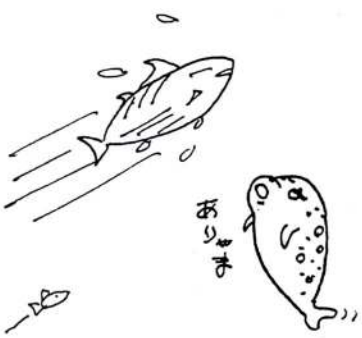
森田啓介（もりた・けいすけ）

昭和13年兵庫県にて生まれる。
昭和38年京都大学大学院修士課程（土木専攻）修了後、大阪市に奉職、同市総合計画局都市計画部都市計画課長、企画部交通政策課長、港湾局副理事、（財）大阪港開発技術協会理事等を経て、昭和63年4月大阪ウォーターフロント開発㈱常務取締役に就任、現在に至る。



海遊館

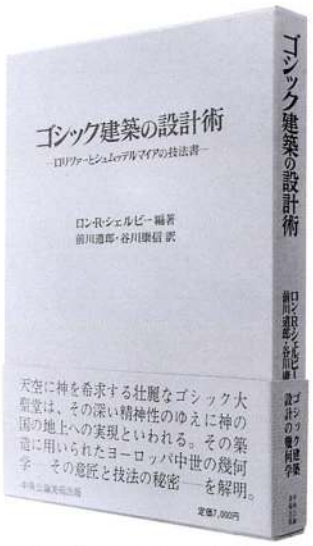
営業時間・10:00～20:00
入館料・1,950円(16才以上)
最寄駅・地下鉄中央線
　　大阪港駅
　　・市バス天保山
問合わせ・TEL 06-576-5500



『ゴシック建築の設計術』――ロリツァーとシュムッテルマイアの技法書――
ロン・R・シェルビー 編著　前川道郎・谷川康信 訳

中世の建築家像の謎

加藤邦男



中央公論美術出版　1990年5月刊
A5判　262頁　7,000円

西欧2000年の歴史の中で、中世ほどわれわれにとって謎めいて見える時期はない。遠い古代ローマでさえ、建築家や、そのパトロンについての知見を、われわれは少なからず持っている。ウィトルウィウスの建築書は、当時の建築家の持つべき知識や技術について教えてくれるだけではなく、ウィトルウィウスを通して、建築家の自覚とその世界を垣間見せてくれるのである。また、アルベルティが建築書を書く15世紀頃からはじまる、新しい建築の理論と実践は、16世紀の展開期を経て、近世には次第に体系化され、近代にいたる西欧の建築の伝統を強固に築き上げてきたことは、周知のことである。しかし同時に、近代以降に、ますます盛んになる客観的かつ科学的な視点が、古代から中世にいたる間の建築家たちの、精神的習慣ともいえる実践を、その視点の持つ明るみの陰に覆い隠したようにも思える節がある。われわれにとって、暗く謎めいた中世の建築家像を知ることは、恐らく、欠落する情報を得るというだけではなく、現代人のわれわれが、忘れてしまっている隠れた視点を回復することにもつながるように思えるのである。

中世の建築家が何を行い、何を考えたのか、ということについて、彼等自らが証言するところは、まことに少ない。その原資料については、Paul Franklの労作、The Gothic, Literary Sources and Interpretation through Eight Centuries, Princeton University Press, 1960に詳しい。しかし、わが国の一般の読者が、この原典に直接あたることは、困難であろう。中世の大聖堂建築の形式のイコノロジー的構造や象徴的意味については、すでに名著の評価が高い二つの著書、E.パノフスキー、『ゴシック建築とスコラ学』（前川道郎訳、平凡社、1987年）、および、O.フォン・ジムソン、『ゴシックの大聖堂』（前川道郎訳、みすず書房、1985年）がある。これは、いずれも、中世の神学や諸学、政治、社会、経済との関連を手掛かりに、大聖堂建築を見て行こうとするものであり、H.フォシヨン、『西欧の芸術―ロマネスク、ゴシック』（上・下、各2巻、SD選書、鹿島出版会）の実証的な芸術史が、これを補完する。そこでは、建築の設計や、建築に直接に携わった工匠や工人たちの姿は、影が薄い。J.ジャンペル、『カテドラルを建てた人々』（飯田喜四郎訳、SD選書、鹿島出版会、1969年）は、こうした工人たちの世界を広範囲に描出してくれた。それに、A.マルティンデイル、『中世の芸術家たち』（中森・阿部共訳、思索社、1979年）を付け加えることができる。13世紀の北フランスの工匠であったと思われている、ヴィラール・ド・オヌクールが残した画帖（アルバム）は、中世では、ほとんど唯一の建築家自身の書き残した資料と言うことになる。この画帖に書誌学的考察と解釈を加えた、藤本康雄、『ヴィラール・ド・オヌクールの画帖』、（SD選書、鹿島出版会、1972年）は、これの全貌を紹介しているが、そこでも、首尾一貫した建築家の世界を統括的に知るには、まだまだ困難なところがある。

13世紀のヴィラール・ド・オヌクールの画帖には、幾何学的視覚が、その顕著な特徴として認められる。それは、四角形や三角形、円形や星形が、様々な形態形成を導くと共に、現実に見られる諸形態に幾何学的視覚が潜んでいることを示すかのようである。こうした形態構成法は、正方形に内接する45度回転した正方形を作図して行く、四角法Ad Quadratumなどに代表されて、14、15世紀を通じて、西欧の工人たちの技術知となって流布したらしい。15世紀末になって、ドイツのレーゲンスブルク地方の石工工匠、マテス・ロリツァーおよびそれに続く幾人かの工人たちが、当時発明されたばかりの印刷術を駆使して、工人たちの幾何学的技術の一端を公表したことは、良く知られていた。中世後期の石工たちは、バウヒュッテ（独）とかロッジ（英）もしくはロージュ（仏）と呼ばれた同業者組織を結束して、彼らの技術は、秘儀的ヴェールの中に隠されて伝承されていて、ロリツァーは、この秘密を漏洩したものとも考えられていた。しかも、公表された内容はまったく手法的かつ断片的で、それらがどの様な建築的に本質的な意味を担っているかは、見当もつかない事柄であった。

ロン・R・シェルビー、『ゴシック建築の設計術』の原著は、M.ロリツァーの、「ピナクルの正しい扱いにかんする小冊子」、「飾り破風に関する小冊子」、「ドイツの幾何学」と、ロリツァーと同時代人の金銀細工師ハンス・シュムッテルマイアの「ピナクルに関する小冊子」を収め、それにシェルビー自身の序論を冠せたものを主たる内容とする。シェルビーの序論では、これら両著者の経歴が推論され、所収の文献形態が書誌学的研究の成果であることを立証し、その内容の解読のため、当時の工人たちの生活や活動状況が探索されている。そうして、その研究成果を通じて、これらの文献を巡る通説や謎を見直し、そこに独自の解釈と見解を加えてゆく。その記述の過程は、推理小説の謎解きに似た知的興奮を呼び起こすと言っても過言ではない。

（筆者注：ピナクルとは、教会堂建築の小尖塔のモチーフを言う）

シェルビーの研究は、中世の工人たちは、ロリッツァーその人がそうであったように、幾何学的術知をもって、一つの専門に限定されず諸々の技芸の分野を横断的に渡り歩き、また、建築作品では、その諸部分、家具、工芸品さらには美術作品の制作が、石工が発展させた幾何学的技術によって、統べられていたことを、諸々の文献資料の語るところを整合的に解釈して、解明する。しかも、この幾何学は、証明を求めるユークリッド幾何学でもなく、純粋実用的な、いわゆる中世の幾何学でもなく、図形の持つ潜在的能力に導かれて形態を「出で来たらしめ」、われわれの視覚に与えられた形態の本質的な力を見えるようにする、画家の制作にも比べうる特別な幾何学であって、シェルビーは、これを構成幾何学Constructive Geometryと名付けている。それは、パノフスキーが大聖堂と対比してみせた、スコラ学の論理的体系的な推論構造からは、ほど遠い。ロリツァーが用いる術語、Grund（平面、基本図形）、Auszug（Extrapolation device、引き出すこと、立面）と言う用語を、シェルビーは解釈して、いずれもが、工匠の「精神・頭脳」から、工人の「手」へ、被投・案出するprojectの能力に関わっていると考える。つまり、中世工人の構成的幾何学は、建築的想像を、表象的に図化し記憶せしめると考えるのではなく、いわば目と手を導く動線でもあって、建築することによって、ある本質を、存在を、出で来らしめ、表象によらず無媒介的に、眼に見えるようにする構築術の「生きた知識」であると結論する。

こうして、シェルビーは、中世の工人の事蹟に即して、しかも彼らの眼差しを明らかにし、その眼を通して、われわれに残されてきた資料を読むことに成功したのだと言う。建築家が、非表象的な、生き生きとした生命を生き、西欧の伝統を作り、作品に表出していったことが、かくも事実の実証的な歴史研究から結論されるのは、驚くべきことのように思える。

日本語訳では、本書の実証的側面や、書誌学などの専門的問題に読者を煩わせないために、原書の構成を多少変えて、さらに、訳者（前川氏）の優れた中世幾何学に関する付論を入れている。しかし、そのため、ロリツァーらの小冊子、シェルビーの論考、訳者の付論、これら三つが平板に並び、シェルビーの原著にみられる論証の焦点がぼけるように感じられるのは、筆者だけであろうか。一般の読者にとっては、西欧中世の工人の組織は難解であり、そうした方面の解説も望まれよう。訳文にも、訳者の苦労がにじみでているのが良く分かるのであるが、それは決して、内容そのものの読み辛さを助けるものではない。この方面の研究が、まだまだ未開拓であることを考えれば、これは無いものねだりであろう。けれどもこうした文献が、身近にもたらされたことは、建築史、建築論の専門家のみならず、現代の建築や文明について反省しようと試みる者にとって有益であり、本書の刊行の労を多としなければならない。

（かとう・くにお／京都大学教授）

機械化前の建設技術としくみ

ジョン・フィッチェン 著
藤本一郎 訳

鹿島出版会　1990.3.30刊　A5判　261頁　2,884円



我々の先達たちがどの様な方法で建物を造ってきたのか。本書は中世を中心に、民家から偉大なカテドラルに至る様々な建設行為に光を当て、巧妙な手法や興味深い道具の発明の秘密を解き明かしながら、建設技術の魅力をいきいきと描き出した好著である。　(O)

建築 構造と施工の接点

若林嘉津雄 著

学芸出版社　1990.5.25刊　B5判　320頁　5,665円



施工現場において様々な段階で問題となる「施工と構造との接点領域」について、実務に即しながら具体的な構造上のチェックポイントを詳述した力作。大手設計事務所で管理業務を担当してきた著者の手による本書は施工・構造関係者を問わず一読を薦めたい。　(O)

イメージ・リーディング叢書

明治の迷宮都市

――東京・大阪の遊楽空間

橋爪紳也 著

平凡社　1990.5.30刊　A5判　208頁　2,400円



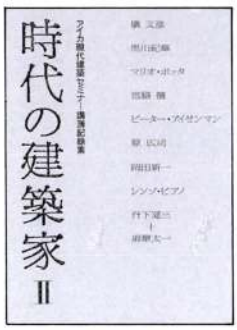
見世物小屋、展望塔、迷路、パノラマ、それら珍奇でどことなく怪しげな見世物の集大成である博覧会。様々な仮設的空間を歴史的に描き出しながら著者は、「仮象のユートピア」としての都市の姿を、そして次々と移ろい行く今日の都市空間の姿をその中に見る。　(O)

時代の建築家 II

――アイカ現代建築セミナー講演記録集

槇 文彦・黒川紀章・宮脇 檀・ピーター・アイゼマン
原 広司・岡田新一・レンゾ・ピアノ・丹下健三＋堺屋太一

アイカ工業　1990.9.1刊　A5判　252頁　非売品



9人の時代の先端を行く内外建築家が語る自らの建築、その発想の源、建築の生まれた背景、設計の作法。それらは建築に携わる者にとって様々なヒントを与えてくれる大きな資産である。今後もこのセミナーが継続され、本書がIII、IVと続刊される事を期待する。(O)

東京の地霊（ゲニウス・ロキ）

鈴木博之 著

文藝春秋　1990.5.30刊　A5判　280頁　1,400円



「都市の歴史は土地の歴史」という著者が、都内13ヶ所の土地にまつわる江戸から今日までの歴史譯を繰り広げる。土地の変遷とそこにかかわった人々の生涯が交錯し、歴史を織りなしていく様は、物語としてもおもしろく、都市を新たな切り口から見せてくれる。　(Y)

鏡町まちづくり絵本No.1

くすのきは見ていた

――鏡町もやい物語

鏡町まちづくり絵本の会 作

鏡町まちづくり絵本の会　1990.4刊　A4W判　40頁　1,000円



失われつつある「もやい」の心をまちづくりに生かそうと、住民が集まってつくった絵本である。何人もの住民が様々なテーマで描いた絵本は、それ自体が町の魅力再発見のための手法でもあり、まちづくりの新たな動きとして注目される。　(Y)

なぞなぞでかんがえる

住まいとくらし

二俣英五郎／天野　彰 著

住宅月間実行委員会　1990.10.1刊　B5変形判　28頁



「10月は住宅月間」と定められたのを記念し、昨年〝住まいのえほん〟が刊行されたが、本書はその第2弾。〝うでが1本、指が千本、なに？〟子供達が住まいに興味をもつきっかけになればとの願いをこめ、なぞなぞの答は絵本をじっくり見れば分かるしくみになっている。

郊外ロードサイド

店舗進出と地価

日本不動産鑑定協会近畿会 編

学芸出版社　1990.3.30刊　A5判　208頁　2,678円



横浜・京都・豊中・姫路など首都圏と近畿圏の代表的な郊外のロードサイドにおける店舗化の実態調査をもとに、店舗進出と地価変化の相関関係を分析した好著。今後ますます変貌していくであろうロードサイドの土地利用と地価評価に取り組んだこの種の研究例は数少ない。

担当：会員企画小委員会　大沢智弘・山崎章子

AGC
ASAHI GLASS COMPANY

創造へのダイナミズム。

ご覧のようにロングカウンターも、みごとエバーフレッシュⅡなら。

優しい感触と、エレガントな美観をもつエバーフレッシュⅡは、人工素材ならではの使い易すさ・機能性を実現したデザイン素材です。熱硬化型カーボネート樹脂の複合による無硬質ムク材なので耐熱性も優れ、メンテナンスも容易。そして硬質木材と同様の硬度をもつため、切断、面取り、穴あけ、接着、積層、異素材との組み合わせも自在です。プレートの板厚は5・8・12・18ミリの4タイプ。なんと最長3,658ミリ、幅914ミリまで一枚板でご注文いただけます。多彩な表現力で、インテリアデザインの可能性を豊かに拡げます。

インテリアに優しい感触、エレガントな美観。エバーフレッシュⅡ
EVER FRESHⅡ



旭硝子株式会社 〒100東京都千代田区丸の内2-2-1(岸本ビル) 札幌支店☎011(212)3879 仙台支店☎022(225)7304 東京支店☎03(283)9525
名古屋支店☎052(583)2948 大阪支店☎06(373)5936 広島支店☎082(248)3737 福岡支店☎092(441)4125

耐熱性人工大理石

エバーフレッシュII

旭硝子株式会社

大阪支店　〒530 大阪市北区芝田1-1-4(阪急ターミナルビル)　06-373-5934
本　　社　〒100 東京都千代田区丸の内2-1-2(岸本ビル)　03-218-5494
東京支店　〒100 東京都千代田区有楽町1-12-1(新有楽町ビル)　03-283-9525
名古屋支店　〒450 名古屋市中村区名駅4-11-27(第二豊田ビル)　052-583-2948
福岡支店　〒812 福岡市博多区博多駅前2-2-1(福岡センタービル)　092-441-4125

●はじめに

独特の質感で優美さと高級感を醸し出す樹脂系人工大理石が、本物を求める時代の風潮とぴったりマッチして、高成長を継続している。

用途は①システムキッチンの天板が主流であるが
②洗面化粧台・浴室
③店舗カウンター・事務用デスク
④壁面・腰貼・窓枠・床に拡大している。

●特性

1.耐熱・耐溶剤性に優れる

旭硝子の「エバーフレッシュII」はメガネレンズなどに利用される熱硬化性ポリカーボネイトをマトリックスとする人工大理石で、アクリル系よりも耐熱性が20～30度℃高く、耐溶剤性にすぐれている。例えばキッチンカウンターなどに応用した場合、レンジの着火・消火の繰り返し（温度サイクル）によるクラックの発生に対し強い抵抗力をもっている。ガス爆発対策として、家庭用電力の200ボルト化がすすむと、ガス燃焼の場合のような空気の対流が少いため、天板が蓄熱し高温となるので一層特徴を生かす余地が出てくると期待している。短時間では260℃までの温度に耐える。（天ぷら鍋テスト参照）また、家庭でもマニキュアの除去液、毛染液やシミ抜等有機溶剤を含んだ商品を取り扱う機会も多く、当社のエバーフレッシュテーブルなら少々こぼしても安心と思われる。

2.納期がはやい

加工性（切断、切削、研磨性が良好）がよく、専用の接着剤で継き目がめだたない接着加工が可能なので、図面入手後1週間で対応が出来る。

3.幅広板サイズ

1200幅まで出荷可能であり、シンク側と対面カウンターが一枚の板で製造出来る。

4.耐汚染性に優れる

木材、天然石と異なり無孔質ムク材のため液体がしみこみにくく、耐酸性、耐アルカリ性、耐溶剤性が高いのでよごれにくい。

5.簡単なメンテナンスにより最初の美しい外観を保つことができる。

表面にマジックインキ、タバコ焼けやひっかき傷が生じてもクレンザー又はサンドペーパーで磨くことにより美しい表情を取り戻すことができる。

6.カラーバリエーション

単色で9色、御影石調3色を揃えている。

（戸田悠二／建材委員）

一般特性

試験項目	試　験　法	単位	数値
比重	JIS K-7112	—	1.8
吸水率	JIS K-7209	%	0.03
曲げ強さ	JIS K-7203	kg/mm²	7.0
曲げ弾性率	JIS K-7203	kg/mm²	850
アイゾット衝撃強度	JIS K-7110 ノッチ無し ノッチ有り	kg-cm/cm²	8.0 1.5
落球衝撃強度	JIS K-6718 t＝12mm 200g鋼球	cm	200以上
バーコール硬度	バーコール硬度計	—	60
鉛筆硬度	JIS K-5400	—	6H
テーパー摩擦	JIS K-6902	g	0.5
線膨張率	JIS K-6911	1/℃	5.5×10^{-5}
耐熱性	200℃×10min.×1kg	—	変化無し
難燃性	UL-723	—	合格
	発煙係数	—	78
	排気温度	℃	260
	残炎時間	秒	1～2

●上記数値は代表値であって保証値ではありません。

耐熱性試験

天ぷら鍋テスト

(1) 試験方法：直径が20cmのホーロー鍋に天ぷら油2kgをいれ(全荷重2.8kg) ガスコンロで温める。
天ぷら油が所定の温度になった時、板(300×300×12mm)の上に乗せて20分間放置する(5サイクル)。

(2) 結　果

1.表面温度変化

	180℃	200℃	220℃	240℃	260℃
	最初/20分後	最初/20分後	最初/20分後	最初/20分後	最初/20分後
天ぷら油	185/110	205/110	225/150	245/160	265/160
なべ底	170/ 80	200/ 90	220/100	230/105	250/110
板	20/ 63	35/ 80	45/ 90	50/ 95	50/110

〔注意〕数字は温度℃、天ぷら油の温度は底から5mm上の液温板の温度は中心部。

2.外観の変化

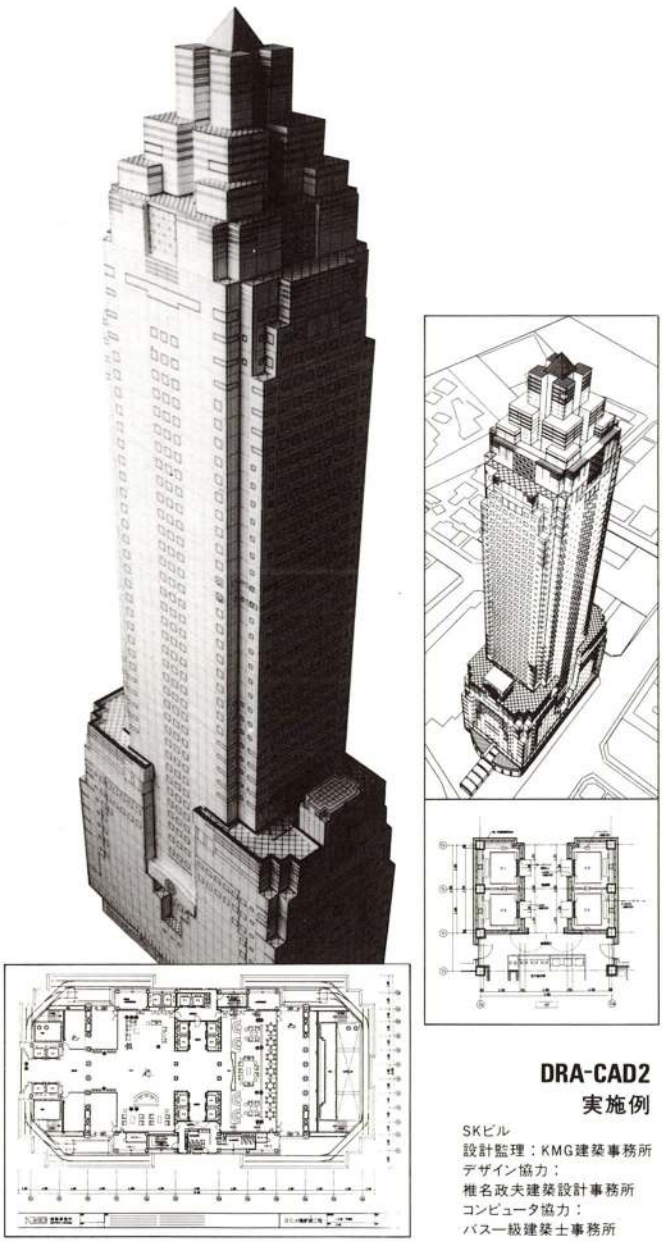
板の種類	サンプル数	形状と色調の変化
ニバーフレッシュII	定尺サイズ(914×1829×12)の幅方向の 上　部　n＝3 中　部　n＝3 下　部　n＝3 （総n＝9）	形状変化——なし 色調変化——260℃段階で微黄変

製図用CADシステム

DRA-CAD2

建築の各分野、各段階を通じて使用できるCADです。
企画設計、プレゼンテーション、基本設計、実施設計、設備設計、構造設計、インテリアデザイン、ファシリティマネージメント等において、統一的に効率よく製図を行ないデータを管理することができます。

定価350,000円　適用機種　NEC PC-9800シリーズ



DRA-CAD2
実施例

SKビル
設計監理：KMG建築事務所
デザイン協力：
椎名政夫建築設計事務所
コンピュータ協力：
バスー級建築士事務所

大阪ユーザーフォーラム

大阪で、DRA-CADユーザーフォーラムを開催致します。
このユーザーフォーラムでは、建築・企画設計へのコンピュータ利用研究の第一人者である笹田教授の特別講演の後、ユーザー講演会として、下記の方々に技術的・経営的なノウハウを発表していただきます。その後、来場のユーザーの方々を交えてDRA-CAD利用について、気軽に意見交換を行うことを企画しています。
皆様のご来場をお待ちしております。(入場無料)

日　　時　11月13日(火)　午後1時から5時まで
会　　場　建設交流館（西区立売堀2-1-2)
特別講演　大阪大学　工学部　笹田教授
ユーザー講演会〈下記企業の方が講演されます〉
大和ハウス工業㈱、㈱日本設計、㈱バ ス、
ひろみ設計　　(アイウエオ順)

大阪新製品発表会

大阪で、弊社の新製品発表会を開催致します。
午前の部では構造の新製品発表、午後の部ではCAD関連の新製品をご紹介いたします。(入場無料)

日　　時　11月14日(水)
場　　所　建設交流館（西区立売堀2-1-2)
午　　前　【構　造】
BUS-U2(RC/SRC造の建築物の保有水平耐力)
DOCシリーズ(建築物耐震診断プログラム)
午　　後　【CAD関連】
ARM(建築造形システム)：3次元のモデリング、レンダリングを行う
DRA-CAD2の充実　：ジャンプ機能等の追加
DO-3の充実　：4個のコマンドが追加
DO-5　：写真などの画像データの利用
PLAN(避難計算)　：DRA-CAD上の平面図を用いた避難計算
MEDIA BOX　：画像・図形・文字データを統合的に管理

お問い合わせは　☎(03)235-5761 FAX.(03)235-5764

構造システム

本社 〒112 東京都文京区関口1-24-2関口町ビル☎(03)235-5761
大阪支社 ☎(06)203-3346　静岡事務所 ☎(0542)46-4141
仙台支社 ☎(022)267-2811　名古屋事務所 ☎(052)263-6308
長野支社 ☎(0262)27-2062　広島事務所 ☎(082)221-0151
札幌事務所 ☎(011)206-3114　福岡事務所 ☎(092)474-9880
金沢事務所 ☎(0762)98-9174

複層ガラスの加速耐久性試験（耐湿耐光試験）装置

財団法人 日本建築総合試験所
所 在 地…吹田市藤白台5－8－1 〒565
電　　話…(06)872－0391 FAX…(06)872－0784
業務時間…平日：9：00～17：00
土曜：9：00～12：00（第2、第4土曜休日）

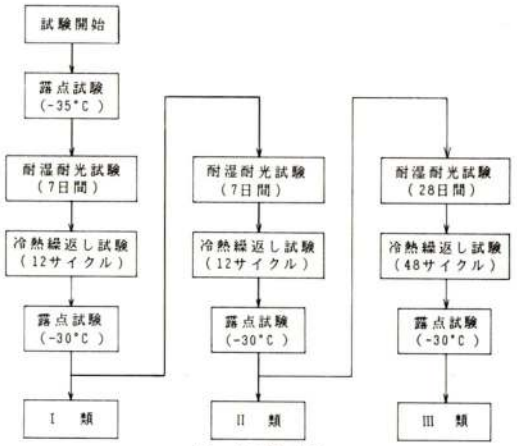
このほど、熱試験室では、平成2年度施設整備計画の一環として、「複層ガラスの加速耐久性試験（耐湿耐光試験）装置」を増設しましたのでその概略を御紹介します。

JIS R 3209『複層ガラス』に規定されている複層ガラスの加速耐久性試験は、ガラス封着材の耐湿、耐光、冷熱繰返し（耐温度変化）に対する促進耐久性試験である。封着材の劣化状況によっては、中間空気層に外部より水蒸気が侵入するので、その確認を－30℃の露点試験によって内部ガラス表面に結露もしくは結露の有無を目視により観察する。試験の流れを**図－1**に示す。

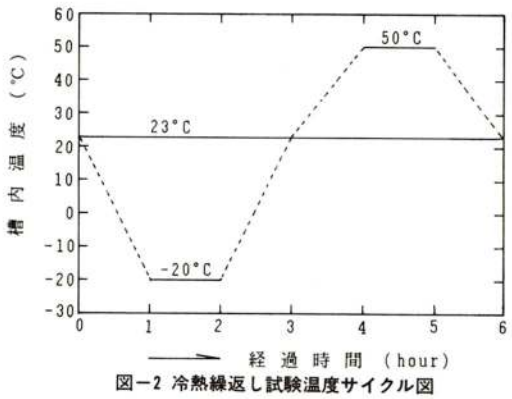
図中において「耐湿耐光試験」は本装置により行い、「冷熱繰返し試験」は既存の恒温恒湿槽（タバイエスペック社製）を用いて**図－2**の温度サイクルを繰返す。本装置は、**図－3**に示すように内側をステンレス鋼板、外側を耐水合板で覆い、下面にシリコンラバーヒータを埋設している。装置内へは外部に設置された超音波加湿器により高湿空気が供給され（下部吹き出、上部吸込み）、装置内温湿度は、デジタル調節計、サイリスタを介して、55℃、96～98%R.H.になるように制御されている。試験体には紫外線螢光灯で近紫外線（主に波長300～400nm）を照射する。

今までは、装置一台で御迷惑をお掛けしましたが、本装置の導入により並行して試験を実施できます。

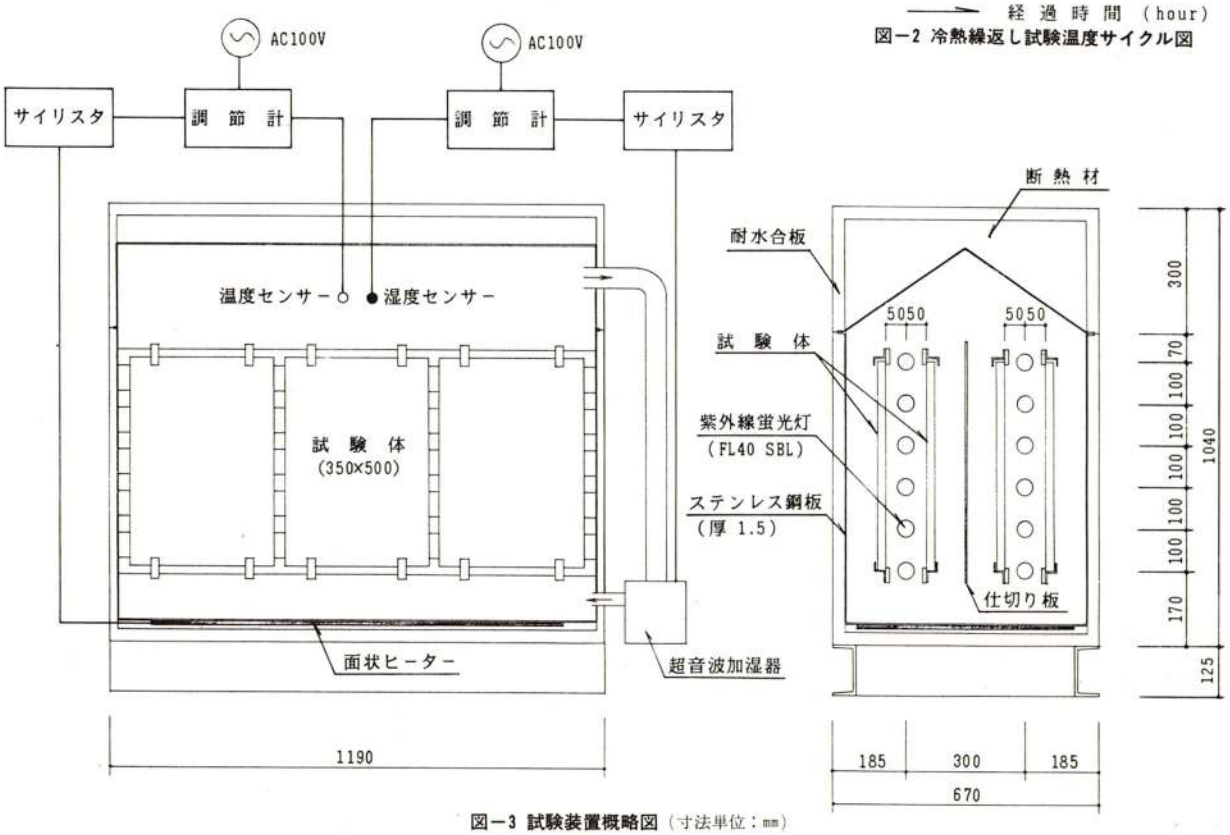
本装置に関する御質問やお問合わせは、熱試験室までお願いいたします。（音・熱・動風圧試験室：行貝光史）



図－1 試験方法



図－2 冷熱繰返し試験温度サイクル図



図－3 試験装置概略図（寸法単位：mm）

建築の眼



加藤邦男　京都大学工学部教授
馬場宏史　京都府企画推進局参事
黒田公三　黒田建築設計事務所代表取締役
山根千鶴子　積水ハウス取締役技術副本部長
上記の4人の方々が7月号～12月号まで執筆

ゴシック建築のアイロニー

西欧のもっともユニークな建築的表現といえば、サン・ドニ修道院付属教会堂にはじまる、ゴシックの大聖堂であろう。1144年、パリ北部のサン・ドニ修道院院長シュジェによって新様式の建築が盛大に献堂される頃、その華美な世俗的感覚主義が、シトー派のクレルヴォー修道院長、聖ベルナールによって、厳しく批判される。聖ベルナールは、節度と敬虔に貫かれた、純粋な修道精神を高揚する中世社会の一方の指導者の一人であった。大きく眼を見開いて、静かに深く思索し、人間や自然の一切を包摂する全体的なるものの庇護のもとに存在のアイデンティティを求めたそれまでの中世社会が、この時、大きく変貌しようとする。つまり、都市の成立を背景とする大聖堂の建設時期は、放浪集団の共同体、すなわち都市民の、「孤独な集合」の社会形成の時期でもあった。天上の神の国を地上に出現せしめようと、技術の粋をつくして建設される大聖堂が、集合的かつ精神的な現代の無神的な都市社会のはじまりをすでに予告していたとすれば、皮肉なことである。もっぱら、集団の情緒を煽動する大規模な都市施設の建設が、止まるところを知らずに進み、無反省にそれに荷担する現代建築家、一方では、存在の深みに沈潜して己のアイデンティティを凝視する精神的習慣の必要性を忘却している現代社会、これらの原像を、ゴシックの建築に見ることができるかも知れない。

研究者の住宅対策

当初から心配していたことの一つであるが、京阪奈丘陵の立地条件が良すぎるために、学研都市が京阪神圏の一般的住宅宅地需要の強い圧力を受け、放置すれば、その受皿として平凡な学研施設付きベッドタウンに堕してしまうのではないかという懸念である。これは「職・住・遊・憩」一体の複合機能都市建設を標傍してきた関係者としては、まったく由々しき事態と言わざるを得ない。

本都市では多様な価値観をもった国内外の研究者が、専門分野の違いを超えて交流し、また同時に生活者として一般居住者と交流することによって初めて新たな生活文化が創造できるというのが私たちの哲学であったはずである。遅まきながら、昨年関係者で研究会を作り調査を行ったが、案の定、かなりの研究者が学研都市に居住することを希望しているにもかかわらず、公募の原則など制度上の制約もあって彼等が居住できる保障がはっきりしないのである。借家や集合住宅への入居希望が圧倒的に多いことにも驚いたが、一定比率の研究者が入居できる方策については今後関係者が組織を作り、恒常的に情報交換しながら具体的に検討をすすめる必要があると痛感した次第である。　（H・B）

「見る人」と「作る人」

近頃、建設界では、寄るとさわると人手不足と３Ｋの話でもちきりである。職人にはなり手がないし、建築の専門教育を受けた若者がサービス業などに去って行く、という。ずい分きらわれたものだと思う。一方、世間では、文化とか伝統の価値がやかましくいわれ、町並みや建築がＴＶや雑誌にもいろいろ紹介され、もてはやされる。海外旅行ブームも、それと無関係ではないであろう。人間の営為のしるしに恋しているのだろう。

だが、作るのは、自分ではないのである。自分は「見る人」である。「見る人」ばかりがふえて今日のざまである。作るなどしんどいことはご免で誰かがやればよい。

昔、「心情左翼」というのがあったし、「知識的文化人」というのが、今もはばをきかせている。

社会も学校も、「作る人」の訓練や思考を若者たちに課さない。したがって不確かな知識や情感ばかりが肥大する。この先どうなるのだろうか。

現在の建設業界のきらわれかたは、わが国の社会のあり方の色濃い反映であろう。「文化」の意味、そのものを問い直すことから始めねばならない、と思っている。　（K・K）

車と社会－その４－

民活事業としての大きな街づくりを５年がかりで行っている。ここで集合住宅に大きな変化が出てきたのは駐車場の問題である。世帯数に於ける車の保有率という各種統計はまったく参考にならない。その比率は上るばかりである。これもまた、異常な地価高騰が起因している。即ち、車の所有に関係なく、自分の住居の価値が駐車場の有無に左右されるという居住者の不動産意識の浸透、また新築マンションが市街地の既設マンションより安い、というこれまた、異常な現象が新築マンションの買替えを容易にし、かつ車の所有、駐車場の確保に拍車をかけている。そしてついには駐車場の当らない住居もとりあえず確保し、その不備を庶民の権利をもって訴えてくる。ここには合意により成立する通常の商取引の論理は通用しない。躊躇していたら住居さえ手に入らないからである。かくして今や戸数に対して100％の駐車場整備が常識化しつつある。そうするとどうなるか、容積率200％の宅地でさえ建物周囲の空地は駐車場がうめつくす。環境を考えてこれを地下に設置すると建物全体の専有率が下り且つ建設費が上る。これはすべて専有面積としての住戸の価格に反映される。行政の開発する安い地価の宅地では戸建住宅の方が高層集合住宅より安い、という摩訶不思議な現象が表われはじめてきた。　（C・Y）

1920—1990 HYOGO PREFECTURAL GOVERNMENT PUBLIC BUILDING MAINTENANCE DIVISION

特集

兵庫県営繕の歩み

作品

兵庫県庁舎第３号館
兵庫県公館
県立神戸商科大学
たんば田園交響ホール
兵庫県立こどもの館
県立尼崎病院
新たんば荘
県立歴史博物館
神戸高等技術専門学院　女子高等技術専門学院
尼崎青少年創造劇場
西はりま天文台公園
県立図書館
淡路勤労センター
生活科学研究所
篠山総合庁舎
健康センター
嬉野台生涯教育センター
姫路短期大学
浜坂身障者保養センター
城崎大会議館
兵庫県職員会館
西はりま青少年館
大鳴門橋記念館
淡路ファームパーク
県立総合体育館
県立文化体育館
垂水警察署
県立柏原病院
県立兵庫工業高等学校
円山川公苑
西宮警察署
県立弓道場
姫路港旅客船ターミナル
県立篠山産業高等学校
長田警察署

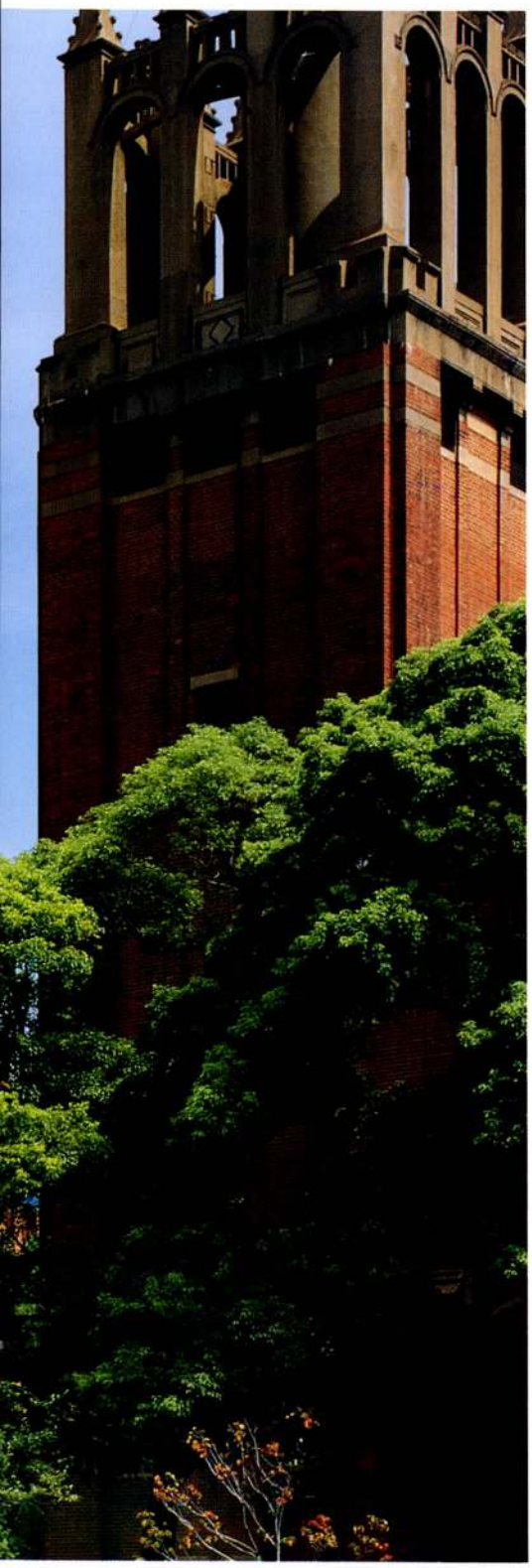
記事・資料

挨拶〝公共建築〟21世紀への飛躍
年譜　兵庫県営繕組織の変遷
掲載作品建築概要
掲載作品ガイドマップ
抱負　70年の伝統を引き継いで
兵庫県営繕へのメッセージ

撮影　喜多　章



兵庫県庁舎第3号館









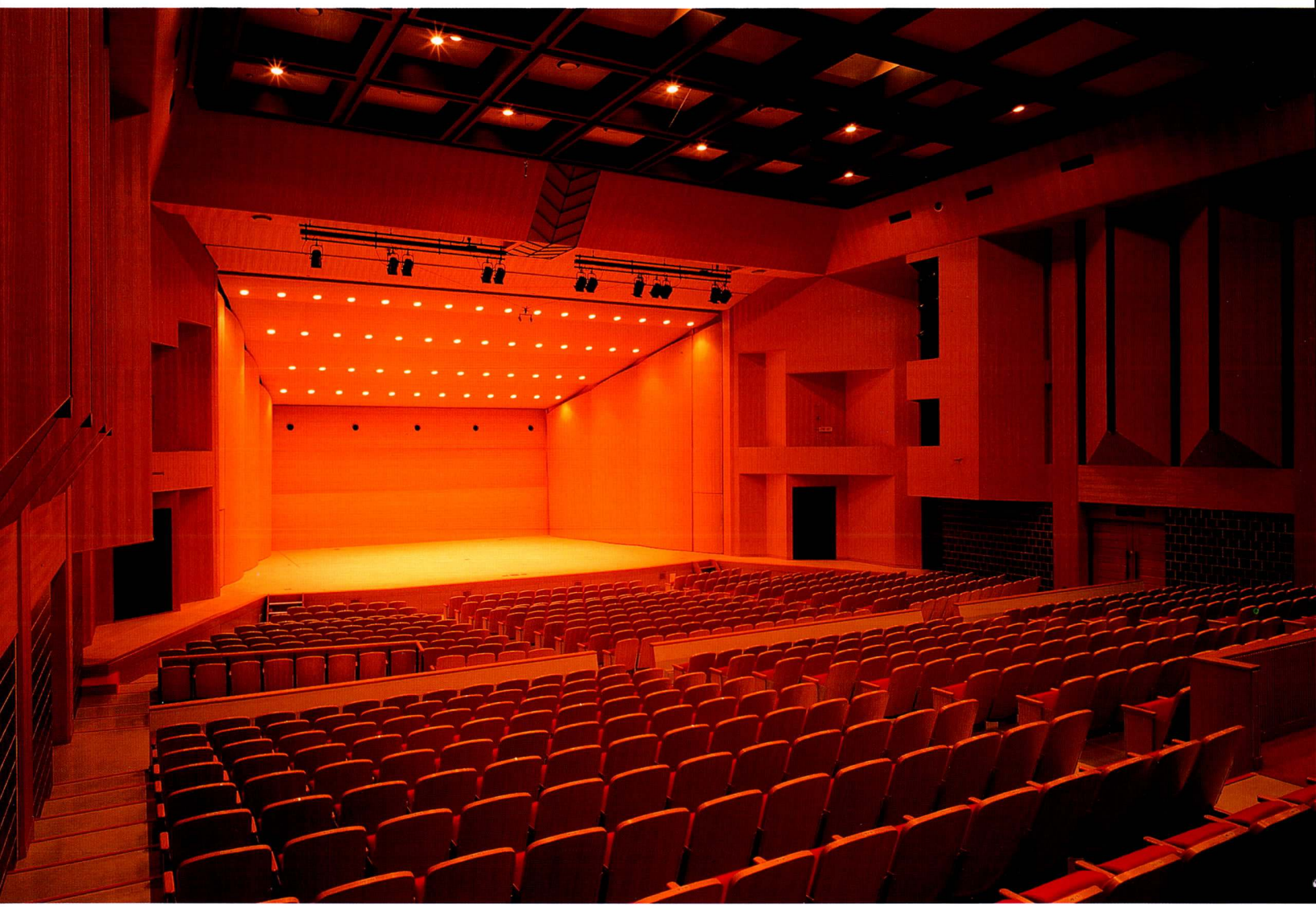
兵庫県公館



県立神戸商科大学


総合施設ご案内
神戸陸科大学





たんば田園交響ホール







兵庫県立こどもの館







県立尼崎病院



新たんば荘


7
6



県立歴史博物館

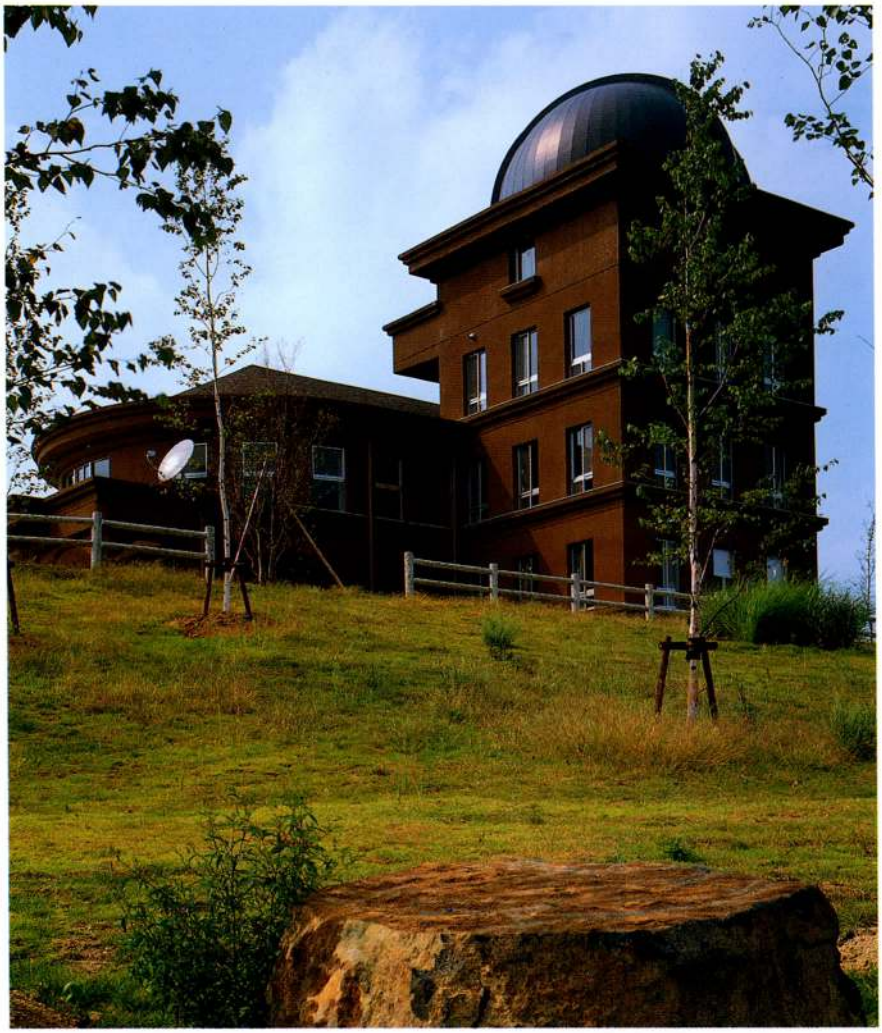


神戸高等技術専門学院　女子高等技術専門学院





尼崎青少年創造劇場





写真(下)兵庫県提供

西はりま天文台公園



県立図書館



篠山総合庁舎



淡路勤労センター



健康センター



生活科学研究所



嬉野台生涯教育センター

以下4頁の写真は兵庫県提供



姫路短期大学



兵庫県職員会館



浜坂身障者保養センター



西はりま青少年館



城崎大会議館



大鳴門橋記念館



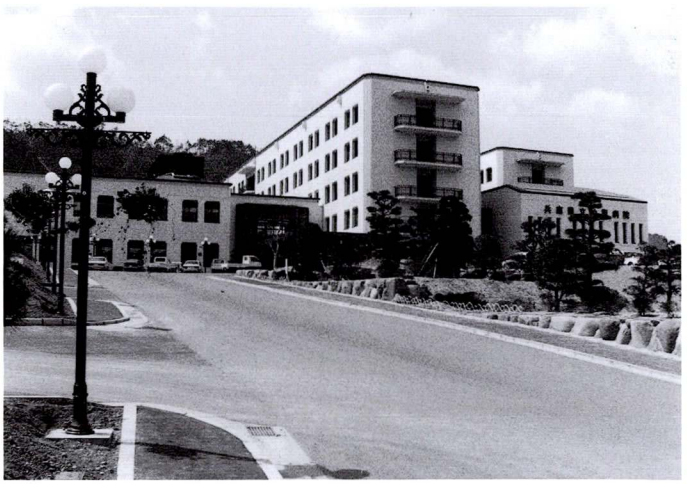
淡路ファームパーク



垂水警察署



県立総合体育館



県立柏原病院



県立文化体育館



県立兵庫工業高等学校



円山川公苑



姫路港旅客船ターミナル



西宮警察署



県立篠山産業高等学校



県立弓道場



長田警察署

挨　拶

〝公共建築〟21世紀への飛躍

足立穎一郎

兵庫県の営繕課は、大正９年10月に当時の内務部に設置され、以来70年という長い年輪を重ねて現在に至っています。

この間、設計・監理業務は外部委託によらず自力で行うという全国的にも注目される伝統を築き上げ、第１号館から今年竣工した第３号館にいたる県本庁舎をはじめ、数多くの公共建築物を手掛けてきたところです。

とりわけ、営繕課が保存再生した兵庫県公館が、昭和63年に第１回の公共建築賞を受賞しましたことは、自主設計・監理という兵庫方式の成果であると意を強くしているところです。

いま、本県では明石海峡大橋、〝神戸三田〟国際公園都市、播磨科学公園都市の建設をはじめ、多くの大規模プロジェクトが推進されており、これに伴って営繕工事の事業規模も年々増加を続けております。

また、建設する公共建築物も、国際化、情報化や高齢化など、大きな時代の潮流の変化の中で、将来の行政需要を的確に予測しつつ、求められる新たな機能に十分対応したものであることが必要となっています。

さらに、社会の成熟化や県民のニーズの多様化に伴い、意匠や景観面、あるいは文化性に配慮したゆとりとうるおいのある、いわばまちの「顔」としての公共建築物が求められています。

このように、営繕事業に要求される内容は複雑多岐になってきていますが、反面その果たす役割はますます重要性を増しつつあります。

そこで、これらの社会状況の変化に的確に対応し、日本の縮図とも称される兵庫の地にふさわしい公共建築物を造るため、景観施策で先導的な役割を果たすなど、ソフト面も含めた技術的研鑽に職員一同鋭意努力を重ねているところです。

先輩諸氏が築き上げた兵庫県の営繕事業の技術と伝統を一層発展させ、今後とも県民に愛される公共建築物の建設を通じ、21世紀を目指して、大いなる兵庫の実現に向け、その一翼を担ってまいりたいと考えておりますので、皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回のこの企画の実現にあたって、お世話になりました諸先生方や関係者の皆様に対し、心からお礼を申し上げます。

（あだち　えいいちろう／兵庫県都市住宅部長）

兵庫県営繕組織の変遷

年度

1916 1917 1918 1919 大正9年 1920 1921 1922 1923 1924 1925 1926 1927 1928 1929 1930 1931 1932 1933 1934 昭和10年 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 昭和17年 1942 1943 1944 昭和19年 1945 1946 昭和21年 1947 1948 昭和23年 1949 1950 1951 1952 1953 1954 昭和29年 1955 昭和30年 1956 1957 1958 1959 1960 1961 1962 昭和38年 1963 1964 1965 1966 1967 昭和43年 1968 1969 1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 昭和53年 1978 昭和54年 1979 1980 1981 1982 昭和58年 1983 1984 1985 1986 1987 1988 平成元年 1989 1990

営繕組織

大正9年10月5日 営繕課発足
知事官房
- 秘書係
- 外務係
- 文書係
- 統計係

内務部
- 社寺兵事課
- 地方課
- 学務課
- 社会課
- 土木課
- 営繕課
- 都市計画課
- 特殊財産管理課
- 産業部
- 総務課
- 農務課
- 商業課
- 農糸課
- 耕地整理課
- 林務課
- 水産課
- 商工課

警察部
- 外事課
- 高等警察課
- 警務課
- 保安課
- 刑事課
- 工場課
- 衛生課

昭和10年11月1日
内務部一総務部に改称
人事課が新設される

昭和17年11月1日
- 営繕課発足2課
- 知事官房に所属替え
- 総務部、学務部統合
- 内政部に改称

知事官房
- 秘書課
- 人事課
- 文書課
- 調査課
- 会計課
- 議事課
- 営繕課

昭和19年7月8日
営繕課廃止2課
内政部に所属替え

内政部
- 人事課
- 調査課
- 会計課
- 議事課
- 営繕課
- 地方課
- 社事兵事課
- 教学課
- 振興課
- 厚生課
- 住民課
- 衛生課

昭和21年2月1日
内政部一内務部に改称

昭和21年8月7日
営繕課、内務部より土木部へ所属替え

土木部
- 庶務課
- 機材課
- 道路課
- 河川課
- 港湾課
- 砂防課
- 都市計画課
- 建築課
- 住宅課
- 特別建設課
- 営繕課

昭和23年10月1日
建築部に昇格

建築部
- 建築課
- 住宅課
- 営繕課
- 管理課（新設）

昭和27年12月廃止

昭和29年6月15日
土木部、建築部統合
→土木建築部となる

土木建築部
- 土木庶務課
- 道路課
- 河川課
- 港湾課
- 砂防課
- 計画課
- 建築課
- 住宅課
- 営繕課

昭和30年9月1日
営繕課廃止

昭和38年7月5日
土木建築部→土木部と建築部に分割される

建築部
- 建築総務課
- 建築課
- 住宅課
- 宅地開発課
- 営繕課→（復活）

昭和43年4月1日
建築部
- 建築総務課
- 建築指導課（建築業を改称）
- 住宅開発課
- 住宅管理課（新設）
- 営繕課
- 工事検査室（新設）

北摂開発局S45.4.1設立

- 建築振興課（S46.新設）
- 再開発課（S46.新設）

S53.4出納事務局へ移管

S50.4廃止

S51.4建築指導課に統合される

昭和53年4月1日
再開発課、住宅開発課再編成

昭和54年4月1日都市住宅部に改称
住宅政策課――S54.4.1政策課
住宅開発課
都市開発課
都市耕地課

昭和58年4月1日
営繕課・設備係――設備課に昇格
教育委員会施設課営繕に吸収統合される
都市住宅部
- 総務課
- 政策課
- 計画課
- 市街地整備課
- 新都市建設課
- 建築指導課
- 住宅建設課
- 住宅管理課
- 営繕課
- 設備課

営繕作品

大10 農業試験場 但馬分場食堂
神戸商科大学本館
明石学園講堂
明石学園本館
県立婦人相談所
婦人職業センター
警察本部庁舎 別館
日本真珠会館
兵庫県立西宮病院
赤穂学園 児童寮
たんば荘
出石精和園 重度棟
西神戸庁舎
豊岡総合庁
兵庫県第２庁舎・議場
西播文化会館
姫の実温泉荘
のじぎく会館
丹波総合スポーツセンター 体育館
社総合庁舎・山崎総合庁舎
母と子の島 管理棟
長田警察署・北但財務事務所
県立夢野台高等学校
県立星陵高等学校本館
農業試験場 但馬分場本館
王津福祉センター
身体障害者授産施設総合事務所
赤穂精華園 本館・成人寮
宝塚警察署庁舎
県立神戸高等学校 図書館
洲本総合庁舎 事務棟
職員寮 宿泊棟
自治研修所
県立スポーツ会館
能力開発センター
生田警察署庁舎
西宮保健所
県立歴史博物館
東播磨青少年館
県立近代美術館新館
長田高等学校 図書館
宝塚農業改良普及所 会議室
県警察本部庁舎
県立神戸高等学校 本館・体育館
神戸商科大学 I 号館
兵庫県水産会館
加古川総合庁舎
但馬文教府
兵庫農業改良普及所
兵庫県庁舎
兵庫県民会館
姫路総合庁舎
篠山総合庁舎・生活科学研究所
足崎青少年創造劇場
甲子園警察署庁舎
明石警察署庁舎
三原警察署庁舎
出石警察署庁舎
警察本部松原庁舎本館
県立長田高等学校本館
神戸農業改良普及所
西山 I 号公舎
工業試験場 本館
西脇警察署庁舎
神戸医科大学 本館、兵庫県東庁舎
兵庫県職員会館・県職員独身寮
兵庫県庁舎第１号館
ハンター記解体・復元
兵庫県立リハビリテーションセンター
丹波文化会館 講堂
県立図書館
小野福祉工場
特別養護老人ホーム（たじま荘）
淡路勤労センター
柏原病院第１期
婦野台生涯教育センター
西播磨青少年館
兵庫県職員会館
県立成人病センター
福崎保健所
仁川ハイツ宿泊棟
明石公園陸上競技場スタンド
淡路病院
林業試験場
社総合庁舎
県立成人病センター
昭５ 甲東園公舎
昭10 県立明石高等学校 図書館
昭15 県立兵庫高等学校
昭25 議会会館
昭35 園田競馬場 観覧席
昇屋ユースホステル
昭40 兵庫県民小劇場
昭45 丹波文化会館 本館
神戸商科大学 大学会館
姫路工業大学 本館、県立子供病院
昭50 姫路港管理事務所
林業試験場 研修・本館
淡路看護専門学院
昭55 たきのこーンステージ
明石公園サービスセンター
昇屋保健所・上都総合庁舎

作品写真


神戸商科大学本館　県警本部庁舎　明石学園講堂


日本真珠会館　兵庫県水産会館　県立西宮病院　兵庫県民会館　県立スポーツ会館　林業試験場　社総合庁舎　県立成人病センター

日本の動き

日本建築士会発足

分離派建築会発足

世界経済恐慌始まる
第16回総選挙（最初の普通選挙）
日本インターナショナル会創立
治安維持法公布
関東大震災
帝国ホテル竣工　ライト

大阪中央郵便局　吉田鉄郎
第一生命館　渡部　仁
宇部市民館　村野藤吾
2・26事件

義務教育9年制開始
労働基準法公布
日本国憲法公布
国際連盟脱退
ブルーノタウト来日
5・15事件

打放しコンクリート流行の兆し
フレキシブルボード発売
鎌倉近代美術館　坂倉準三
建築基準法公布
建築士法公布
坂倉準三
レオナルド・ダ・ビンチ展覧会場
12月　太平洋戦争勃発

神戸市庁舎　日建設計
日本建築設計会議
広島平和会館　丹下健三
愛媛県民会館　丹下健三
香川県庁舎　丹下健三

メートル法実施
高強力異形鉄筋発売
グラボリズム宣言
東京文化会館　前川国男
東京オリンピック開催
国立屋内総合競技場　丹下健三

大分県立図書館　磯崎　新
国立京都国際会館　太谷幸夫＋設計連合

朝鮮戦争勃発

ライト・ライトの修道院　コルビュジエ

ブラジリア計画　O・ニーマイヤー
〈CIAM〉第10回
ITクラウンホール　M・D・ローエ
ロンシャンの教会　コルビュジエ
〈CIAM〉の第9回「住宅憲章」
ユニテ　コルビュジエ
メキシコ大学図書館　J・オゴールマン
レヒショアドライヴ　ミース
〈CIAM〉第8回（都市の核）

〈CIAM〉解散
F.L.ライト死去

コルビュジエ死去

日本万国博覧会開催
桜台コートレッジ　内井昭蔵

住吉の長屋（東逃）　安藤忠雄
群馬県立近代美術館　磯崎　新
最高裁判所新館　岡田新一
第二次オイルショック

芦屋浜高層住宅計画―ASTM

つくばセンタービル　磯崎　新
六甲の集合住宅　安藤忠雄

名護市役所　集設計集団

ヤマトインターナショナル　原　広司

〈CIAM〉第2回
〈CIAM〉設立　ラ・サラ宣言
パウハウス創設　ワイマール

〈CIAM〉第3回　アテネ宣言
スイス学生館　コルビュジエ
サヴォイ邸完成　コルビュジエ

〈CIAM〉第6回　（ヨーロッパの復興）
国際建築連合（IAU）発足

パリ万国博覧会
落水荘完成　ライト

〈CIAM〉第7回（住宅の連体性）
J・ワックス研究所（FL・ライト）

コルビュジエ　輝く都市発表

〈CIAM〉第4回
アテネ憲章

国際建築家連合（IAU）大会

世界大都市会議　ボストン

香港上海銀行　N・フォスター

ヨハン・オットー・スプレッケルセン
テット・デファンス　ポルト・ヴァン・

AT&Tビル　P・ジョンソン
ラ・ヴィレット公園　バーナード・チュミ

ジョン・ハンコック・センター　SOM

「兵庫県営繕の歩み」特集 グラビア掲載作品建築概要

No.	施設名	所在地	竣工年月	構造・規模	建築面積	延床面積
①	兵庫県庁舎(第１号館)	神戸市中央区	S39．6	SRC, 13F B-2F		29,875㎡
	(第２号館)			SRC, 13F B-2F	960㎡	15,505㎡
	(議場棟)			SRC,	980㎡	4,917㎡
	(第３号館)		H 2．9	SRC, 14F B-4F		28,000㎡
②	兵庫県公館	神戸市中央区	S60．2	RC, 3F		9,600㎡
③	県立神戸商科大学	神戸市垂水区			12,575㎡	29,895㎡
	研究棟（Ⅰ）		H 1．5	RC, 4 F	1,459㎡	4,241㎡
	研究棟（Ⅱ）		H 1．5	RC, 4 F	1,597㎡	4,809㎡
	教育棟		H 1．5	RC, 4 F	2,704㎡	6,748㎡
	図書館		H 1．5	RC, 2 F	1,728㎡	3,420㎡
	本部棟		H 1．6	RC, 2 F	901㎡	1,806㎡
	屋内体育棟		H 1．7	RC, 3 F	1,429㎡	2,799㎡
	部室棟		H 1．7	RC, 3 F	822㎡	2,287㎡
	大学会館		H 2．3	RC, 2 F	590㎡	1,180㎡
	大学会館別館		H 2．3	RC, 2 F	250㎡	500㎡
	講堂		H 1.11	RC, 2 F	1,095㎡	1,095㎡
	弓道場、その他					1,010㎡
④	たんば田園交響ホール	多紀郡篠山町	S63．2	RC, 2F(一部3F)	2,461㎡	3,074㎡
⑤	兵庫県立こどもの館	姫路市青山	S63．3	SRC, 3F	3,275㎡	7,126㎡
⑥	県立尼崎病院	尼崎市東大物町	S61．6	SRC, 8F B-1F		30,116㎡
⑦	新たんば荘　本館	多紀郡篠山町	S63．2	RC, 2F	1,399㎡	2,186㎡
	会議室棟（全３棟）			RC+W, 2F	597㎡	673㎡
⑧	県立歴史博物館	姫路市本町	S57．9	RC, 2F B-1F	2,928㎡	7,465㎡
⑨	神戸高等技術専門学院	神戸市西区	H 2．2		4,600㎡	13,587㎡
	女子高等技術専門学院					
	本館棟			RC, 5F		4,741㎡
	実習棟(2棟)			RC, 4F	(A-3,355㎡ B-3,570㎡)	6,925㎡
	体育館　他			RC+S, 2F	(体-1,843㎡ 他-78㎡)	1,921㎡
⑩	尼崎青少年創造劇場	尼崎市南塚口町	S53．7	SRC, 4F B-1F	2,418㎡	5,037㎡
⑪	西はりま天文台公園	作用郡作用町	H 2．3		1,879㎡	2,195㎡
	天文台			RC, 4F	361㎡	537㎡
	グループ用ロッジ			S, 1F	813㎡	778㎡
	家族用ロッジ			S, 2F	235㎡	421㎡
	食堂棟			S, 1F	333㎡	326㎡
	管理棟			W,(ログH)	137㎡	133㎡
⑫	県立図書館	明石市明石公園	S49.10	RC, 3F B-1F	3,146㎡	7,988㎡
⑬	淡路勤労センター	洲本市宇原	S54．2	RC, 3F	2,940㎡	3,562㎡
⑭	生活科学研究所	神戸市中央区				
	本館		S53．1	RC, 2F	1,145㎡	2,128㎡
	付属棟		S53．3	RC, 1F	35㎡	35㎡
	多目的実験棟		S53．8	RC+S, 2F	338㎡	529㎡
⑮	篠山総合庁舎　庁舎	多紀郡篠山町	S53.12	RC, 4F	2,305㎡	4,854㎡
	保健所			RC, 2F		
⑯	県立柏原病院	氷上郡柏原町				
	第１期工事		S54．3	RC, 5F B-1	6,879㎡	20,104㎡
	第１期工事		S56．5	RC, 5F B-1F		
	第１期工事		S59．3	RC, 2F B-1F		
	結核病棟		S57.10	RC, 1F		
⑰	健康センター	神戸市灘区	S57．4	RC, 5F B-1F	1,935㎡	7,697㎡
⑱	頌野台生涯教育センター	加東郡社町			8,869㎡	9,190㎡
	本館・食堂		S54.11	RC, 1F-2F	2,059㎡	2,885㎡
	リーダー管理棟・研修棟		S54.10	RC, 1F	1,038㎡	983㎡
	宿泊研修棟・体育館他		S55．7	RC+S, 1F	2,794㎡	2,173㎡
	文化施設		S55.12	RC, 2F	1,373㎡	1,215㎡
	成人宿泊棟		S56．3	RC, 2F	720㎡	1,083㎡
	食堂・スポーツ管理棟		S56．3	RC, 1F	781㎡	770㎡
	便所棟		S57．3	RC, 1F	104㎡	81㎡

No.	施設名	所在地	竣工年月	構造・規模	建築面積	延床面積
⑲	姫路短期大学	姫路市新在家本町			2,962㎡	9,268㎡
	本館		S57．9	RC, 2-5F	2,098㎡	7,667㎡
	図書館		S57．1	RC, 2F	598㎡	1,156㎡
	音楽堂・動物飼育舎		S59．3	RC, 2F	266㎡	445㎡
⑳	浜坂身障者保養センター	美方郡浜坂町	S58.11	RC, 2F	2,439㎡	3,474㎡
㉑	城崎大会議館	城崎郡城崎町	S58.12	RC, 4F B-1F	1,660㎡	3,831㎡
㉒	兵庫県職員会館	神戸市中央区	S59．3	RC, 5F B-2F	1,270㎡	6,888㎡
㉓	西播磨青少年館	竜野市竜野町	S59．2	RC, 3F	3,552㎡	3,814㎡
㉔	大鳴門橋記念館	三原郡西淡町	S60．2	RC, 2F B-1F	1,773㎡	2,950㎡
㉕	淡路ファームパーク	三原郡三原町				
	本館		S60．3	RC, 2F		835㎡
	大温室		S60．3	S, 1F		1,684㎡
	パークゲージ		S60．3	S, 1F		464㎡
	育成温室		S60．3	S, 1F		141㎡
	設備棟		S60．3	RC, 1F		65㎡
	育成温室		S61.11	S, 1F		141㎡
	公舎		S61．3	RC, 2F		260㎡
	飼料庫		S61．3	S, 2F		133㎡
	西オーストラリア館		S61.12	RC, S-1F, 2F		907㎡
	ユーカリハウス		S61.12	S, 1F		944㎡
㉖	県立総合体育館	西宮市鳴尾浜	S60．8	RC, 6F		15,495㎡
㉗	県立文化体育館	神戸市長田区	S60．6	RC, 4F	6,800㎡	10,488㎡
㉘	垂水警察署庁舎	神戸市垂水区	S61.10	RC, 5F		2,669㎡
	車庫・道場棟		S61．7	RC, 2F		702㎡
㉙	県立兵庫工業高等学校	神戸市兵庫区			7,852㎡	27,790㎡
	第１期工事		S61．8	RC, 5F		
	第２期工事		S61.10			
	第３期工事		S62．3			
	屋内体育館		S63．3	RC, 2F		
㉚	円山川公苑	豊岡市小島	S62.10	RC, 2F		1,564㎡
㉛	西宮警察署	西宮市津田町	S63．3	RC, 6F		5,015㎡
㉜	県立弓道場	明石市明石公園	S63．3			
				S, 1F		674㎡
				RC, 1F		132㎡
				W, 1F		44㎡
㉝	姫路港旅客船ターミナル	姫路市飾磨区	S63．9	S, 2F	2,151㎡	3,264㎡
㉞	県立篠山産業高等学校	多紀郡篠山町	S63.12			
	本館棟			RC, 4F	1,434㎡	3,650㎡
㉟	長田警察署	神戸市長田区	H 2．3	SRC, 7F		4,632㎡

○ 文化施設、スポーツ施設
□ 保健環境施設
◇ 福祉施設、厚生施設
◯ 行政施設
△ 警察施設
□ 教育施設



兵庫県営繕の歩み特集 作品ガイドマップ

●掲載作品建築概要の番号により ご覧下さい。

抱　負

70年の伝統を引き継いで

松田泰典

大正９年（1920年）に内務部営繕課として発足した当課は、以来70年の歴史を経て今日に到るまで、旧兵庫県庁舎（現公館）と深い関わりを持ってきました。明治の代表的な建築家山口半六が設計したこの旧兵庫県庁舎は、明治35年建築されたものですが、その様式は近世フランス・ルネサンス式で、当時の第１級の庁舎建築として、これにそそがれた設計者の姿勢と情熱は、その後の営繕課技師に少なからず影響を及ぼしたであろうと想像されます。昭和20年戦災によりこの庁舎もレンガ造の壁体を残し焼失廃墟となりましたが、戦後県民の強い保存修復への熱意により立派に再生されました。この修復に当時の営繕課が果した役割は極めて高い評価を受けるに値するもので、当初の曲線をモチーフとした大屋根は、直線の屋根へと簡略化したとはいえ、往年の風格を決して損なうことなくみごとにこの難事業を達成したのです。先般、この設計監理に当たった技師諸氏の活躍の様子を知る、先輩のお話しを伺う機会を得ましたが、内部造作ディテールの隅々に至るまで徹底した設計監理体制で望まれたと伺いました。この頃から、すでに設計、監理業務は外部委託によらず自力で行うという、暗黙の了解が職員全てに浸透していたといいます。

昭和39年６月には現庁舎第１号館の竣工をみ、以後第２号館、第３号館と新庁舎及び周辺環境の整備拡充が進められてきましたが、これに関連して旧兵庫県庁舎の保存問題が浮上し、各方面の関心を集め、保存への働きかけもあり、昭和56年、現地保存し、迎賓館として再生されることになりました。これにより再び営繕課にこの保存修復の任務があたえられることになったわけですが、この時もまた日夜、強靭な熱意と努力を傾注し、昭和60年２月、現在の兵庫県公館として見事に蘇らせることができ、第１回公共建築賞の栄誉にも浴しました。これはひとえに、当課の歴史と伝統に、支えられ、これに恥じることのないよう担当職員一人ひとりが自覚し、たゆまず業務遂行に励んだ結果であると確信しております。この建築が県民の貴重な文化的財産であり続けると共に、当課の業績を象徴する施設として永く存続することを強く望んでいます。又、我が営繕課の先達諸氏の熱意と努力、技術者気質により培われてきたこの歴史と伝統が、今日に至るまで確実に継承されていることは我々の誇りとしているところです。誠に残念なことは、他に営繕課の業績として発足当時や、戦前をしのぶことができる施設がほとんど残されていないのが現状です。そのため当課の作品として現存する建築はほとんど戦後、しかも昭和30年代以後の施設です。70年間に成された施設の総数はさだかではありませんが、大小取りまぜておそらく千件を下回ることはないと思われます。このような実態をみるにつけ、改めて歴史遺産としての建築のあり様に思いを到らせております。昨今歴史的建造物の保存問題がしばしば議論されるようになりましたが、この点においても当課は、貴重な示唆を与える業績を残したいといえるでしょう。

しかし時代は確実に変化しております。1920年（大正９年）はいみじくも所謂近代建築が世界の主流に定着した時代の幕開けの年であったわけです。ル・コルビュジェが、かの有名な「近代建築の５原則」をもとに建築家として、著名作品を次々に発表し始めた年代でもあります。従って兵庫県営繕課は、近代建築の盛衰とともに歩んできたと言っても過言ではありません。当然、我が課も世界及び日本の建築潮流と無縁ではおれなかったと思われますが、日本の縮図とでも言えるような多様で豊かな自然に恵まれた、兵庫県という一地方官庁のシチュエィションがモダンニズムを指向しながらも同時にリージョナルな建築へより強く指向したのは自然な姿であったといえるでしょう。その結果比較的「孤高」の立場が堅持されてきたわけです。見方によればこの点こそが日本建築史上でもユニークな足跡を印してきたと言えるのかも知れませんが、現在、我々の置かれた立場ではもはや時代の潮流に目を背けるわけにはいきません。建築技術も格段の進歩を遂げさらにこの速度を増しつつあり、又、建築そのものへの社会的、個人的ニーズも著しく変化していきます。従来から当課の設計スタッフは建築技術者（Building Engineer）としての姿勢をかたくなにまで守り通すことにより、堅実な官庁施設のスタイルを築き上げて来ましたが、これからは同時に建築家、芸術家（Architect、Artist）としての自覚が要求されます。一方では行政職としての立場もあり、この特異なスタンスを逆に我々組織のアイデンティティとして設計業務に反映させることが、兵庫県としての公共建築の個性を生み出す結果を誘導することにつながると考えています。設計スタッフ一人ひとりが建築家を強く指向する過程で、時として組織との葛藤を生むでしょうが、そのプロセスを経てこそより確実な組織のアイデンティティが醸成されることになり、スタッフの絆も強化されるでしょう。設計スタッフ各自が我が県の自然と社会的習慣、伝統、文化など、多角的な理解を深め、時代のニーズにも敏感に即応してゆく姿勢を持たなければなりません。

営繕課が今年で70周年を迎えたのを期に、一度過去の業績をたどり将来に向ってさらに当課の充実を図る一助とするために、今回誠に良い企画を得ることができました。この特集を企画するに際し、惜しみないご支援を賜りました諸先生方、並びに関係者の皆様に心から厚く御礼申し上げます。

（まつだ　やすすけ/兵庫県都市住宅部営繕課長）

兵庫県営繕へのメッセージ

営繕課の70周年を振り返って

神田省三

兵庫県営繕課の70周年に当る今年は、私が大正10年に第１回生として入学した兵庫県第３神戸中学校（現長田高校）の創立70周年にも当ります。当時の校舎が営繕課の初期の作品でもあったわけです。神戸高工（現神戸大学工学部）を卒業する時、当時初代営繕課長で、同校の講師でもあった置塩章氏の推挙で営繕課に入り、後に課長を勤めることになったのも、何かの因縁でしょうか。振り返って数々の事柄の去来するなかで、２、３を挙げてみようと思う。

私が、就職した昭和４年頃は、未だ従来の踏襲と、非能率なものでした。若輩の私は先輩課員を差し置いて、近代化と能率化を自ら実行し、新しい体制に移行するための努力をして来たものです。後に私の課長時代に住宅課員であった光安義光君を営繕課に迎へ、彼が設計に色彩に新しい感覚を吹き入れて呉れたことも、忘れられない事であった。同君の肝入りで課員の三川栄吉君の作品（官舎、木造住宅）を「住宅」誌に発表した時、山口文象さんから私に手紙が来て、所謂従来のお役所設計の殻を破り、新感覚の住宅設計に接して、あたかも隙間風の清風がサアッと吹き抜けた様な爽やかな感銘を受けたなどのお誉めを頂き、甚だ面目を施したものであった。

戦後、県の復興事業が多くなり、営繕課の業務も多忙となり、我れ先きにと設計督促が相次ぎ、設計を外注してはとの声が他課から聞えて来る次第。

私は営繕課長として、若し外注すれば、新営の纏った設計が出され、増築とか改修の設計が課に残ることになるが、外注か、それとも自主設計を堅持するか、課員を集めて意見をきいた。結果総意は自主設計を守り抜きたいと意見一致。このことが今日迄、営繕課の自主設計の伝統を生んだ根源である。そして課員の設計意欲を更に向上させて、幾多の新しい作品を建築関係誌に発表、全国の自治体営繕のな中で唯一の自主設計集団として認められるようになったのである。兵庫営繕のイメージアップに大いに貢献した課員の皆さんに心から敬意を表したい。

また私の課長時代にいわゆる営繕の地位の向上、業務の近代化、設計監理の技術の向上等について、三つの会議を提唱。一つは建設省建築局主催の全国営繕主管課長会議。次に近畿６府県営繕課長会議を兵庫県、大阪府、京都府の建築部持廻り幹事役で毎年開催。更には県下の公共団体の営繕主務者会議も毎年開催した。

今日この内の会議で形体、内容が多少変った様であるが、継承発展しているように聞いている。

紙面の制約で他は割愛するが、私が微力ながら築いた基盤の上に後続課員のはらわれた熱意と輝かしい業績に対し心から敬意を表します。

（こうだ　しょうぞう／元兵庫県営繕課長）

兵庫県営繕課への思い入れ

光安義光

私はビルマ戦線から帰還し、設計チャンスを摑むべく昭和23年末に兵庫県に入り、25年に念願の営繕課へ神田課長に引張ってもらいました。指導力のある上司、やる気応盛の仲間に囲まれ県庁舎第１、第２庁舎をつくり終えた昭和46年までの充実した生活空間―営繕課―は終生忘れ得ないものです。50周年を経験し、再び70年を迎え心から拍手し未来への希望、誇りを高く揚げたい。

★　設計、監理一貫体制

営繕課の特色であると思う。近代建築の進む過程で設計、監理の分離が強く論議された事があった。然し公共建築の高度な技術、多様な機能、施工、設計精度の要求は設計、監理一貫するワンマンコントロール方式にシステム化を入れるべきだと見直しされ、より強化する事になった。

設計者の自覚、建築への愛着心を深め、責任の所在も明確になることから、主務課の信頼、業界指導力の強化ができたのである。そこに営繕技術者としての高い誇りを胸にするのである。

★　風窓

営繕課には通気の良さがある。課員の研修、係長の情報交換を頻繁に行い時流の変化を捉えるのである。設計に対する批判を受け易いように、建築士会、建築協会等の会誌編集に積極的に協力している。風窓を外に向けて開けているのである。外部の流れが爽やかに入ってくる。

新しい技術、材料、物価調査、各部の企画立案などを課独自の立場から専門員が研究している。この制度と共に、一人良がりにならぬ習慣が課内に淀みを作らず明るくしているようである。

★　設計室の囲い。

設計とは、一人で空間を創出しなければならない作業である。個室に入ることを許されるべきであろう。然し県の中で営繕課のみが、そんな事は許されない。組織設計の協調も必要である。そこで考えたのが、穴あきベニヤのスクリーンを立てて、個室的自我空間を感じさせる事である。これは多数の図面を照合するのに効用があり、便利である。また従来からの対面式机卓配置を続行しその長所をも生かしている。熟、若年技術者の配置は仕事の相互間の密を計り、技術向上に資し友情を育くむことになっている。

この営繕課の囲い式設計室は、他の課にも流行し、一つの独自スタイルを構成しているようである。こうした思い出が私を育て、心、技の支えとなっているのだと、今更の如く思うのである。

（みつやす　よしみつ／光安建築設計事務所所長・元兵庫県営繕課長）

兵庫県営繕課の伝統の更なる発展に期待する

嶋田勝次

兵庫県営繕課の伝統ある栄光は、長くつづき、瀬戸内海から日本海に至る南北にひろがる兵庫県の地域全体にゆきわたっている。

明治から大正・昭和の時代に歴代の営繕課長をはじめとするスタッフのたゆまぬ努力が全国の自治体営繕にあって、率先して自主設計監理を打ち立ててこられた建築家集団を築き上げてきたことにあろう。

もう歴史上の人物といえるのだが、初代の置塩章先生、神田省三大先輩、戦後の光安義光さんなど、次々と輩出された方々の足跡を振り返って、これからの新しい建築家の時代をつくっていく一助となれば、後につづく我々にとってもまことにありがたい。

光安さんの時代に、神戸で、兵庫県・神戸市・神戸大学のメンバーを主体として毎月例会と称して作品見学会やら読書会やらを熱心に行ってきた。ここの会と名付けていたが、この常連には光安さん、山田勝成さん、県営繕課の皆さんがおられたが、今はその時の皆さんは定年になって県庁を退かれて久しくなった。

当時の思い出の中には兵庫県庁舎の設計施工が脳裏をよぎるし、旧兵庫県職員会館、兵庫県立近代美術館などで、次々と新しい作品を見せられ、目を輝かさせてもらった。

営繕課の皆さんの中には県内部の人間として、積極的に発言出来ない苦しみを味われたことも多々あったろうと思っている。そのひとつには明治35年建設の兵庫県南庁舎の保存問題があったのではなかったか。今でもこの保存問題について思い出すと、兵庫県にとってもだろうが、私自身にとってもエポックメーキングな出来事であった。当時副知事で現在、姫路市長さんになっておられる戸谷松司さんが、今でもお会いすると、兵庫県南庁舎の保存運動の時の話を出されたりする。それが営繕課のスタッフの努力によって保全再生をみごとに仕上げられた好例として、営繕課の実力を忌憚なく示されてたものであることが分かるのである。

これからますます時代の進展に合わせて、建築家の役割は量的にも深味を増すものと思われるので、社会の期待にこたえるものとする方向を更に打ち立てていかれることを願っている。

（しまだ　かつじ／神戸大学教授）

兵庫県営繕へのメッセージ

光を創る

三浦啓子

ガラスは、私にさまざまな創造をよび起こしてくれる。ガラスは、透明で力強く、あたたかい。また光を透すことによって建物に生命を与えることも出来る。建物におけるガラスは、その街並の光の質までも変えてしまうのである。私は今、光の質をうみ出すガラス作りに夢中になってしまった。この度、現在の建築ガラスを省りみながら、兵庫県公館と第３庁舎の作品創りについてふり返ってみたい。

壁を穿って穴を作り、室内に光を取り入れることからはじまった明かりとりは、近代になって工業ガラスの出現により、室内に大量に光を取り入れる事に成功した。需要が増すに従って工業生産による建築ガラスは採算性を追求するあまり画一化されていった。その結果、都会の中のスマートでシャープなインテリジェントビルや住宅の窓ガラスに至っても、合理的であるけれども、表情が乏しくなり、実に排他的なものとなってしまっている。

いつの間にか人々は、ガラスを透過した光の質など考える事もしなくなってしまった。私はもう一度ガラスそのものを考えてみたい。心をこめて創り上げる建築ガラスの出現こそ、これからの光空間ではなかろうか。今から5000年前に発見されたといわれるガラス！それを見た人々の感動はどんなだったろう。この時から変らないガラス本来の味、それは透明で、力強く、存在感があるのである。私はガラスのもつ本来の姿を建築の中に表現したい。私は、仮面をかぶった弱い人間の心を、時には強烈に打ちのめさす様な、透明な存在感、力強く純粋なガラスを都市空間の中にかもし出す事が出来ないだろうかと、考えていた。

その様な時、Ｉ氏より兵庫県公館の改修工事の事を耳にした。そして、私は山口半六氏設計のこの建物の姿を残されるとの事に心が躍っていた。兵庫県民としても……。Ｉ氏から営繕課のM氏を紹介され、色々話し合っているうちに、エントランスホールに私の作品を、との事になった。作品の構成のため幾日も祈りの時間が流れた。私は、透明な存在感を、部厚いガラスで力強く純粋な魂の表現を試みた。外からの光を透過することにより、壮重な公館に永遠の命を讃えるために、その後、相次いで兵庫県第３庁舎のエントランスホール天井部に於いても、存在感のある、手作りのガラスで兵庫県の生命そのものを表現する事になった。

私はこのガラス創りに生命をかけ、いよいよ作品創りがはじまったのである。私はスタッフと共にドイツの工場で奮闘した。調合したガラスの原料を2000度を越す高温で溶融し、どろどろに溶けた溶体を杓で汲みとり、すばやく天板に流し込む。同時に一枚一枚凹凸をつけるために力強くデザインしてゆく。やけつく熱さ！私の体力の限界との挑戦である。そしてゆっくり冷却すると出来た！力強い透明なガラスの数々！このガラスの誕生にスタッフ全員が歓声をあげる。そして、この生命を得たガラス達は、あざやかに今も建物の中で息づいている。

この新しい試みに、あたたかいまなざしで御協力下さったＩ氏はじめ兵庫県営繕課の方々、また生命がけで手助って下さったドイツの工場の人々との思い出が、ガラス製作の苦しみと、喜びに重なって、次の製作への意欲をかき立ててくれている。

常に次の世代へ文化を継承する為に努力を重さねておられる兵庫県営繕課の人々に拍手を送ります。

（みうら　けいこ／建築ガラスアーティスト）

兵庫県営繕へのメッセージ

確かさの追求ーこれからの兵庫県営繕

安藤忠雄

海が見たければ六甲に登ればよい。エキゾチックに浸るなら神戸北野、のどかなノスタルジーを求めるなら丹波篠山、佐用平福。雪国なら但馬、日本の地中海なら淡路に行けばよい。兵庫の自然は実に豊饒である。

創るという行為が自然との関わりを媒体とするなら兵庫は面白い。またそれができるところでもある。自然との同化や異化、連続や不連続、伝統性の継承と切断、それらは自由自在であろう。

この豊饒な風土を背景にして、兵庫県営繕は地域に根ざした創作活動に執着するべきだろう。その様な着実な積み重ねを続けていくならば、異なって見えるそれぞれの作品も、そこに一貫したコンセプトを持ち得る。巷にはびこる建築のように、個々の作品だけが派手派手しく突出することを求める方向ではなく、風土の中に溶け込み、時間の流れの中に蓄積する建築をじっくりつくり続けて欲しいと思う。地域性を体内化し、昇華していくプロセスの中で諸問題を明確なコンセプトに集約することが、建築の本来の行為であると私には思われるからだ。

行政の論理の延長線上に、建築の最大公約数化、没個性化の陥穽がある。その事実のために創造するという行為が歪められるものであってはなるまい。99%に及ぶ内部設計を堅持しているのは、官庁営繕の中では兵庫県をおいて他にはない。外部から注目され、標的にもされている。確かに標準以上の技術水準を保ったとしても、日本や世界の文化、建築との交流が乏しいとすれば自閉症的官庁営繕の域を出れない。まして、創造することへの執着、自身を切り刻むが如き確かさの追求が軽んじられるならば、「公共」の名のもとに押し付けられる県民にとって楽しい街になるはずがない。

兵庫に住む者が県民や自然を愛し、創るという行為を通してそれらと格闘しながら空間化していく、同時に外部委託の功罪を見極めながらも、外の息吹を吸収するシステムづくりも問われている。外部との情報交換の機会を積極的につくることにより、刺激を得ることを求めなくてはいけない。この情報化社会において、兵庫県営繕は逆に情報量が少ないと言えるのではないだろうか。現代はつくり手とつかい手（県民）との情報量が拮抗しほとんど同じレベルになっていると言ってよい。こうした状況にあって、新しい情報を貪欲に取り入れ、外部の刺激を積極的に受け入れることによって公共建築のめざす方向を正確に把握することができ、官庁営繕として次なる次元への昇華がより確実なものとなるであろう。

（あんどう　ただお／建築家）

兵庫県営繕へのメッセージ

公共建築への情熱

内井昭蔵

兵庫県営繕の作品に触れる機会を持ったのは、第１回公共建築賞の審査の際であった。旧庁舎を改修復元された公館はもともと山口半六の設計で筋が良かったとは言え、その改修復元の仕事は並々ならぬ努力が必要であったと思う。官庁営繕の仕事の中で伝統的建造物の保存、修復というのは手間だけでなく、一般市民を始め行政の上層部の人々の理解が不可欠である。この点、この仕事は新しい公共施設を設計、建設すること以上に意義深いことであったと思う。この改修復元の仕事が正当に評価され、公共建築賞を得られたことはまことによろこばしいことであった。とりわけ現地審査に立ち会った身にとっては自分のことの様に嬉しかった。これは70年にも及ぶ長い歴史をもつ営繕課の日頃の研鑽が結実したものであろう。

昨今は市制や県制百年を迎えるところが多くなってきて新庁舎建設などが各所で行われているようだが、単に経済効率のみの視点から安易に旧庁舎を取壊し新築することは考えものであると思う。勿論、危険であったり、法規などに不適合なものなどは問題であるし、又すべての建築を保存すべきということではないが、歴史的な価値が認められる建築はできるだけ手を加え、微調整をしながら使っていくことが望ましい。建築が老朽化してくるとそのメンテナンスに莫大な費用がかかることは解るが、或る程度費用をかけてもつくり変えるのではなく、建設当初の精神を生き永らえさせたいものである。いたずらに古きものを良しとするわけではないが、古いものの中に蓄積された多くの人々の記憶や歴史を破壊することは文化に対する冒瀆ではなかろうか。

それにしても最近の公共建築の寿命が短いのは問題である。昔の庁舎は50年や60年は充分もってきたのに、最近のものは20年もすれば機能的破綻がくる。しかも改造したりする余力が建築にはない。費用をかけないでその場凌ぎの公共建築がいかに税金の無駄使いであるかを考えなければならない。

建築の寿命はその建築のイニシアルコストにも関係があるが、むしろメンテナンスをどの位かけるかによって寿命は延びる。最近の建築が昔の建築のように主に自然材料で構築されるのではなく、化学的合成材料で、しかもシステマティックにつくられている以上、昔よりは余分にメンテナンスコストを必要とするのは当然である。公共建築は必要な所にはお金を掛けるべきと考える。要はトータルコストが問題なのである。しかし建築の寿命はコストだけで決まるのではない。それは、それをつくる人々の建築に対する情熱が大いに関係する。

今日、官庁営繕の在り方が問われているが、兵庫県の場合、伝統的に明確なポリシーを確立され、それを守ってきた。最近では営繕はややもすれば設計という本業を忘れ、発注的業務が中心となってきた。それに対し、兵庫県では一貫して設計に関わることを忘れなかった。そのために個人の能力を生かす制度も整えてきた。この様な努力の成果が今日、花開いているように思える。

最近の営繕年報を拝見して、水準を上回る質の高い公共建築が目白押しなのを見ても営繕のポリシーが生き続けていることを感じる。そのポリシーの底辺には課を支えてきた多くの人々の建築に対する情熱が脈ずいているのだ。今や名実ともに地域の時代（地方ではなく）になってきたが、兵庫県営繕の生き方こそ、他県の範となるものと思う。

（うちい　しょうぞう／建築家・内井昭蔵建築設計事務所主宰）

兵庫県営繕の歩み特集

協　賛

建設業

明石土建工業 株式会社　明石市西新町3-1-12　TEL078-923-0001

株式会社 新井組　西宮市池田町9-18　TEL0798-26-3111

淡路土建 株式会社　洲本市桑間字ヒダ706　TEL0799-22-2525

株式会社 大林組神戸支店　神戸市中央区西町35　TEL078-331-2111

株式会社 岡 工務店　神戸市兵庫区水木通10-2-31　TEL078-576-2626

鹿島建設 株式会社 神戸営業所　神戸市中央区浜辺通5-1-14 神戸商工貿易センタービル　TEL078-231-4941

株式会社 川嶋工務店　出石郡出石町町分396-2　TEL0796-52-3123

関西建設工業 株式会社　神戸市西区大津和1-6-2　TEL078-974-1441

株式会社 熊谷組神戸出張所　神戸市中央区磯上通4-2-22 TEL078-291-0341

株式会社 熊田工務店　城崎郡日高町土居80-2　TEL0796-42-1085

塩谷運輸建設 株式会社　高砂市梅井5-4-1　TEL0794-47-0751

株式会社 柴田工務店　洲本市下加茂1-1-6　TEL0799-22-2577

株式会社 高階組　三木市末広1-5-35　TEL07948-2-0017

株式会社 竹中工務店神戸支店　神戸市中央区磯上通7-1-8 TEL078-232-1631

株式会社 竹内工務店　豊岡市泉町18-3　TEL0796-22-7131

鉄建建設 株式会社 神戸営業所　神戸市中央区八幡通4-1-11 TEL078-251-6335

戸田建設 株式会社 兵庫総合営業所　神戸市中央区加納町2-6-25 TEL078-221-7121

西松建設 株式会社 神戸営業所　神戸市中央区八幡通4-2-8菊海洋興産ビル TEL078-251-7000

株式会社 播磨工業所　神戸市長田区御船通2-3-2　TEL078-643-0011

株式会社 平尾工務店　加東郡東条町天神341　TEL0795-47-1238

平錦建設 株式会社　姫路市下寺町101　TEL0792-22-4405

フットワーク建設 株式会社　加東郡社町社417　TEL0795-42-1234

株式会社 明和工務店　神戸市中央区下山手通5-6-6　TEL078-351-0921

本林建設 株式会社　赤穂郡上郡町船坂96　TEL07915-5-0055

立建設 株式会社　姫路市広峰2-4-3　TEL0792-82-2861

電気・空調・衛生設備

栗原産業 株式会社 神戸営業所　神戸市中央区磯辺通4-2-20神戸ビル TEL078-251-6561

住友電設 株式会社 神戸支店　神戸市中央区栄町通1-2-1神戸住友信託ビル TEL078-331-3313

西部電気建設 株式会社　神戸市長田区東丸山町6-12　TEL078-641-0835

大藤工業商事 株式会社　神戸市兵庫区西出町2-3-20　TEL078-671-1072

株式会社 竹中工業所　西宮市甲子園6番町15-19　TEL0798-48-0121

株式会社 西尾設備　神戸市垂水区向陽2-4-20　TEL078-709-2388

早水電機工業 株式会社　神戸市長田区海運町2-8-3　TEL078-731-9301

美樹工業 株式会社　姫路市東延末2-50　TEL0792-81-5151

三ツ星電機 株式会社　神戸市兵庫区大開通10-2-19　TEL078-576-2434

六興電気 株式会社 神戸支店　神戸市中央区中山手通1-22-26 TEL078-241-5358

（50音順）

※すべて兵庫県内の所在地で掲載。

三和シャッター



100名収容を



50名にする。

天井から下りてきて、天井へ収納され消える、上下開閉式の間仕切り。デッドスペースを完全に追放し、スッキリとした空間を保つ三和の「スーパーウォール」。セッティングや収納はボタンひとつで、スピーディ＆スムーズ。開口部もスーパーワイド。大ホールや大会議室、大広間をピシャリと仕切ります。「大きな空間では、もて余す。でも、美観をそこねてしまっては、チョット困りもの。」という、ホテル、オフィスビルに格好です。

大ホールを仕切る
電動遮音「大壁」。
スーパーウォール

三和シャッター工業株式会社 ●資料のご請求、お問い合せは、●関西ビル建材支店 〒532 大阪市淀川区宮原4-4-50 真和ビル8F ☎06-396-6811

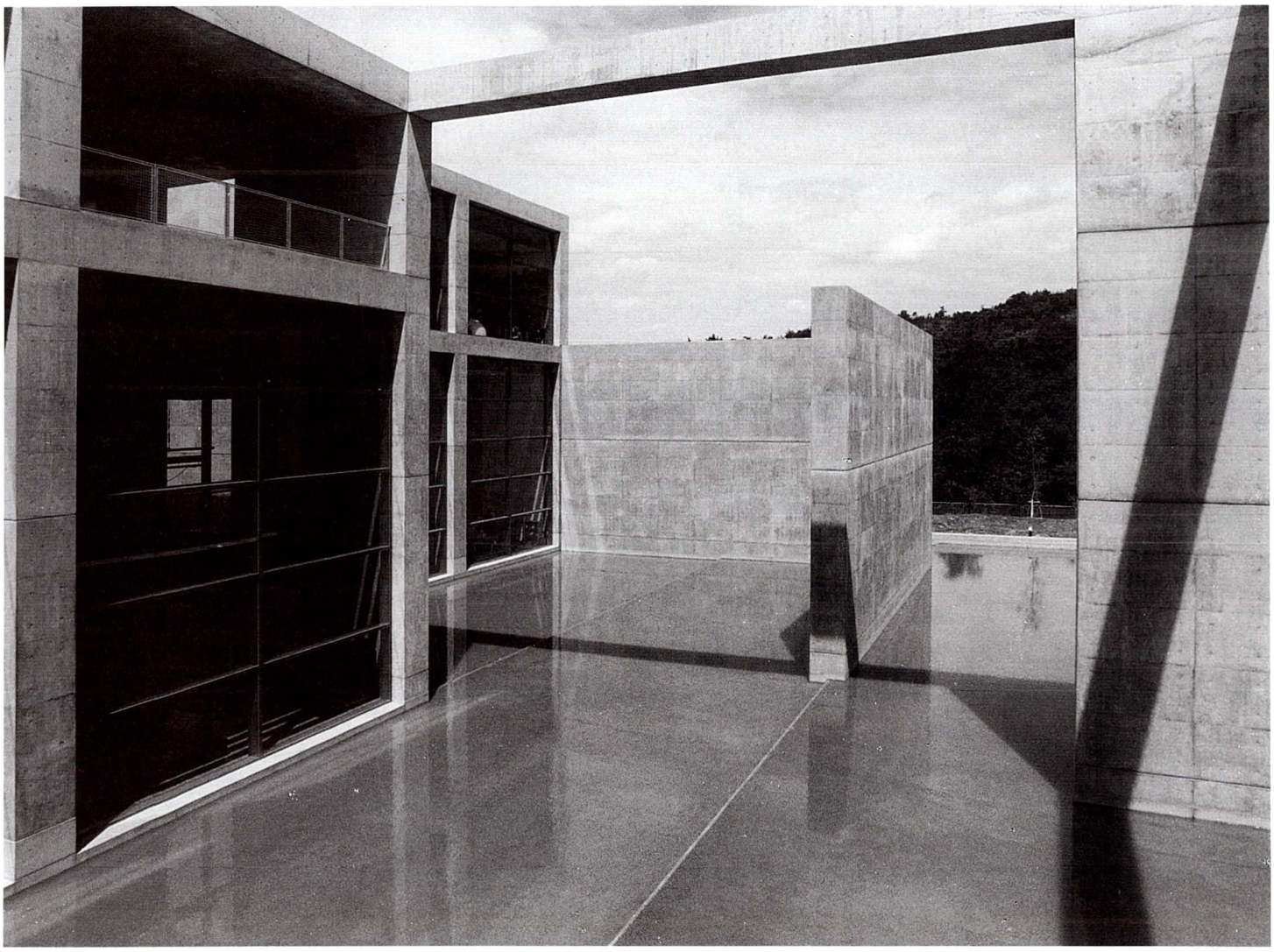
(NK) 浪速建材工業株式会社

大阪市西区新町1丁目4番26号
TEL　大阪(06)533-3855

サッシ
ドア
カーテンウォール

設計・製造・施工

アルミ
スチール
ステンレス

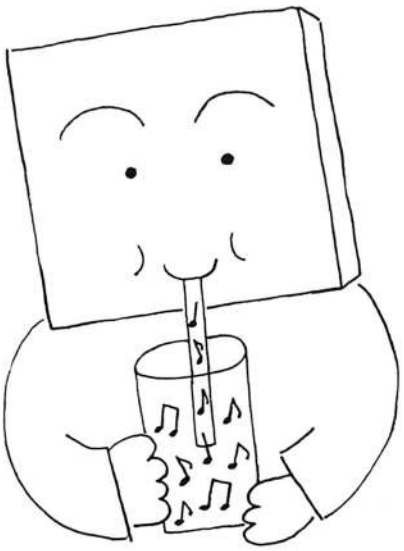


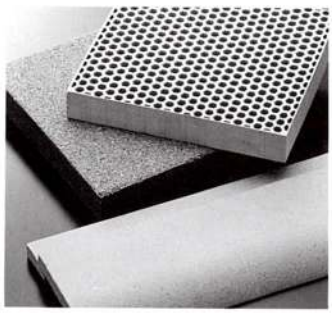
兵庫県立こどもの館　　安藤忠雄建築研究所

INAX

人・間・空・間たいせつに

音を吸うタイル。





え、そんな性能のタイルがあるの。音響タイル。

タイル貼りのお風呂で歌うと、ふだんより、いい声になった気がしませんか。これは音が長く響く。専門的に言えば残響時間が長いから、です。コンサート・ホールや録音スタジオの生命は、この残響時間。音が響きすぎても、反対にすぐ消えても不都合です。INAXの音響タイル。音を吸い込んでしまう吸音用タイルと、音を拡散させる反射用タイルを組み合わせて、天井や壁や床にはり、理想的な音環境をつくりだします。いい音の陰にタイルあり、というわけですね。こんな特殊なタイルから、バス・トイレ用、ビルの外壁まで。INAXはさまざまなタイルをお届けしています。

タイルはINAX

株式会社INAX 東京本部 〒163 東京都新宿区西新宿二丁目3番1号 新宿モノリス ☎03-343-1700 大阪支店 〒550 大阪市西区新町一丁目7番1号 ☎06-532-6081

営業品目

サッシ. ドア設計. 製作. 販売

アルミ　サッシ・ドア・カーテンウォール
ステンレス　サッシ・ドア・カーテンウォール
スチール　サッシ・ドア・カーテンウォール

JIS表示許可工場

岩住アルミサッシ株式会社

〒555 大阪市西淀川区千舟2－10－21
TEL (06) 471－5123(代)
(06) 474－5075(代) 営業・設計専用



HUMAN WORKS
タジマは、"床づくり"で人と語ります。

床を創る TAJIMA

それぞれの用途に、
それぞれの床。

●各種資料をぜひご請求ください。



タジマの生産・研究施設用床材シリーズ

化学薬品工場、化学研究所、学校の理科室などに



各種薬品に耐える帯電防止シート
タイヤクフロア・MD

重量機器の移動する各種生産工場、病院の手術室などに



トータルシステムが抜群の強度を実現
移動荷重用フロア

電子機器工場、研究室、コンピュータールームなどに



優れた帯電防止性能をもつ長尺シート
セイデンフロア

株式会社タジマ
営業本部■〒101東京都千代田区岩本町3-11-13 ☎03-866-6101 FAX03-862-5908
東京営業所■〒101東京都千代田区岩本町3-10-12山源ビル ☎03-861-3101 FAX03-861-3615
大阪営業所■〒550大阪市西区京町堀1-10-5 ☎06-441-5951 FAX06-444-2596

人
空間×環境
創るのは、人の環境です。

DAIMARU
大丸・装工事業部



QUALITY

YKK APグループは、
ものづくりの本質を求めて
高品質の製品づくりを
実践してまいります。

YKK ap
YKKアーキテクチュラルプロダクツ株式会社
大阪支店 〒540 大阪市中央区谷町4-8-7 TEL.06-947-1975

株式会社YKK兵庫
〒674 神戸市西区岩岡町野中562-1 TEL.078-967-4389

「建築と社会」誌21年●特集一覧——昭和45年～平成2年

「建築と社会」誌は、昭和42年からA4変形判となり、特集と作品作風頁を二本柱に、シリーズものの頁を織り込み、その時々の社会を反映したテーマを選んで掲載してきた。売価は980円(消費税込)。購読希望者は事務局（06—348—0635）へ。

＊印は欠号

巻号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
昭和45年(51集)	現代社会とは何か	＊建築と安全	日本万国博と技術開発＊	設計のシステム化＊	グッドデザイン運動＊	高層建築問題	欧米における契約＊	建築家の課題と責任	＊工事計画	ディベロッパー	第17回＊青年技術者	山陽・山陰＊からの報告
昭和46年(52集)	住宅—60年代の総括と70年代の展望	＊都市エネルギーと無公害化ビル	＊建築基準法	都市生活＊とみどり	企画と設計のプロセス＊	＊解体工学	都市と港湾	転換期のニュータウン＊	軟弱地盤＊と震災	変貌する＊建築生活	第18回＊青年技術者	自然＊とレジャ空間
昭和47年(53集)	冬期オリンピックと札幌	600号＊記念号	インテリア＊デザイン	都市交通＊問題	＊水利用	量産住宅の設備	＊一般号（桂中学）		＊都市住環境へのアプローチ	＊都市防災	第19回＊青年技術者	北陸＊の新建築
昭和48年(54集)	建築教育	＊泉北ニュータウンのコミュニティ施設	大阪大林＊ビルディング	レジャー＊と施設	大阪国際＊ビルディング	＊老人コミュニティ	住宅—建築家のすまい	新用途地域＊制と環境	＊構造と施工	＊仕上と材料	第20回青年技術者	ヨーロッパ＊のまちづくり
昭和49年(55集)	歴史的環境保全	＊明日の建築はどうなるか	＊保養所作品	既成市街地の住宅地整備の方策	北摂ニュータウン計画＊	建築生産と流通機構の変容	ビルの省エネルギー化	高層プレハブ住宅の構造設計	＊みどり	＊屋根防水工事の失敗例とその対策	第21回＊青年技術者	ビル防災に関する12章
昭和50年(56集)	図書館	東海＊の新建築	＊インテリア	PC板を使用した工業化住宅	社会＊・建築・法	都市の景観と施設	建築とプレストレストコンクリート	生活排水処理施設のあり方	人間環境＊としてのターミナル	騒音対策と防音材料	第22回＊青年技術者	集合住宅＊の設備
昭和51年(57集)	＊証言'76—建築デザインの動向	建築基礎構造＊の問題点	＊医療施設	床工法＊と材料	建築防災＊と法	＊市街地整備	工場建築と設備	鉄骨構造のジョイント	集住体＊のとハソフト	結露防止＊対策と断熱材料	第23回青年技術者	設備からみた建築の問題点
昭和52年(58集)	＊デザインの動向—部分と全体	兵庫県—その風土と建築・建築界	●日本建築協会60周年記念号●ニュータウンの管理	コンクリートの品質管理と行政指導の方向	日影規制＊と法	＊身障者施設	＊照明設備	埋立地における構造問題—大阪南港と芦屋浜を例として	日本住宅公団と建築作品	＊ミニ乱開発から計画的ミニ開発へ	建築における省エネルギー化	第24回青年技術者
昭和53年(59集)	デザインの動向—新旧のコントラスト	＊水	医療施設—病院建築と情報システム	外壁＊塗装材料	電波障害＊と建築	組合方式による集合住宅計画	住宅設備	新しい耐震設計	CAD—設計とコンピュータ	＊一般号	第25回＊青年技術者	ビル環境
昭和54年(60集)	転換期＊の再開発	大阪南港ポートタウン	商業空間	コンクリートのひびわれ	＊日影規制	ホテル建築と情報システム	農村施設＊の変貌	建物の終局強度の検討	庄内＊のまちづくり	80年代＊のインテリア	第26回＊青年技術者	建設業＊の労務事情
昭和55年(61集)	80年代の都市と建築—まちづくりの歴史と展望＊	●今後の省エネルギーの趨勢＊●建築金物	＊●最近の銀行建築●安井建築設計事務所作品集	住宅＊の耐久性	建築行政＊と法規	最近の防水工法	都市景観＊とアメニティ	屋内体育＊施設の設備	水ぎわのまちづくり	今後の外装＊吹付仕上材	＊●第27回青年技術者●転機にたつマンション・集合住宅	＊設計のための新耐震設計法
昭和56年(62集)	＊職能論	中国の論文＊—北京の都市計画	ポートピア＊'81	台所まわり＊の計画と設備	シーリング＊材の知識	＊災害と法—安全な環境をめざして	都市住宅＊—住まい手からの発想	＊●建築物と風—デザイナーのために●日建設計作品集	＊住宅都市整備公団—関西における都市整備を中心とした新公団の役割	間仕切壁＊の性能評価	第28回＊青年技術者	障害者の暮らしやすい環境と設備
昭和57年(63集)	新たな商業＊空間の展開	省エネルギ＊—と開口部	医療施設＊—地域医療と設備計画	近畿＊の地盤と地質	都市景観＊—まちなみ美観への誘い	大阪市庁舎＊（第1期）	音とホール＊建築	大スパン＊構造	昭和設計＊作品集	●絵本にみるすまいとまちづくり●オー・エム・ホテル日航ビル	＊●第29回青年技術者●地方の庁舎建築	風土・空気＊と人間
昭和58年(64集)	関西の建築文化を考える	マイコンの建築への利用	＊多様化する運動施設	建築と品質管理	計画におけるコミュニケーションとプレゼンテーション	大阪駅とターミナルビル	維持管理と設備更新	東海の将来と文化を考える	オフィス・インテリアの変革	プレストレスト(鉄筋)コンクリート構造	＊●第30回青年技術者●大阪城国際文化スポーツホール	集合住宅と生活者
昭和59年(65集)	21世紀への関西—魅力あるまちづくりを問う—	関西の超高層ビル	ビルのリフレッシュ—内外装補修技術の現状と発展—	建設産業とロボット開発	住環境と法制度	＊●まちの活性化と商業空間●京都駅南口再開発ビル（アバンティ）	消防設備のポイント	みどりとそれをとりまく人々	高齢化社会と生活空間	床の構工法	●第31回青年技術者●ディテール想の思	光応用システムと建築
昭和60年(66集)	＊大阪湾物語	東海の現在と近未来	●自由様式への道—建築家安井武雄●建築物の基礎を考える	情報化をめぐる建築・都市事情	ホールーそれが生み出す文化—	建築の表情—最近の外壁材料	大阪国際見本市新会場	●建築と水の演出●神戸研究学園都市	都市と健康スポーツ	●接合●日建設計作品	●村野藤吾の一断章●東海特集	第32回青年技術者
昭和61年(67集)	これからの住空間—都市型集合住宅にみる	屋根—そのデザインと素材	●現代デザイン—ポストモダニズム10年●これからの防水工法	インテリジェントビルの建築・設備計画	自治体営繕と公共建築	●建築防災と法●大阪市庁舎	21世紀の住居と設備	●開発●ツイン21	CAD—その応用と展開	オフィス空間の構成	第33回青年技術者	インテリア・イクステンションとリニューアル
昭和62年(68集)	入浴物語	腐食	創立70周年記念号	躍動する東海へ	●保管・貯蔵施設●大阪府立体育会館	室内の仕上床	駅	行政建築家の可能性	シティホテルの設備	宝塚の街づくり	●建物と街並みの接点●昭和設計作品集	第34回青年技術者
昭和63年(69集)	ホテル物語	●軟弱地盤と震災と海洋開発●文一の基礎	●設備におけるLCCとリフレッシュ●東畑建築事務所作品集	建物の外＊装リフレッシュ	都心居住	中国地方の展望とひろしまの街なみ	21世紀への照明	制振	超高層住宅を考える	●大阪府営繕＊●集合住宅のリフレッシュ	＊●第35回青年技術者●800号記念	讀賣テレビ
昭和64年平成元年(70集)	夢をのせる輸送設備	●竹中工務店90年史●リゾート情報	＊●色の復権●東海建築人のと術伝統技術	省力化のための材料・工法	まちづくり＊と法	博覧会とまちづくり	都市環境創造と設備Ⅰ	建築とアート	●構造の省力化●鹿島建設大阪支店建築設計部作品集	●都市環境創造と設備Ⅱ●ユーザー参加のハウジング	第36回青年技術者	最近の博覧会パビリオン
平成2年(71集)	商品化住宅のデザイン	ニュータウン・ルネサンス	東海の都市景観	スケール感	プレハブ住宅技術の現在と未来	国際花と緑の博覧会	建築家のための設備知識—中規模オフィスビルによるケーススタディー	高度強化—設計の多様化をめざして—	やわらかな住宅管理・ユーザーの役割	●都市のナイス・プレイス●兵庫県営繕のあゆみ	●第37回青年技術者●和歌山県の展望と景観	感性の時代を迎えての外装材

特集

都市のナイス・プレイス

□都市のナイス・プレイス －環境デザインの原点を求めて－／田中直人
□都市のナイス・プレイス
陶器神社／松川敏正
法善寺の界隈／木津川計
彼との出会い／梅村宏尚
秘密の散歩道／有村桂子
雙ヶ丘・石仏への道／入江美津子
〝ケ〟の聖空間／今井祝雄
四天王寺西門から／井本由之
新しさの中の古さ、古さの中の新しさ／鳴海邦碩
OLD AND MODERN INTERESTING STROLLING AREA…／SOWIYK EKO CAHYONO
賀茂川と高野川が合流する地点／鈴木克彦
中之島かいわい／恒成一訓
都市のオアシス／川西祐三郎
意外に知られてない〝蕉風発祥之地〟／浅井蚜一
人工都市の緑のオアシス－千里南公園－／磯野新
KAMOGAWA：A'SENPAI' RIVER／LOPEZ P., MIGUEL A
西宮港／中井省吾
開けた水面／菅家克子
川向こうの梅田／横関真紀
大川左岸－様々な人風景－／山尾弘子
街のパースペクティブ／小浦久子
O. B. P. から極楽橋へ／瀬尾理
カルチェ・ヌーボー新開地／高田昇
安治川トンネル／國本喜之
筋違橋／北辻稔
ニュータウンの歩道／黄大田
電柱のない道／Karin Kuroda＝Hachtmannn
神戸っ子の〝花の道〟／小泉美喜子
奈良町と私／北條蓮英
帝塚山の裏道／山形政昭
陰れている小路／徐貴淑
アメリカンビレッジ／川井秀幸
大阪スタヂアム／橋爪紳也
都市の中のINDIA／鎌田幹子
職人の心意気を感じる露店／瀬川雅士
匂いのある場所／西島登子
一万三千坪の宿／和田幸治
錦市場／高田公理
屋台／薄俊也
巷大好き／藤田邦昭
Multi－Purpose Spot／TANIMU TANKO OSMAN
JR 片町駅／吉村英祐
大阪駅前第３ビル３階広場／岡田和子
湧き水のあるスポット／田中直人
すきまから見えるげ・ん・ば／井面和子
ナイスにしたいダイヤモンドプラザ／高田佳子
ギャラクシー・ホール／河端秀直
日常生活の片隅になにげなく／望月照彦
木津川べりの私の住まい／伊勢戸佐一郎
At the Foot of Mt. Rokko／Anne Yamatsui
玄妙庵から／山崎泰孝



都市のナイス・プレイス
—環境デザインの原点を求めて—

田　中　直　人

「都市」という、生活と空間を包括する環境についての切り口は、さまざまである。「都市」は、古今東西無数の事実を語ってくれるし、今なお人知れず秘められた部分を内在し、あるいは消失していく事実もある。同じ「都市」であっても、その時により、その場に出会う人によって違ったイメージで映ってくる。

このような得体の知れない生き物である「都市」は、そこに住む市民や、社会的な多くの活動によって、日々つくり変えられつつある。ただし、どのようにつくり変えられたのか、それがどうなのかについては、万人に共通する領域の言葉では表現し難い。むしろ、そんな肩の凝るような見方などさらさらなく、「都市」の生活をパフォーマンスしていく一員として、現実の中で、その時々の動めきにどっぷりと浸っている人々が大多数であり、この怪物に挑もうとしている「都市」の専門家（的）な人も結局は個人として見れば、「どっぷり」組に入っているかもしれない。またそのような母体験がなければ、迫力のある都市論も生まれてこないのかもしれない。

さて、日本には自然風土に育まれて、その地域の生活を映しだす数多くの都市がある。しかし、高度経済成長の余波をはじめとする社会変化のエネルギーによって、交通、経済、文化、情報、そして建築技術……とあらゆる分野において、合理化、高度化が図られ、それまでになかった都市の変化と魅力をもたらした。その一方では、都市の美しくないもの、アンバランスなものも指摘され、都市の本質というか、独自性といったものを確認する都市のアイデンティティの希薄なまちづくりへの反省が起こってきたようである。あらためて、身近な都市の生活環境を見つめ直して、どのような視点から独自の個性を保持し、都市としての魅力を備えたまちづくりが可能となるかが問われようとしている。

都市環境は、海、山、河川といった自然系の要素によるものと、各種の生活との関わりから生みだされてきた、あるいは生みだされつつある施設系の要素の組み合わせの中で見ることもできる。発生過程から見れば、元から自然発生的なものであったり、偶然にそのような状態になっているものもあるし、計画的、意図的に人間活動のしかけとして作ったものもある。結果として、そこに住む人々にそれがどのような意味をもち、どのように感じられ、どのように関わっているかは千差万別である。一つの部分あるいは全体について問うてみても、その評価は分かれるだろう。「好き」「嫌い」だけの評価を求めた場合も、同一人物であっても時と場合によって異なった結果を下すかもしれない。それだけに、相対的な無数の関係要素が、その対象となる都市環境の中に存在しているといえる。一つのイメージ、一つの言葉ですべての「都市」の本質を表現することは、そういった意味で、手っ取り早いけれど、早計なアプローチだともいえる。

私たちが現実の都市環境をどうとらえ、どのようにして魅力ある都市づくりを実現していけるのかを考えていくきっかけとして、都市の中に見いだすことのできる「ナイス・プレイス」あるいは「ナイス・スポット」を取り上げてみてはどうだろうか。前述の通り、同一のものを取り上げても、ある人にとってはナイスであっても、別の人にとってはアン・ナイスかもしれない。そのナイス度は、それに関わる人の立場によって違う。つくり手である開発者や行政の意図、評価と、使い手、住み手である一般人の評価は異なることが多いように思われる。なぜ、そのような評価に至るのかを見ていけば、気付かなかった新たな視点や、今の都市に欠けていた何かが発見できるかも知れない。一般にまかり通っている「都市」の「プレイス」「スポット」の評価とは別に、その人のもつ個人的な視点、思い込みを軸に織りこんで、複雑だけれどとらえ難く、また不思議な「都市」の姿や表情を、浮かび上がらせてみてはどうだろうか。

この「ナイス・プレイス」とは何かを問う時に、いくつかの視点がありそうである。そのいくつかをピックアップしながら、ナイス・プレイスのイメージ像を探るトリップへのチケットとしたい。

❖

都市のオアシス

都市空間における公園、広場、緑地、水辺などは、砂漠の中に見つけたオアシスのように、やすらぎと活力を与えてくれる。これが自然のもつさまざまな環境要素が人工的空間においても多用されるゆえんであろうか。とりわけ、水のあるところは〝ウォーターフロント〟として、大きな河川、湖沼、海岸はもとより、小さなせせらぎや水たまりに至るまで、緑や光の交錯するやさしいシンフォニーを、それぞれの楽章に応じて奏でてくれる。時に見いだす小さな生命（いのち）との出会いに驚いたり、その中にたたずむ美しい人に今さらながらうっとり時を忘れることがあるかもしれない。空間のオアシスは、心のオアシスでもある。

時の流れの間（はざま）に

都市空間にはいろんな形で歴史的なものが取り残されている場合がある。ビルの谷間の神社、民家(商店)、お地蔵さん等々。郊外のスプロール建築群に包囲された旧集落もこれに当たる。時間と空間のクロスオーバーする所に漂う静かな緊張感。周囲の喧噪を忘れ、しばし歴史のたたずまいの中に身を置く。たまたま残ってしまった空間かもしれないが、失いかけた時に見いだすことのできる魅力は、時の流れが教えてくれる心の鍵かもしれない。何げなく使っている都市内の地名にも、その歴史、由来がある。その名が活躍していた生活は、もはや消滅したかもしれないが、その名の発現する地域のアイデンティティは大切にしておきたいものである。新しい街に見いだす古いもの、古い街に見いだす新しいもの、空間のみならず生活のすみずみに及ぶ文化の所作の中にも〝ナイス〟に関わ

る要素がありそうである。

都市の混沌（カオス）

都市空間の一つの魅力は、ハレとケ、聖と俗、緊張と弛緩等の相反するようなものが混在し、その中から多様な人間の欲求に応える場が提供されることであろう。「さかり場」という言葉からは、多様な人々が数多くのしかけを求めて集まり、その欲望を満たす人間臭い空間のイメージが連想される。合理的に秩序立てられた構成とは別に、絶えず変化成長する異質な要素が同居していることも多い。表と裏は都市空間にもあり、生活行動にもある。商業活動、レジャー活動にも表と裏がある。表向きの肌あいや表情とは別に、その陰に潜むよどみやひだの変化の中に、都市空間のもつ悩ましげな刺激が漂う。このような遊興・娯楽の繁華街や巷（ちまた）のもつ魅力は、清新で整然とした魅力と同様に必要なものかもしれない。都市を計画的につくる場合、往々にしてこれらの混沌性を欠落させてしまうことが多い。それは自然発生的な都市の成り立ちのうち、マイナス面を除去することに目が奪われ、元からの人間性あふれる情感や合理性までも抹消してしまうからである。とりわけニュータウンや再開発のプロジェクトにおいては、このような指摘が多い。以前から住んでいるおっさんやおばさん、そしておじいさんやおばあさんの生活感覚にも響いてくるような再開発や、美しい自然環境とともに、人間味豊かなコミュニティに根ざした風土が育まれるニュータウン開発が求められよう。混沌（カオス）は、この視点からのkey wordの一つといえる。

都市の舞台

都市が劇場にたとえられることがある。さまざまな生活のパフォーマンスの展開する場が豊かであればあるほど、都市空間の魅力も大きくなる。人それぞれにパフォーマンスするレベルは異なるであろうが、それなりにしつらえられた舞台と装置は、逆に人々の生活のパフォーマンスを誘発するであろう。舞台は必ずしも劇場やホール、集会所という施設である必要はなく、広場や道など、さりげなく存在する生活空間でよい。大舞台のみならず、それぞれの生活のサイズにあったミニ舞台でもよい。余所行きの格好でなく、普段着のままでもしっかりと自分たちのパフォーマンスを演じることも大切である。逆に非日常性の中に、新たな自分を見いだすこともまた必要である。都市空間の中では、日常親しんでいる所と同様に、日頃行かない所や行けない所も必要で、物理的、心理的に違った感覚を得たり、気分をリフレッシュできることも大切である。

都市のランドマーク

わがまちのアイデンティティを表現する方法はいくつかあるが、都市空間の中で、それなりの個性ある形態、規模を備えたランドマークは、その一つになる。自然地形を活用したものや、人工的にデザインされたものがある。目立つことによって、人々に共通のイメージやオリエンテーションを与える。また双方によく知られたり、わかりやすく目印になるので、待ち合わせの場所に利用されたり、その都市を語る時の核となるので、人々の出会いや別れの物語、思い出の中に残り、親しまれることになる。

絵になる都市風景

最近、各都市において景観デザインが盛んである。その都市のアイデンティティを表現するのに、一つのランドマークによる方法とは異なり、まちなみ全体でそのまちの顔をつくろうとするものである。絵葉書や観光ガイドブックに取り上げられるような有名な都市風景から、密やかに美しい眺めが得られる所まで、さまざまである。夕陽に映えるシルエットや、海や山の変化ある眺望景色は、各人の心に印象深く、まちの思い出として残る。美しい景色は、撮影の背景として利用される。どのようなまちの、どのような所が選ばれるか、大変興味深い。万人が共通して美しいと思う所ほど〝ナイス〟であるかということについては、必ずしもすべてがそうではないだろう。ポピュラーな都市風景への評価とは別に、その個人の視点によって別の評価が存在することもあろう。都市景観のデザインコントロールの展開において、各地域の個性や伝統から遊離した一定のマニュアル化された手法が導入された場合、何か味気ない美しさに出会うことになると思う。そういった意味で、建築物のデザインはもとより、舗装、植栽、ファニチャー、サイン等の環境デザインにあたって、安易な既成イメージのコピーは避けるべきであろう。でないと、どこへ行っても同じように美しいけれど、同じように味気ないまちになってしまうから。本当に〝ナイス〟といえる絵になる都市風景って、どんなものだろう。

都市のインフラ

都市は、通常、山とか川といった自然地形以外は、道（みち）とか橋の土木構築物、広場や建築物等で形成されている。とりわけ道については、さまざまな形で都市空間の機能やイメージを左右しているものと思われる。橋やトンネルは道の機能の延長上にありながら、道同様、その形態において、デザインからのイメージインパクトは大きい。人や自動車といった通行する対象の違いによっても多くの実例がある。どのような道がナイスであるのか、――前述のさまざまな〝ナイス〟的要素、例えば自然的要素、歴史的要素、にぎわい的要素、美観的要素等と絡み合いながら、自分にとっての好みの道が登場してくる。道も生活をパフォーマンスする舞台となる。都市のインフラとしての存在感以上に、生活の舞台としての役割、魅力も見逃せない〝プレイス〟である。

衆と個

同じ都市空間であっても、誰にとって、どう評価されるべきかによって、その評価は大きく分かれよう。大多数の人々によって一定の評価を得る空間であっても、私という自分だけの歴史や価値観をもつ人間からすれば、また別の評価に至る。また、その逆もありうる。有名、無名に関係なく、個人のもつ独自の世界でどう映るかによって評価される。この場合、いつ、誰でも同じ評価であるという普遍性は否定される。自分だけが知っている、自分だけが使っているといった自己の単独の認知度、専有性によって他との差別化意識をもつという〝ナイス〟への価値観もあろうか。若干〝秘密の場所〟という感じであるが、都市空間の中にも、人知れず自分の〝ナイス・プレイス〟を見いだしていることの誇りや余裕であろうか。「みんなで渡れば怖くない」の逆をいく、個の視点も感じられる。有名だから〝ナイス〟でもなく、無名だから〝アン・ナイス〟でもない、自分の視点で〝ナイス〟を求めるアプローチであるといえよう。

❖

私たちは、都市の形成過程における歴史上の既成事実や諸制度の制約があったり、私たちが未だ知り得ない事実があったりして、あるいは知り得てもそれを実現する手立てがわからなかったり、見つからないことで、真に「ナイス・プレイス」を都市空間の中に実現できていないのかも知れない。

万人に「ナイス・プレイス」を提供する都市空間の実現は、非常に困難な命題かもしれない。しかし、「ナイス・プレイス」が何かを絶えず問いかけてゆくことを、既にあるポピュラーな評価項目、例えば機能性、合理性、経済性、デザイン性等を総合的に超えた、都市という環境デザインの一つの手掛かりとしたい。

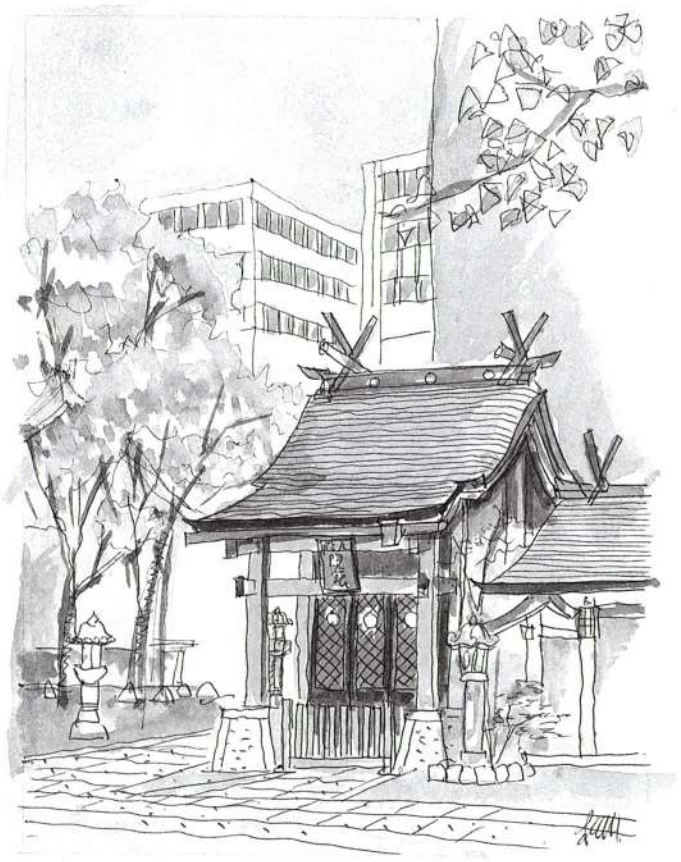
（たなか　なおと　編集委員会委員）

都市のナイス・プレイス

私のナイス・プレイス1

陶器神社

松　川　敏　正



陶器神社は、大阪市の大動脈・御堂筋、高速道路環状線、中央大通りに囲まれた坐摩神社の一隅に、ひっそりと建っている。

かつての横堀川沿いのこの辺り一帯には、瀬戸物の店が軒をそろえ、神社の奉賛会が形成されている。

織田作之助は、「女の橋」、「船場の娘」の中で、この辺りの瀬戸物問屋を舞台にした小説をかき、古き大阪、船場の雰囲気を今に伝えている。この堀端の通りであったはずの裏道は、雑然としながらも、人間味が溢れていて親しげである。

毎年7月22日の夏祭には、せともの市が開かれ、露店に並ぶ瀬戸物や、行きかう人々によって賑わいのある一日となる。

24時間動きつづける都市の一画で、市井の人々に愛されている神社に、心のなごみを感じる人も多いことと思う。

（まつかわ　としまさ　株式会社竹中工務店設計部）

私のナイス・プレイス2

法善寺の界隈

木津川　計

1960年代の大阪でどこが、そして何が歌われたかというと、法善寺の水掛け不動と新世界の通天閣、この二つだった。高度経済成長期であった。地方都市や農村から大阪へやってきた人たちは、いわば〝村の鎮守〟的たたずまいを、大阪はミナミの一角、水掛け不動に見つけたのであろう。〝ど根性〟が否定される時代、通天閣は魅力を失ったが、法善寺のこの界隈、石畳の景観と縁結びの言い伝えは今も私たちをなごませてくれるのである。

変貌する大阪にあって、私がほっとするのは、いつもここだ。

（きづがわ　けい　立命館大学教授、「上方芸能」編集長）

私のナイス・プレイス3

彼との出会い

梅　村　宏　尚

「なんや、これは!?」　彼女と僕は顔を見合わせた。僕は驚きのあまり、今夜のシナリオを忘れてしまった。クライマックスまであと数行、湊町あたりまで数百メートルのところやったのに……

198？年、難波八阪神社境内で彼と初めて出会ったときのことだ。あれから数年、今でも忘れた頃に彼に会いに行くことがある。彼は尋ねる。「今日も一人か？」僕は答える。「あのときの失敗を忘れないためさ」



（うめむら　ひろなお　大阪市計画局計画部都市計画課地域係）

私のナイス・プレイス4

秘密の散歩道

有村桂子

ウォータフロントは整備されればされるほど、あっけらかんとなり、海の男のあらくれや、不思議な形のリフトやクレーン、遠い名も知らぬ国から送られてきた山と積みあげられた船荷のエキゾティシズムなどの、心をどきどきさせてくれる濃密な空間がなくなってしまった。

この写真にあるお地蔵様のある所から、今はない、美しい和洋折衷建築の旧神戸商工会議所までの岸壁が、私の秘密の散歩道である。海の香り、船の気配、波の音を楽しみながら、100年前の外国人居留地の面影をたどる道である。



（ありむら　けいこ　いるか設計集団）

私のナイス・プレイス5

雙ヶ丘（ならびがおか）・石仏への道

入江美津子

ひとが最も美しい姿は、名も無い石仏に、手を合わせ無心に拝んでいる姿ではないだろうか？

大きな社に鎮座する神は、貴人武人の好んだ和歌に喩えられよう。その点、石仏は、庶民の歌である民謡とも言えよう。それだけに親しみ深くやさしく包み込んでくれる。

京都で生まれ育った私にとって、石仏は身近にあり、特に豪族の古墳である雙ヶ丘の山裾の散歩道にあるこの石仏のある空間は、たまには鹿にも出会い、ゆっくり自分を見つめることができる所である。

（いりえ　みつこ　AFA建築事務所）

私のナイス・プレイス6

〝ケ〟の聖空間

今井祝雄

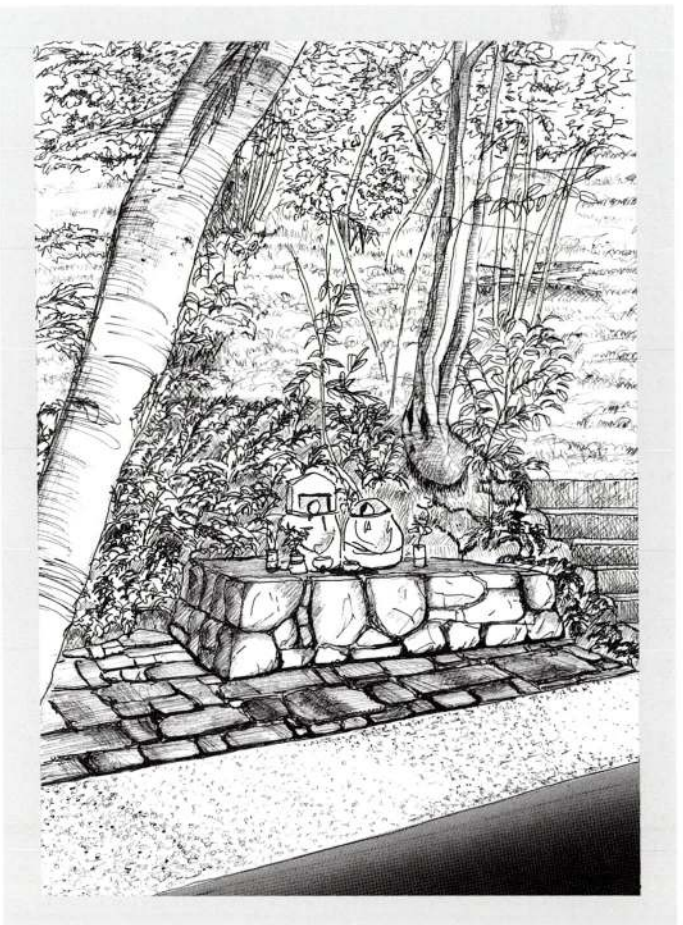
〝私の好きな空間〟あるいは〝おすすめの場所〟と問われたら、多分、誰もが知っている所を挙げるのはダサくて、「こんな所、知らないでしょ？」といえるような場所を披露するのがカッコいいのだろう。が、残念にも私の好きな空間といえば、間をおいて訪れたらもうなくなっていたりして、また新たに出合う以上に見つけることすらむずかしくなりつつあるほど、今日、都市の変貌するテンポは加速度的に速くなっている。

そんな時間感覚とズレた、というよりほとんど隔絶した場所として、たとえば歴史の古い社寺の境内がある。それは閉ざされざる〝都市のタイムカプセル〟的空間といえるかも知れない。

このところ、近くの住吉大社をたずねることが多い。参拝ならぬ散歩で訪れる私の場合、人でにぎわう夏祭りや初詣よりも、何ごともない平日の時間がゆるんだような昼下がりが好きだ。〝ハレ〟と〝ケ〟によって同じ空間が全く違った世界を見せるのである。

時間に耐えうる空間あるいは時間を越えた空間というか、時間の振幅のどこで出合ってもそれなりの輝きをもった空間…。そうした場所・空間が新たに創出し持続できないものか。少なくとも、それは今風のオシャレなデザイン空間とは別のものであることは間違いない。

（いまい　のりお　造形作家）



私のナイス・プレイス 7

四天王寺西門から

井本由之



私は今、四天王寺西門に立っている。ここはかつて難波の海が足元まで寄せており、今も変わらない太古の太陽が沈んでゆくのが見える。この西門は、「日想観」でいう西方極楽浄土の東門にあたる。人々はこの岸辺に立って、彼岸会には夕日の向こうの西方浄土を拝んだ。浄土にあこがれるあまり西の岸から入水往生を遂げるものもあったという。今も残る夕陽丘の地名はその名残である。

この西門から、だらだら下りに歩くと、通天閣が浮かんで見える。その足元には、雑多な時空間が折り重なり、時間が澱のように沈んで重層構造を垣間見せ、逃亡者をも許容してしまう空間の隙間を予感させる。この新世界には時代を通底して大阪の固有の気分というか雰囲気が漂っているような気がする。

（いもと　よしゆき　株式会社竹中工務店設計部）

私のナイス・プレイス 8

新しさの中の古さ、古さの中の新しさ

鳴海邦碩

さまざまなナイス・プレイスがある。どの街に行っても、そうした場所を見つけることができる。それらを強いて一般化するならば、新しさの中の古い空間、古さの中の新しい空間といえるだろうか。具体例をひとつあげれば、京都・祇園の下河原通、八坂の鳥居辺り。傾斜があり真っ直ぐではない道。不思議な道の広がり。そこで感じることができる時間の移ろいがいい。特に薄暮。また、路面が一面に白くなった雪の夜もいい。



（なるみ　くにひろ　大阪大学助教授）

私のナイス・プレイス 9

OLD AND MODERN INTERESTING STROLLING AREA....

SOWIYK EKO CAHYONO

It is rather difficult to define an interesting place in a city because the meaning of 'interest' itself is subjective. Maybe a place is not beautiful in physical aspect, but there are other aspects that make the place interesting. For me, the interesting point of a place is its situation: it can be pleasant but functional, and also have a beautiful element.

Let's take a look at a place in Kyoto which can be represented as mention above. Namely The Kawaramachi, Yasaka Jinja and Maruyama Koen complex. These places are close to each other, which makes it possible to go strolling to all of them in one day. We begin from Yasaka Jinja. We can enter the shrine from the main gate at the intersection of Shijo Street and Higashi Yama Street. We can also stop a while at the stair of the main gate, and have a nice view of Shijo Street. This is The Kawaramachi area. The shrine is maybe not the most famous one in Kyoto, but

賀茂川と高野川が合流する地点

鈴木克彦

京都は川とともに生きてきた町である。その代表的な川である鴨川は、「出町」で賀茂川と高野川とが合流し、市街の東縁を南流している。古くは、出町とは〝京都の出はずれ〟の意と言われている。「大文字」がよく見える場所としても有名であるが、春には桜の名所として、夏には夕涼みを楽しむ水辺として、そして冬にはユリカモメが戯れる楽園として、さりげなく京の四季を感じさせてくれる所である。



（すずき　かつひこ　京都工芸繊維大学助教授）

中之島かいわい

恒成一訓

事務所が北浜にあって、40年もの間、土佐堀川を前景に、中央公会堂を正面に、西に市庁舎、日銀を眺めてきた。東には遠くO.B.P.、それに公園の木立と水の流れは折々の四季の変化を映す。

事務所の位置がナイス・スポット。

しかし半世紀近くの間に、都市のナイスプレース・スポットは維持され、保存され、向上していたのであろうか。

私が学生の頃は、土佐堀川でハスを毎日50～200匹釣っていた。満潮時ともなれば、フナ・コイなどが大きな音をたてて、ハネ上がる。投網を打てば、銀鱗が躍り、冬ともなれば、ボラが上がってきて、釣師をよろこばせる。

つまり川は生きていたのだが、今はそのおもかげもない。

地下水の汲み上げで、地盤沈下をきたし、延々と防潮堤がつづく。事務所と川を断絶してしまった。

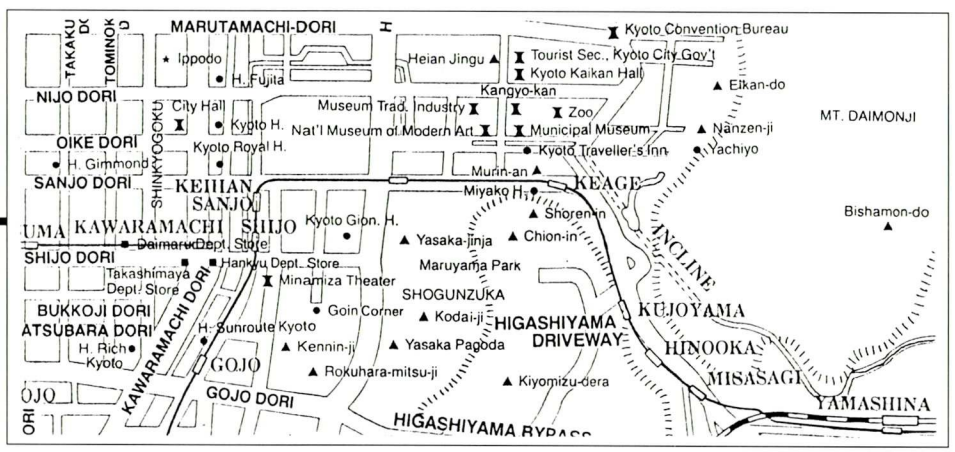
だが、一方では新しい建築（市庁舎などなど）が続々と建てられ、土佐堀川、堂島川の両サイドには、プロムナードができ、親水歩道も見え、景観は一新した。

中央公会堂の永久保存も決まったようだ。変化は激しいが、私にとっては、やはり中之島かいわいが、ふるさとである。

ただ一つ、たくさんの魚が生きられるような川になれば、人間も、もっと人間性をとりもどすのではないかと思う。

都市のナイス・プレースは、日々人間がつくってゆくものだと思うからである。

（つねなり　かずのり　景観デザイナー、株式会社つねなりすたじお代表取締役社長）



when it is time for Gion Matsuri and Shogatsu, the shrine becomes an important place for both ceremonies. Many people pray there and the area is always crowded. From there we go to Maruyama Koen, a Japanese garden. This park is especially famous in spring, when it is full of cherry blossoms; very beautiful, during day or night. Well, although it is not spring, we can still walk around the park, and sit on the benches for a rest. If not satisified, we can continue moving. To Kiyomizu Dera. By walking of course. Along the street we can find a lot of interesting things. Finally, after tiring of the trip, come back to Kawaramachi, a modern shopping street and entertainment district in Kyoto. We can do it all. Tired with sightseeing? Why not try a Kyoto coffee, there are many nice coffee shops nearby.

（ソウィク　エコー　チャヒョノ　京都工芸繊維大学大学院生、インドネシア）



私のナイス・プレイス 12

都市のオアシス

川 西 祐 三 郎

個人の家の住み心地というのは、①住宅本体が快適であること、②周囲の環境、この2点で左右される。日本の家屋は実用面に重点が置かれているが、ヨーロッパの別荘地の家のように、軒下を朱色に塗ったり、窓に花を飾ったり、外観を飾ることにも配慮すれば、住宅街の雰囲気が明るくなるだろう。

環境について、私の家は神戸市東灘区の公園の前に位置している。深田池という約6千㎡の池があり、いつも魚釣りを楽しむ人が絶えない。私の家から外を見れば、あたかも自分の庭のように心をなごませてくれる。これこそ都市のオアシスとして自慢したい。

（かわにし　ゆうざぶろう　版画家、奈良教育大学非常勤講師）

私のナイス・プレイス 13

意外に知られてない“蕉風発祥之地”

浅 井 岍 一

東西4.6㎞の若宮大通と、南北1.7㎞の久屋大通とが、名古屋市の都心に近い堀留で、逆T字型に交わっている。これが戦災復興事業によって生まれた100ｍ道路であることは、誰でも知っている。

が、その久屋大通ほぼ中間の、テレビ塔の東北脚下に、“蕉風発祥之地”があることは、一般にあまり知られていない。俳聖芭蕉が蕉風を確立する契機となった「冬の日」の連句の会は、傘屋久兵衛の家で行われたとあるが、その場所が、今から300余年前のこの地点だった。現在はそこに“蕉風発祥之地”という碑が立っている。

久屋大通公園内の、緑に包まれた一隅であり、その近く、園内を散策する人の足はほとんど二六時中絶えないが、そこに歩を止めて、碑に刻まれた俳句に目を落とす人はあまり多くない。百代の過客だけは容赦なくその上を流れてゆく。

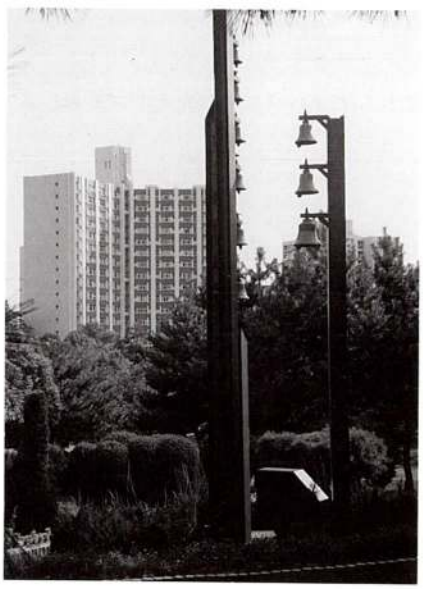
（あさい　がいち　名古屋市博物館顧問）

人工都市の緑のオアシス 千里南公園

磯野　新

千里ニュータウン内に仕事場を持つ人間にとって、特に南千里地区を拠点とした場合、月並みながらもやはり隣接の千里南公園がナイス・プレイスとなる。人工の都市・千里ニュータウンは、吹田市域の南千里地区から開発が行われ、今年で第一次入居以来約28年が経過した。自然豊かな丘陵を切り開き、地表の樹木や草木をめくって住宅を建設した千里。しかし、28年の歳月は見事なまでに失った自然を回復させた。コンクリートとアスファルトに囲まれた街並みの中で、樹木と水に満ちた南公園は、まさにオアシスだ。池の周囲にめぐらされたフェンスは気になるが、特に立入禁止の札があまり目立たず、しかも、人工の遊具等がないのも良い。地価高騰の時代、この公園はすぐれた公共財産としての性格を維持している。





（いその　あらた　株式会社千里タイムズ代表取締役社長）

KAMOGAWA: A 'SENPAI' RIVER

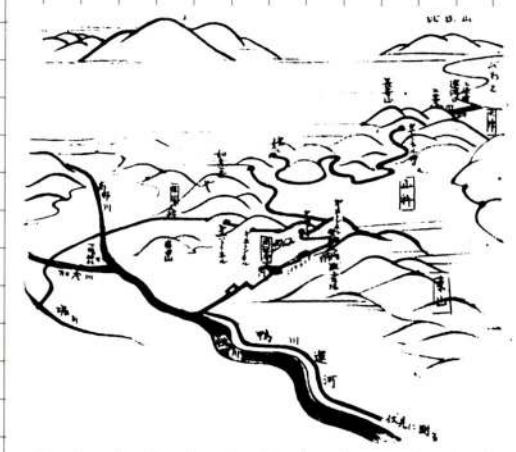
LOPEZ P., MIGUEL A.

A nice place is a semantic attribute through which we express a personal feeling toward a certain space which produces in us an experience or evoke a remembrance.

Kyoto city and the capital of my country, Santo Domingo city, were founded next to a river, the Kamo river and the Ozama river. On talking about them, the differences existing between the two countries in terms of socioeconomic patterns and cultural behaviors toward the meaning and importance of sharing and caring the natural environment, account for what should be my nice place's memoir: A SENPAI KAWA, a dream of what should be my river.



Ozama River (Santo Domingo City)



Kamogawa River (Kyoto City)

（ロペス・ミゲル　京都工芸繊維大学大学院生、ドミニカ共和国）

私のナイス・プレイス 16

西宮港

中井省吾



ヨットハーバーというと、豪華絢爛・高い施設利用料金というイメージがつきものだ。が、少し視点を変えれば、この場所のように、高度経済成長期の落とし子のような臨海空間は、日本の大都市の至るところに存在するし、少しの費用で、ヨットハーバーにもなれば、親水空間にもなる。

海が、都市の市民生活から消えて久しく、今またその回帰が叫ばれているが、肩肘を張らず、さりげなく海と市民との接点が持てる、この場所が私は好きだし、もっと増えて欲しいと思う。

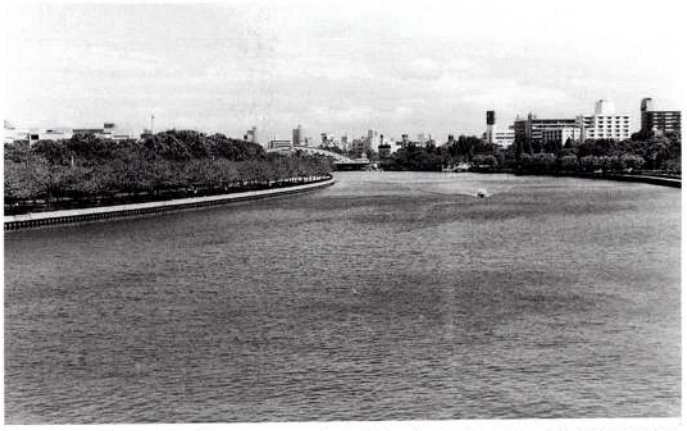
（なかい　しょうご　三井不動産株式会社関西支社開発企画室）

私のナイス・プレイス 17

開けた水面

菅家克子

私は今、ウイークデイの住まいを大川にかかる都島橋の近くに持っている。仕事場は天満橋の近くである。時々、源八橋脇の河原から天満橋までの左岸を、三段変速機付きの、あまり恰好がいいとは言えない自転車で通ってみる。高速ギアの抵抗と、小さな坂での平速か減速かの選択を体力のバロメーターに、15分余り。春先の桜吹雪も、スピードを出すと顔に痛い柳の枝も、開けた水面あっての快適さである。都市の中で開けた空間は貴重であり、その恵まれた景観を享受している。ただ付け加えれば、そこに、立ち止まって語りかける巨樹や、顔見知りのマスターのいるカフェテラスのような都市の奥行きを感じさせるスポットが欲しいと思う。



（かんけ　かつこ　あるくネットワーキング・菅家建築設計室）

私のナイス・プレイス 18

川向こうの梅田

横関真紀

川の向こうに、ぽっかりと浮かんでいる〝都市〟が見えます。電車が、ガダゴトとひっきりなしに〝都市〟に人を運び込み、そして運び出しています。そして、その中の点のような存在の私。私の想いは日々変わっても、そんなものには無縁の存在のようです。でも休日に土手から眺めれば、『また、いつでもおいで』とも言われているような、そんな気持ちになって私は家に帰ります。

（よこぜき　まき　積水ハウス株式会社綜建事業部プロジェクト開発室）



私のナイス・プレイス19

大川左岸―様々な人風景―

山尾弘子

私は毎日、大川に沿って自転車通勤をしている。

朝――桜宮高校の学生と通勤サイクルがフルスピードですれちがう。その脇には、ベンチでサラリーマンが朝刊を読み、ヤクルトおばさんの自転車軍団が集結している。短足・肥満のオジサンジョガーをみごとなストライドで金髪娘が駆け抜ける。釣り人にイタズラする幼い子どもを母親が叱っている。

昼――浮浪者と雑種犬の日向ぼっこを、靴を履いて散歩途中のプードルと飼い主が見つめている。時に歓声があがるゲートボールの横で、クラブのランニングに落ちこぼれた高校生が寝そべっている。子供の自転車の練習に、本人より熱が入る母親がいる。

夕暮れ――語らうカップルの横を、食料を買い込んだ主婦が急ぐ。受験生がベンチで参考書を広げている。友渕公園では拘置所の塀をバックに、練習中のボートに向かってトランペッターが競演する。

北大阪周遊サイクリングロード、季節や時間に応じて様々な人風景が展開されるこの道が、私は好きだ。

（やまお　ひろこ　有限会社インタープラン）

私のナイス・プレイス20

街のパースペクティブ

小浦久子

夏の夕方、天神橋の上に立って西に目をむける。足下には中之島公園が広がり、ゆっくりと流れる大川の川面には練習中のボートが通り過ぎていく。目の前に高速道路が横ぎる。川辺に続く中層ビル。すぐ横にある黒く大きな高層ビルがせまってくる。夏の夕陽はとても強くて、すべてをシルエットにして見せる。昼間は各々が各々の色と形と機能を主張していたものが、シルエットになったとき、どれもが自己主張をやめて街が一つの空間になる。街のかたちが見える黄昏時、このようなひとときが橋の上にある。

大川を渡り、南天満公園を歩いて天満橋にでる。今度は東を見る。夏の夕陽は鮮やかに街の姿を映し出す。真白な川崎橋と川辺の緑のむこうには人の住んでいる空気に満ちた街がある。夕陽に輝く高層ビルが並ぶO.B.P.は新しい街の空気を伝える。

橋の上は様々な街の空気を伝えてくれる。見通しのあるところ、街の見えるところ、街を感じることのできるところ。忙しい一日が終わろうとするひととき、ふと立ちどまってみる。

（こうら　ひさこ　総合調査設計）

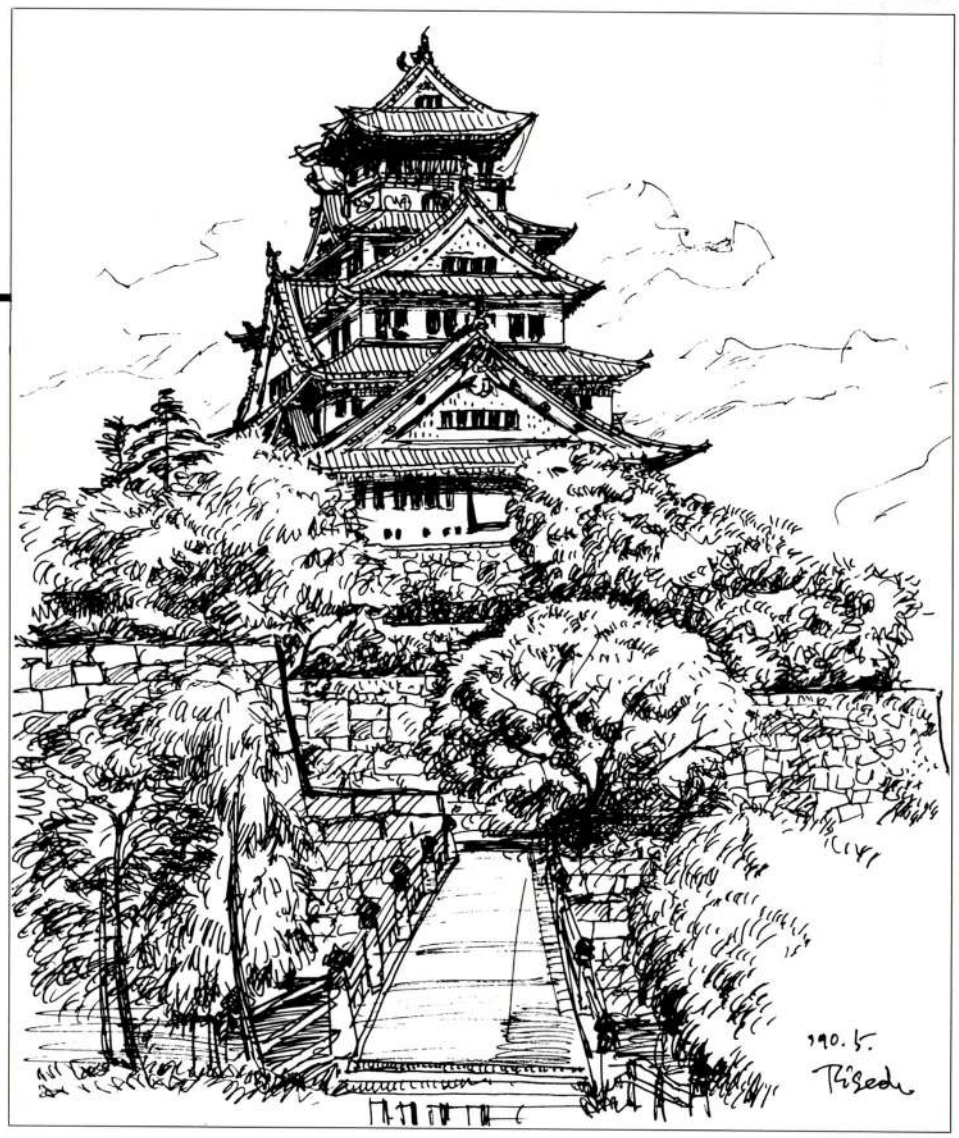
私のナイス・プレイス21

O.B.P.から極楽橋へ

瀬尾　理

文化のない風景は我慢できない。かといって、現代の匂いがまるきり欠けた空間というのも困る。ほんとうは、この両者がほどよく共存してくれていると文句はないのだが、私の住む大阪は、どうもそのあたりがチグハグだ。その点、私が最近好んで歩く大阪ビジネスパークから大阪城に抜けるコースはありがたい。大阪の歴史を、最も端的に感じさせる大阪城と、今そのもののあるO.B.P.の建築物群が、折り合いよくセットされている。O.B.P.から大阪城公園へ。そこで出合う極楽橋こそが、文化と現代をつなげる、私にとっての“かけ橋”なのである。

（せお　さとる　大阪市消防学校主査）



私のナイス・プレイス 22

カルチェ・ヌーボー 新開地

高田　昇

文字通りの乱雑さの中に、かつての栄えの名残を止める元映画館の外壁やキリスト教伝道館、大阪ガスビルのインテリアがある。それらを背景に、〝印象派宣言〟をコンセプトに進むモール化工事が、奇跡の再生を予感させる。今や数少ないドラマのある都市風景。



（たかだ　すすむ　立命館大学教授、COM計画研究所）

私のナイス・プレイス 23

安治川トンネル

國本喜之

昭和19年（1944）9月完成。両岸の生活空間を結ぶ〝エレベータ〟つきの渡河用歩行者トンネル。おそらく日本唯一のもの。さらにもっと〝喫驚〟するのは、昭和52年（1977）2月まで車両用トンネルも稼動していた！、ということ。知らない人にとってこの河底トンネルの体験は、二つの日常世界をつなぐ〝異次元感覚〟に溢れた未知のミステリーゾーン、というか…。これをやったらもう〝病み付き〟という代物。エレベータは大阪市職員（残念ながら男性）が運転。ありがたくも無料。24時間通行可能です。

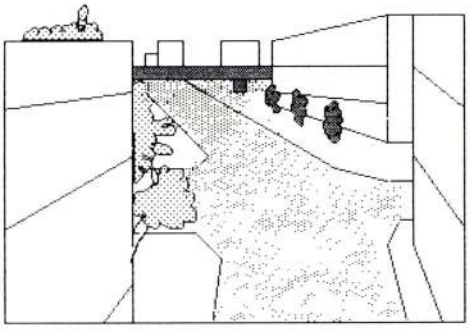
（くにもと　よしゆき　都市プランナー、リエゾン オフィス代表）



私のナイス・プレイス 24

筋違橋

北辻　稔



西横堀を斜めに横切って架かっていた筋違橋。今は、阪神高速の下を斜めに通る道路。淀屋橋から信濃橋あたりまで行くには、選択自由ないろんな歩行パターンがある。迷路を行くように、ビル街のなかの直交する道路をジグザグに行く。どう歩いても距離は同じであるが、ここを通る場合はちょっと違う。〝道理〟に背を向けた、なにか不穏な空気が漂っている。橋を斜めに架けてまでも通すべき言い分があったのであろう。付和雷同しない私の感性が、ここに来て目を覚ますのかもしれないが、私の心のなかのちょっといいところである。

（きたつじ　みのる　大阪市市長室広報報道課主査）

私のナイス・プレイス 25

ニュータウンの歩道

黄　大田



日本に来てから間もなく4年になる。一度引っ越したものの、ずっと千里ニュータウンの近くに住んでいる。ニュータウンへ行くたびに、どうしてもその環境を一般市街地と比較してしまう。こんなに緑豊かで快適な歩道はほかにはどこでみられるだろうか。

（こう　だいでん　大阪大学大学院生、中国）

私のナイス・プレイス 26

電柱のない道

Karin Kuroda = Hachtmannn



六甲アイランドCITY（以下RIC）には何があるのか。「一応よく考え抜いた都市建設計画」こそそれである。RICでは、他の住宅地と違って、わずか31haの面積に必要な生活施設までほぼ整備しようとしていて、神戸・大阪への交通の便もよいから、外国人の私にはモダンな小都市に住んでいるという感がある。（もっとも、小都市でも人の生活に不可欠であると思う文化施設－子供だましでない劇場、成人教育機関、教会等－についてはあまり考慮しなかったようだ）

日本で生活するようになって20年、「コンクリート電柱」の醜悪さはその間ずっと私の審美感覚を逆撫でしてきただけではない。それは狭い道路をますます狭くし、危険ですらある（GNP世界第２位の国の何という貧しさ）。が、ＲＩＣには電柱のないメイン・ストリートがある。

そこで、私は駅までのこの道を行くたびに、人工のコンクリート電柱がなく、人為的剪定はしないという木々の緑溢れるゆったりした歩道を意識的に満喫し、一片の自然を吸い込むのである。自然は人間がつくりだしたものといつも調和していなければならない。

（黒田 カーリン＝ハハトマン　甲南女子大学文学部非常勤講師〈ドイツ語〉）

私のナイス・プレイス 27

神戸っ子の〝花の道（フラワーロード）〟

小泉美喜子

五月。神戸まつりが近づく頃、海からの磯の風がツーンとよぎるフラワーロード。サンバのリズムに乗って、空を、光を、山を、白い街を両手に抱いて踊る〝花の道〟は私の晴れの舞台。

六甲おろしが山から海へ、さあーっとぬける朝。帽子が粋な女の子の彫刻のオッパイをそっとさわるルンペンのおっちゃん。

「おっちゃん！何しとーん」

花と緑と彫刻のある花の道はKOBEの四季の彩りと、朝から夜まで海港都市の人間模様をくりひろげる。新しいシティホールの高層ビル化で、都会らしい緊張感が生まれた。なのに、どこかビレッジらしいのどやかな広がりがあるこのストリートを、編集室の九階の窓から眺めてほっとしている。

（こいずみ　みきこ　月刊神戸っ子編集長）







私のナイス・プレイス 28

奈良町と私

北條蓮英



今住んでいる平城ＮＴが気にいらぬというわけではないが、休日には時々、奈良町にふらっと足を運ぶ。猿沢池ほとりに最近開設された“ならまちセンター”内の図書館に立ち寄り、意外と揃った各種図書をざあっと覗いた後、奈良町を歩く。町並みに溶け合った元興寺や十輪院の脇を通ってゆっくりした坂道を登り、志賀直哉旧居隣の高畑茶論（サロン）にて一息入れる。庭のカフェテラスで飲むコーヒーは格別だ。そこを出て馬酔木のうっそうと茂る“ささやきの小径”を抜け、芝のきれいな飛火野に出る。これで心身がすっかり洗われる心地だ。

（ほうじょう　れんえい　株式会社アーバンプランニング研究所所長）



私のナイス・プレイス 29

帝塚山の裏道

山形政昭



〝大阪の六本木〟とかいわれるオシャレな街に変貌しつつある帝塚山。それにはいささか辟易しますが、ここは、歴史的な住宅地の強み、吉村篤一さんのいう、図を支える地がさすがによいところです。

図には今風の商店ビルもありますが、村野さんの名作Ｎ氏邸、安藤さんの住宅、そしてヴォーリズの洋館などなどの作品が潜んでいます。しかしそれを反転させた地の方に、この町内を遊歩するおもしろさ、充実度を感じます。生垣が美しく、建物は控え目な家、素朴な和洋折衷の家、そして普通によい家の屋並みがきっちり根づいているところに新鮮な安らぎを感じます。しかしそれは多分に美化した印象かもしれません。

実は高校時代以来の数年間、この近くに暮らしていたことがあり、その頃からの友人知人がこの町にいます。そういうことで、今は日常性という距離を置くことで、逆に意識的な親しさを感じている町なのです。

（やまがた　まさあき　大阪芸術大学助教授）

私のナイス・プレイス 30

隠れている小路

徐　貴淑

奈良の今井町を歩いて見ると、チラッと見えてすぐ消える、ひょっとするとそのまま通り過ぎてしまう小路が多い。あるところは、二人もはいりにくいほどせまい小路もある。

そこは、まるで町の裏のように薄暗く感じられるが、歩きながら木造りの古い垣をそっとさわって見ると、垣の向こうにある、和やかな家も感じられる。密かに一人で、温かさと暗さを同時に感じられる不思議さを持つ小路である。

（ソウ　キー　スク　京都工芸繊維大学大学院生、韓国）

私のナイス・プレイス31

アメリカンビレッジ

川井秀幸



神戸市西区、西神ニュータウンにある、通称アメリカンビレッジ。北米ツーバイフォー工法による木造住宅。２本の道路があり、シアトル村とバンクーバ村と名付けられている。実際に人が住んでいる住宅地で、観光地ではない。それぞれ異なった26戸全体が独特の町並みを形成し、各戸特有の色彩が総合的にハーモニーのある景観を形成している。電柱も柵も塀もない開放的、理想的な住宅環境。

私はここに来るとき、過去に何度も訪れたバンクーバーやシアトルなどの住宅に憧れ羨望した時点のムードに、無意識のうちに導入させられてしまっている。次元、距離、空間を超越した、高度な魔法を持つ場所。完全に日本を忘れさせるスポットである。

（かわい　ひでゆき　演出家）

私のナイス・プレイス32

大阪スタヂアム

橋爪紳也



大阪球場内野側スコアボードの内部

わが南海ホークスが九州に売りとばされて、はや２年。大阪球場の命も風前のローソクや。

いつも陣どったライトスタンド。シュウマイ売りの兄ちゃんの声と、信じられんくらいガラの悪い野次が響きわたる。盛り場に立地する球場には、大阪の下町の喧噪と人情が、コテコテに濃縮されとった。

小学生のときはホームランボールを捕ろうと待ちかまえ、大学生のころはもっぱらデートスポットとして利用したもんや。思い出を重ねてゆくのは時間がかかるけど、思い出の場所は驚くほどあっけなく壊されるものやね。

（はしづめ　しんや　京都精華大学講師）

私のナイス・プレイス33

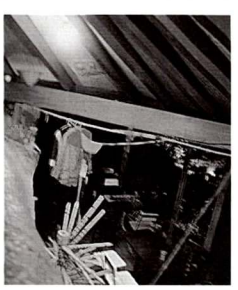
都市（まち）の中のINDIA

鎌田幹子

中津は、梅田のすぐ隣にありながら何もない所である。そんな地下鉄中津駅から歩くこと５分、突如、インド風の家屋が現れる。その名はカンテグランテ。店内には数々のインドもののオブジェとインド音楽、お香（こう）の香り。不揃いの椅子とテーブルが無造作に並び、中２階と竹林のある中庭を持つ。昼間でも日影のようにひんやりとして、竹林の緑が目に涼しい。スタッフは全く夢想がないが、かえってそれが居心地のよさになっている。メニューはチャイやチャパティをはじめとする徹底したインドメニュー。頭を真白にしたいとき、じっくり友人と話をしたいときになぜかふと足が向いてしまう。

（かまだ　みきこ　株式会社日本交通公社西日本エース事業部）



私のナイス・プレイス 34

職人の心意気を感じる露店

瀬川雅士



京都では、毎月21日と25日、東寺と北野天満宮の境内で、たくさんの古道具屋が、早朝より露店を広げます。その中で、私のナイスプレイスは、東寺・洛南高校横で、30年来、集めた工具類を手入れして売っている大山清春さんの店です。そこには、職人に使いこまれた木工具、用途がわからない工具や治具、別注の打刃物、工場の処分工具など、今の工具店には置いていないものが、たくさん並んでいます。よいものはすぐに売れてなくなりますが、集めて手入れするのがたいへんだそうです。

（せがわ　ただし　木の店ファインウッド店主、木材業）

私のナイス・プレイス 35

匂いのある場所

西島登子

青いステンドグラスがはめ込まれた大きな木の扉をあけると、少し涼んだ空気の中に木の匂いが漂ってきます。「ファインウッド」に置かれている木を扱った作品たちの心地よい佇いに、私は時々会いに出かけます。家具や花瓶のような日常的小道具の職人的な作品の中にある創造性、自分の作品もそうありたいという思いをファインウッドの作品たちに重ねてアトリエから少し離れたこの場所に休息に出かけます。

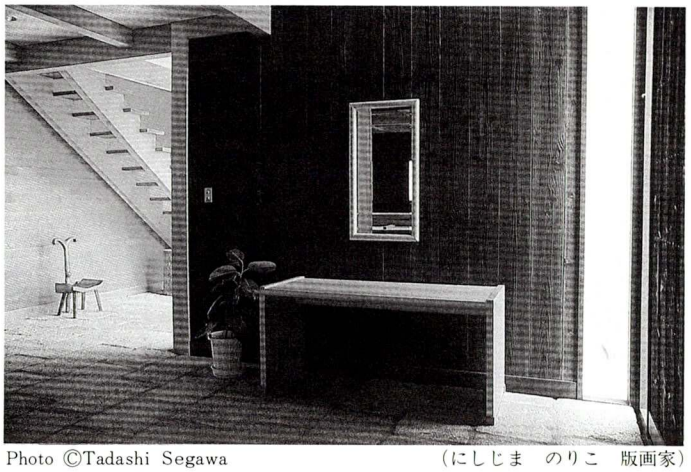


Photo ©Tadashi Segawa

（にしじま　のりこ　版画家）

私のナイス・プレイス 36

一万三千坪の宿

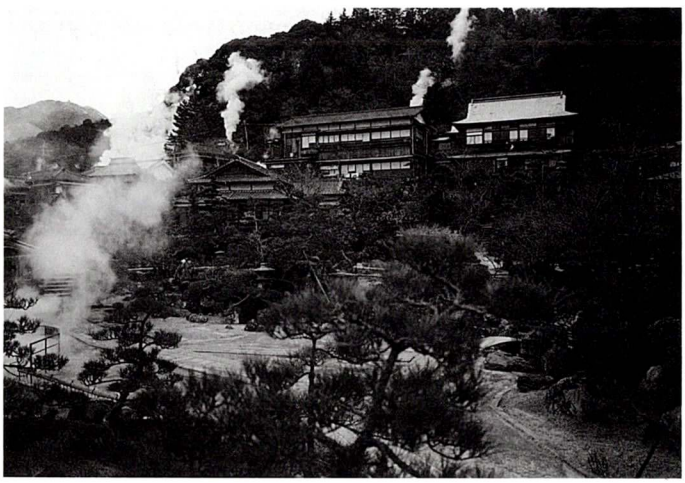
和田幸治

一万三千坪の敷地に部屋数わずか13という純日本建築の別府の宿「神和苑（かんなえん）」。行き届いたもてなしと心くばりの料理の数々、女性支配人と女中さんの親切さ。元はさる人の保養所だったというこの建物と広い庭は、年月を経て巧みな庭園として、入園料をとって見せるほどのものになっている。

玄関先には鶴見滝という立派な滝があり、自然石の景色の現れた見事な衝立風のものが据えてある。

圧巻は、大露天風呂である。温泉の湯が滝となって流れ落ち、岩





の間を流れて渓谷の趣、泳げるほどの広さの露天風呂となっている。樹々の間を縫って碧空が見え、外界と隔絶されたさまは深山幽谷を思わす。サウナ室は何もない小部屋、一，二杯の湯を床に撒くと地熱によって蒸気化されたものが満ち溢れ、忽然としてサウナと化す。これらの流水が溢れて小さなせせらぎとなって、庭園を廻る細い溝になる。ほぼ40度はあろうと思われるこの流れに、金魚や小魚が嬉々として戯れ、数はたしかに増えていくという。

門から客の前を先に立って案内し、立ち止まると振り返って促すように玄関まで、あとは何処ともなく立ち去る白い犬の賢さも忘れられない。

（わだ　こうじ　樽経営、サントリースクール専任講師、日本調理師学校洋酒バーテンダー主任教授）

私のナイス・プレイス37

錦市場

高田公理

食いしん坊でいやしん坊のぼくは、市場が好きだ。食材の種類が多く、旨いものがあり、かつ猥雑と喧噪の中に品格と秩序を備えた市場に行くと、ワクワクする。その一つが、ぼくの生まれ育った京都にある錦市場である。

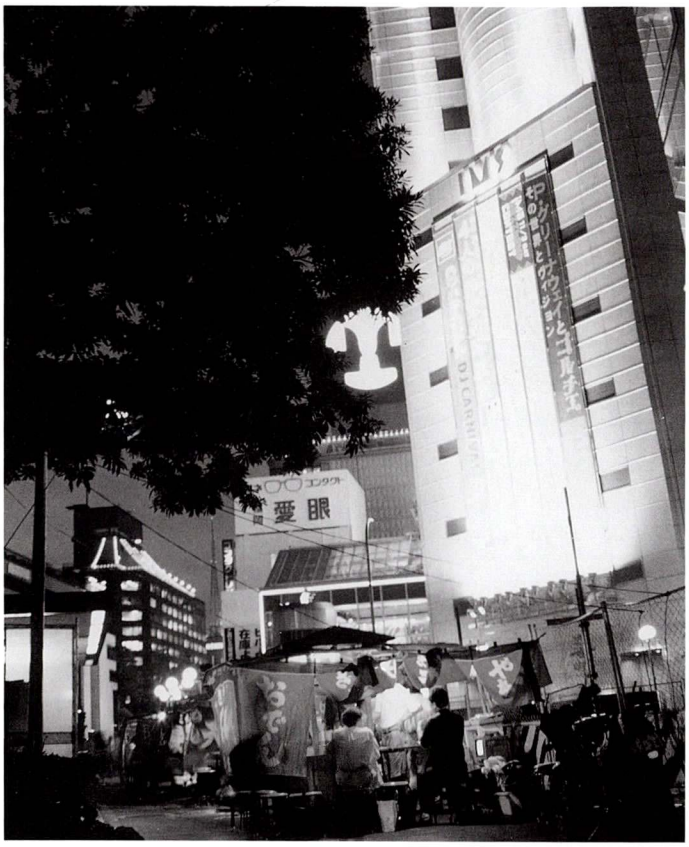
（たかだ　まさとし　愛知学泉大学教授・観光人類学）



私のナイス・プレイス38

屋台

薄　俊也



福岡の中心・天神が、相次ぐビッグプロジェクトで大きく変わろうとしている。写真右の建物も、そのひとつ。日が西に傾き始めるころ、どこからともなく人通りの多い街角に屋台が現れる。いつもの場所で、見慣れたのれんが、なじみの客に手招きしている。今日も何事もなかったかのように……。

市内の屋台は約230。そのうちの８割が、天神・中洲地区に集中している。

（すすき　しゅんや　福岡市建築局指導部建築指導課）

私のナイス・プレイス39

巷（ちまた）大好き

藤田邦昭

午後３時になると、船場の綿問屋は１日の商売が終わる。掃除、片付けがすむと、店の人達の中の、若い人達は折柄、小学校単位で開設された青年学校に、番頭さんは碁、将棋をはじめる。子供にとっては、月に１～２回、祖父や父につれられて道頓堀の映画、芝居、食べ物屋に連れて行ってもらうのが最高の楽しみである。

堺筋の本町から市電に乗り、長堀橋で下車。心斎橋を渡り、そごうの出来たばかりの店の前を通って南へ。森永キャンディストアー２階のステージ付きホールでのホットケーキ、フルーツポンチ。さらに南へ。中座の芝居か松竹座の映画、終わって「もりた」でスキ焼。子供の頃から私の原点はこの巷（ちまた）で育てられた。

21世紀、第三次産業が中心の展開になる。都市らしい都市の形成が今求められているのだが、私の場合のすべての原点は大阪の巷である。「ちまた」大好き、心ブラ大好き、道頓堀大好きである。

（ふじた　くにあき　株式会社都市問題経営研究所代表取締役所長）

私のナイス・プレイス40

Multi-Purpose Spot

TANIMU TANKO OSMAN



This space is one of the best because it provides a lot of amenities for people with various purposes. It is provided with low walls which doubles as seats for people to relax and communicate, bank of telephones, shopping center nearby, railway station and bus terminal and many amusement spots. There is a big television screen to help kill time, and sometimes street entertainers and others also use the space. It also serves as a main pedestrian throughfare from Kyobashi center to other places around. However, more benches and shade with water fountains would make it better.

——この場所は様々な目的を持つ人にアメニティを提供している。休憩したい人のために座れる低い壁が設置されていたり、公衆電話も数多く確保されているほか、ショッピングセンター、駅、バスターミナル、娯楽施設なども近くにある。時間つぶしには大画面テレビが用意されている。ときどきイベントなどの行われる場所でもある。また、京橋センターから出た人の主な歩行通路にもなっている。ただ、ベンチ、木陰、噴水などがあればもっとよいと思う。

（タニム　タンコ　オスマン　大阪大学大学院生、ガーナ）

私のナイス・プレイス41

JR片町駅

吉　村　英　祐

1990年８月19日、JR片町駅前の小さな広場に立つ。うすよごれた茶色のスクラッチタイルに木製の建具、板張りの内装の駅舎。南隣のＯＢＰの変貌を見つめながら、街路樹に隠れるようにひっそりと建つ駅舎には、ゆっくりと時が流れている。

駅に似合わない自動改札口を通って、古びたホームから電車に乗る。乗客は６両にわずか30人。昼間の都心で、束の間ののどかさを味わう。やがて電車が発車し、京橋駅でどっと人が乗りこみ、静けさが破られる。

この駅舎の解体工事が明日から本格的に始まることを駅員から聞いて、はからずも今日が片町駅舎の見おさめになってしまった。



（よしむら　ひでまさ　大阪大学工学部建築工学科助手）

私のナイス・プレイス42

大阪駅前第3ビル3階広場

岡　田　和　子

５歳になるめいが、大阪駅前第３ビルにある音楽教室に通っている。その子を迎えに行って店までの帰り道、「おばちゃん、探検、探検」といって連れていかれたのが、この場所である。第３ビルの３階の駐車場の横に設けられたちょっとした広場である。四季の花があるとか、ふん水があるといったような華やかな場所ではない。何の変哲もない植えこみに囲まれた空間である。しかし、その簡素さが、かえって私の目には、新鮮に映った。ただ、ぼうっと見ていると、心があらわれる気がするのである。日曜日には、若者のデートスポットであったり、集会場であったりするようだが、ウィークデーの午後は、人の気配すらない。

仕事と住居が接近しているため、常に仕事が頭から離れない私にとって、ここは５分でこれる安らぎの場である。時々、頭をからっぽにして、自然と対話してみる。都会に住み、働く者にとって、それは、なくてはならない時間であり、空間ではないだろうか。

（おかだ　かずこ　料亭八幸若女将）

私のナイス・プレイス43

湧き水のあるスポット

田　中　直　人



ちょっと探せば、ちょっと思い起こせば、神戸のまちにはナイスプレイスが現れる。

山から、そして海からみるまちの姿。さらにまちの中で出会う変化ある場面の数々。

そのように変化に富んだこのまちが、僕は好きだ。その中から一つ…。地中より湧き出る清水——古くから「宮水」と呼ばれたこの水に、灘の生一本の原点がある。神戸のまちには、このような六甲山系からの湧き水のあるスポットが多い。そこここに生活の表情がある。近頃の健康、グルメ志向を反映してか、ピュアな水のおいしさを追求する人が増えているようである。

水道という便利な宅配システムを超えた素朴な水との出会いのスポットは、ちょっとしたまちの井戸端会議広場である。自然の恵みを受けて、このオアシスが枯れることなく都市のナイスプレイスとしてのうるおいであふれているように祈りたい。

（たなか　なおと　神戸市開発局計画課主査）

私のナイス・プレイス44

すきまから見えるげ・ん・ば

井　面　和　子

ビニールシートや波うつフェンスに囲まれて、その姿を露に見ることはできないが、決して珍しくはない工事現場。

フェンスの切れ目から、クレーンや掘削機が顔を出し、あちらこちらに動き回る。上げたり下げたり、右回りに左回り。フェンスの隙間からは鉄骨が見え、火花が散る。よーく見えないから見たくなる。見たいから、覗いてしまう。綺麗に飾った建物の裸の部分に興味がわく。フェンスの向こうの細かいしくみに、想像力が逞しくなる。一体どんな建物が建つのだろう。長い信号待ちの間、すっかり渡るのを忘れてしまう。





（いづら　かずこ　甲南女子大学文学部人間関係学科社会学4年生）

私のナイス・プレイス45

ナイスにしたいダイヤモンドプラザ

高　田　佳　子

市街地再開発ビルのど真ん中の空き地。

こんなにひどい都市のど真ん中の無駄はないと思う。そばを通るだけでいたたまれない嫌な気分になるけれど、時々缶ビールを持って座り込むことがある。いっぱい浮浪者もどきの人がいるけれど、終電が終わった時間に私も一緒に座ってみるのだ。

会社を始めたばかりの頃の事務所兼家としてこの近くに部屋を借りていたが、家賃が給料より高いことに苦しんでいた。いつもここで感じていた、こんな土地の使い方をさせていてはいけないという私の生活苦と良心が、まちづくりの仕事をしたいという強い意志となり、この土地を活性化させるためのノウハウを身に付けようというのがイベントプロデュースの仕事を始めたきっかけとなった。結局何もしていない自分自身の気持ちを確かめるためと、気持ちよい空間をつくりたいという気持ちを奮起させる空間がここなのだ。空間としての魅力もなく、ぜんぜん「ナイスプレイス」とはいえないけれど、ナイスにしたいという気持ちと、自分の仕事の原点の場所として、ここは私の心の中でのナイスプレイスだ。

（たかだ　よしこ　株式会社アートランド代表取締役社長）

私のナイス・プレイス46

ギャラクシー・ホール

河端秀直

「文化」は、都市には不可欠の要素のひとつであり、経済の論理にそぐわないといえども、その衰退を傍観していてよい代物ではない。

この秋、茶屋町に完成した毎日放送新社屋には、ギャラクシー・ホールと呼ばれる多目的ホールがある。基本的には収録用スタジオであるが、オープン記念にオリジナルのミュージカルを催すなど、積極的に一般向けのイベントを展開している。これまで人通りの少なかった茶屋町界隈が、昼夜を問わず様々な人の行き交うまちへと変貌しつつあることで、まちづくりに対するこのホールの貢献度を推し量ることができよう。







（かわばた　ひでなお　株式会社日建設計　都市計画事務所）

私のナイス・プレイス47

日常生活の片隅になにげなく

望月照彦

毎朝、早くから尾長の家族たち5、6羽が、私の家の小さな庭の雑木にやってきてひとしきり大さわぎをする。今朝もまたこの鳥たちのおしゃべりで目がさめてしまった。まだぼんやりしている頭の中で、「都市のナイス・プレイス」について考えてみた。

以前だったら、都市をよくぐるぐる歩き回ったから、盛り場や下町やウォーターフロントなどの場所で見つけた面白いスポットを挙げたに違いなかった。盛り場のはずれにある暗がり部分で集密した屋台を見つけると、その彼らの生命力の強さに感動して、繁華街の〝明〟に対置した〝暗〟の部分をナイス・プレイスとしただろう。下町の横丁に象徴されるようなラビリンスもまた心引かれる。今でも私は現代のペペル・モコになって、時折この迷路をさまよい歩く。ウォーターフロントと呼ばれる都市の海岸域も最近はよく注目されて、様々な施設が造りだされるようになった。廃屋ではなかったかと思えるような倉庫が見事なシーフードのレストランに変わっていたりして驚かされるが、いつだったか地方の港町を訪れて、もうすでに使われなくなってしまった埠頭に続く鉄道の引き込み線の回り一杯に月見草が咲いていて、本当に心が動かされたことがあった。

私にとってこれまでにそう思ってきたナイス・プレイスは多く、都市の流行の最先端部分や華やかな場所ではなく、時代の流れに置き忘れられてしまった場所や、夢の跡といったものがほとんどだ。あるいは都市アクティビティの結果として生み残されるまさに〝残滓〟的なものだ。海外に行っても（例えば、ニューヨークやパリやロンドンのような都市）、私が心引かれるものは都市の場末やスラム街や工場跡地なのである。それらはかつての都市の栄華の名残であるだろうから、決して一般的にはナイス・プレイスとはいいにくいものであるだろう。

しかし、それらがこれまで私にとってずっとナイス・プレイスだと思い続けてこれたのは、使われなくなってしまった巨大な工場や、場末の悪場所がそれはそれで悲しい心象風景になり得るという抒情性があるにしても、将来にわたってそのスペースが都市の基本的な資源（アーバン・リソーセス）になり得ると思うからである。

近年、産業考古学や都市の残存物・遺跡研究が盛んになってきているが、それらを歴史的価値として見るのではなく、都市の未来的な価値分析という意味において、私は評価したいと思っている。

ところで、このところ私は、都市のどの部分にナイス・プレイスの名を冠したいと思っているのか。例えば先ごろ、ボストンの街を散歩していて素敵な本を見つけた。「ビーコンヒルの隠された庭」というやつである。アメリカにあって最も古いコミュニティであるビーコンヒルの中の個人が丹精して造った庭やパブリックな庭を紹介しているのだ。それらの庭を人々が散歩の対象にしているわけだ。

私は最近、にわかに〝日常〟という言葉が好きになっている。私だけでなしに、現代人の多くがあまりの忙しさで〝ビジネス山頭火〟になってしまっているからだ。日常生活の片隅に存在するなにげない空間、環境、それが猫のひたいの庭であろうと、原っぱであろうと、私にはナイス・プレイスだと、尾長のおしゃべりを聞きながら思っていた。

（もちづき　てるひこ　多摩大学教授）

私のナイス・プレイス48

木津川べりの私の住まい

伊勢戸佐一郎

「都大路」という言葉が洛陽や西安、奈良（平城京）や京都を想起せしめるように、大都市にとって街路が雄大なことはそれだけで素晴らしさが表現できていると思います。遥か彼方までが見通せる視野の美といえます。

大阪の往昔の堀割が美しかったのは、橋の上からの遠望が効くからです。また、碁盤目の街区で成立していた船場や島ノ内の町並みには整頓された美しさがありました。

現在の大阪の町並みを見渡すと、やはり中之島の東半分に優る地域はないと思います。しかし、四代にわたり大阪の中心部に住む私たちの家族は、都市生活を満喫するに値する場所であれば、そこがナイスプレイスに当たると思っています。その意味では5年前から居を構えたマンションを誇りにしています。

このマンションの公開空地に楠の大樹が数本しげり、道路を隔てての大きな病院（日生病院）、歩いて数分の地下鉄駅・図書館・一流ホテル・レストラン等々、キタやミナミの繁華街からタクシーで1000円未満の御帰館、そして、住まいは上層階であるので生駒から泉南にいたる山なみが一望できます。木津川べりの西区の景観の中にマンションが林立する姿に都市のナイスプレイスを感じている次第です。

（いせと　さいちろう　東大阪短期大学教授）

私のナイス・プレイス49

At the Foot of Mt.Rokko

Anne Yamatsui

The area where I live with my family has the advantage of convenience combined with a closeness to nature. Our apartment building faces a piece of Rokko Mountain National Park which gives us a view reflecting the changing seasons. Living in a building without a garden I can still look out the large windows and see trees and the sky. Lots of sun and fresh air make it possible to grow herbs and flowers on our balcony.

The building is well designed to take advantage of its location. Large windows let in air and light and a relaxing view of natural greenery. Placement of windows on the south and west sides make the apartment light and warm most of the time, even in Winter. The room facing west has "Shoji" which softens the strong sunlight. The "Tatami" mats are cool to the touch in Summer and insulate to keep in the warm air in Winter.

Many Americans are surprised by the small size of Japanese homes and apartments. However, the quality of life can be improved when designers pay attention to small, practical details which have importance in the daily lives of the people living there. Better insulation of outside walls and the use of easy care, functional materials in the interiors would make daily living easier. In the Japanese climate mold resistance is important both for maintenance and for health.

Every kitchen even if it is very small needs a counter workspace. Appliances need to be designed to take as little space as possible. Flexibility in the use of room space can be preserved by providing adequate storage space. Finally, both beauty and practicality need to be satisfied to make good living conditions.



（アン　ヤマツイ　house wife, BA in Elementary education & Psychology）



私のナイス・プレイス 50

玄妙庵から

山崎泰孝

ナイススペースってどんなところをいうんだろう…。僕にとって、福井には夕暮れの田んぼの景色、芦屋には大阪湾の夕日を眺めながら横になれるスペースがある。

僕にとって大阪は仕事の場であり、創造の場である。昔から文化や芸術が生まれるところは、都市のゴミ溜めか少し卑猥なところと決まっていた。ここ玄妙庵から、三津寺さんの屋根をのぞむ風景は、最も大阪らしいゴチャゴチャした飲み屋ビルの3階、一番奥にしつらえられたナイススペースである。都市のエネルギーの中で、文化的な人環境と歴史の香りを感じる思索空間でもある。

（やまざき　やすたか　建築家、AZ環境計画研究所代表、福井工業大学教授）

構造の頁

185

プレキャスト・プレストレストコンクリート版を用いたドーム型シェル屋根の設計と施工

土居　健二

構造概要

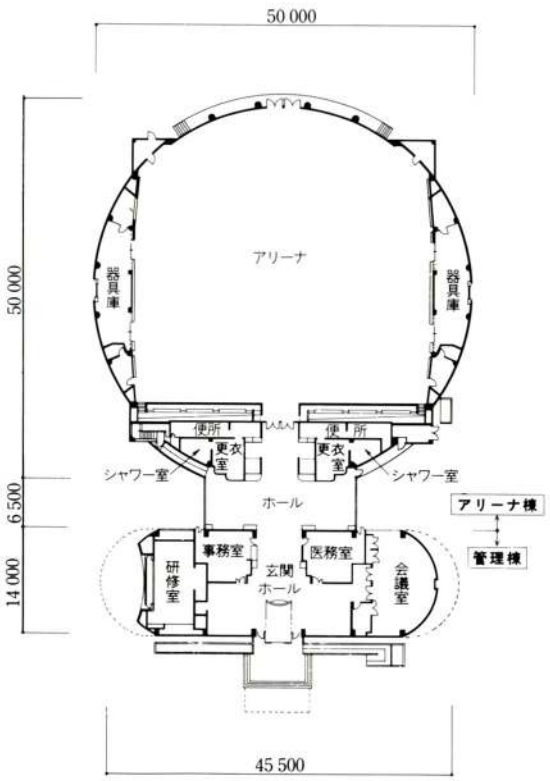
和泉市コミュニティー体育館は、円形のアリーナ部と、それに付属するフロンテージ部より構成されている。アリーナ部大屋根は工場製作によるプレキャスト・プレストレスト・コンクリートリブ付版（以下ＰＳＣ版と略記）を用いたドーム型シェル構造とし、大屋根を支持する下部架構（以下、主体部と略記）およびフロンテージ部は鉄筋コンクリートラーメン構造としている。建物平面図を**図－1**に、断面図を**図－2**に示す。

大屋根の形状

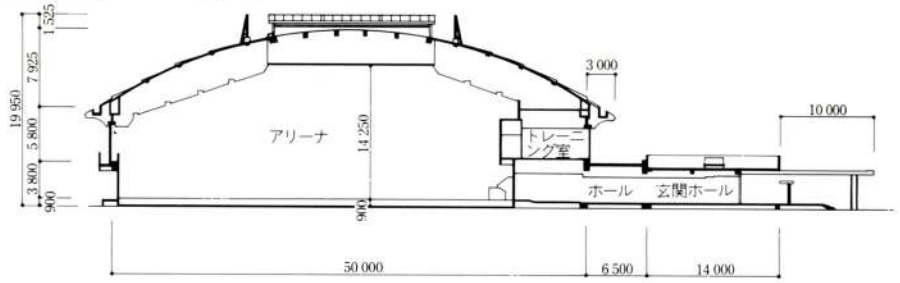
大屋根の構造は直径は直径50.0m、ライズ7.15m（曲率半径約47.3m）のドーム形状になっており、構成は主要部とトップライト部に分かれている。主要部は扇形のＰＳＣ版、計48ピースをリング状に敷きならべ、それらを一体化するために取り合い目地部にモルタル充填を施し、さらにリング方向にプレストレス導入を行っている。トップライト部は中心より直径17.0mとなっているが、主要部と切り離した構造としている。大屋根伏図を**図－3**に示す。

ＰＳＣ版の形状

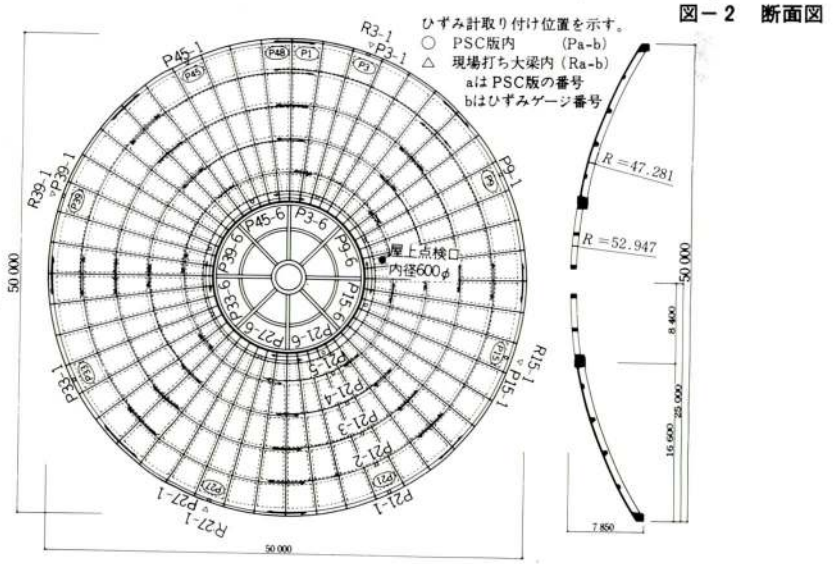
大屋根主要部を構成するセグメントは、すそ部幅3.25m、頭部幅1.0m、長さ17.8mの扇形となっている。ＰＳＣ版の断面は、120～200×750㎜の2本の梁型と、厚さ70㎜のスラブ部から構成されたチャンネル型となっている（**写真－1**）。ＰＳＣ版内部には6個の短辺方向リング梁が内蔵されており、それぞれのリング梁にはプレストレス導入のためのシースが設置されている。ＰＳＣ版の形状を**図－4**に示す。



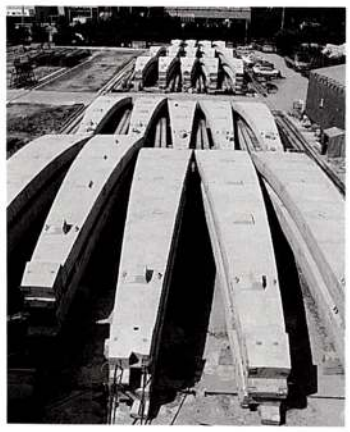
図－1　平面図



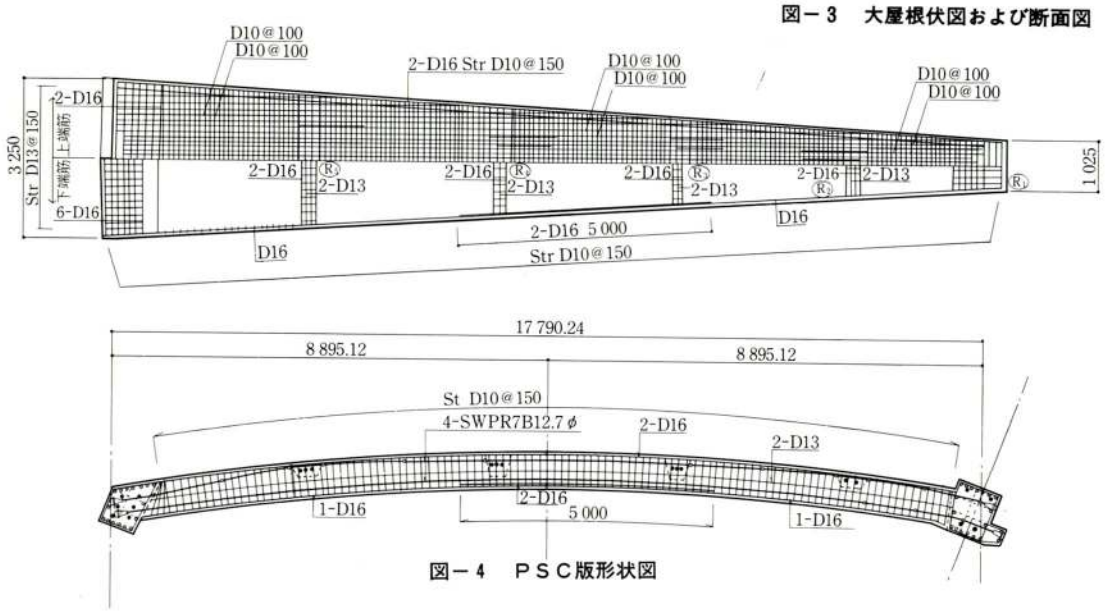
図－2　断面図



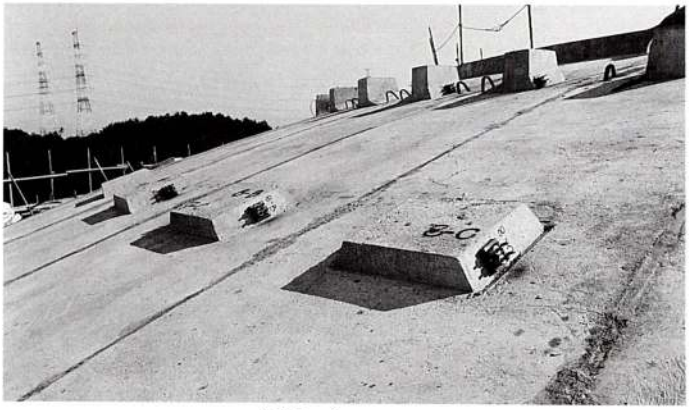
図－3　大屋根伏図および断面図



写真－1



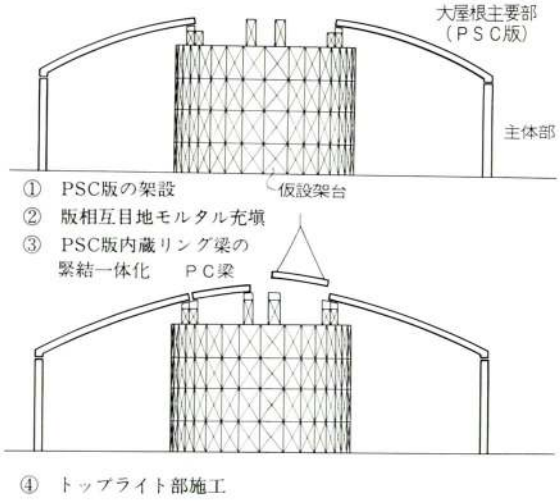
図－4　ＰＳＣ版形状図



写真－2



写真－3



図－5　大屋根施工手順

施工手順

大屋根の施工手順は、以下のとおりである。

① 予め、円形のアリーナ中央に設けた仮設架台と大屋根を支持する主体部の間に、扇形のＰＳＣ版をリング状に敷きならべる（**写真－2**）。

② ＰＳＣ版相互の目地部にモルタルを充填する。

③ ＰＳＣ版に内蔵したリング梁にプレストレスを導入し、緊結一体化する（**写真－3**）。

④ 大屋根中央のトップライト部を施工する（**図－5**）。

⑤ アリーナ中央に設けた仮設架台を撤去する。

⑥ 仕上げ工事を施工する。

解析方法

解析は、施工手順を考慮し立体モデルで行い、プログラムはＭＳＣ、ＮＡＳＴＲＵＮを使用した。考慮した応力は以下のとおりである。

① ＰＳＣ版架設時（単体）応力

② 支保工撤去時応力（自重）

③ 長期荷重時応力（自重＋積載）

④ 地震荷重時応力

⑤ 風荷重時応力

また、構造安全性を確認するため、①クリープ・乾燥収縮、②温度変化、③座屈安定性について検討を行った。さらにＰＳＣ版内蔵リング梁にひずみゲージを埋め込み、1988年10月25日～1990年1月30日の約1年3か月間縮み量を実測した。ゲージ埋込み位置は図－3の伏図に示した。縮み量の実測値は計算値の約80%となっており、良好な結果を得た。

（どい けんじ　フドウ建研株式会社大阪支店設計部構造課長）

今、時代は PC システム構法

営業品目

●建築工事・設計施工
ＰＣシステム建築、各種緊張工事
各種プレキャスト工事等の設計施工

●土木工事・設計施工
ＰＣ橋梁工事、人工地盤
アンカー工事等の設計施工

フドウ建研株式会社

取締役社長　白　井　義　惟

本社・東京支店　〒110 東京都台東区台東1丁目38番9号　ＴＥＬ03(837)6072
大　阪　支　店　〒541 大阪市中央区平野町4丁目2番16号　ＴＥＬ06(201)3737
九　州　支　店　〒812 福岡市博多区博多駅前2丁目11番16号　ＴＥＬ092(451)4170
名古屋支店　〒460 名古屋市中央区大須4丁目10番40号　ＴＥＬ052(262)3801

設備の頁

187

凍結防止弁

南　正文

凍結防止弁は、冬期氷点下を記録する地域や、時に氷点下となる地域の給水管や給水使用機器等において、これまでのように管内の水を抜いたり、加熱保温をするなどの作業を必要とせず、常に給水を止めることなく、管や機器内に滞留する凍結寸前の水を自動的に管外に排水させ、凍結による閉塞や破損を未然に防ぐことを目的とした凍結防止用自動弁である。

ここに紹介するN型（**図－1**）およびAF型（**図－2**）凍結防止弁は、動作室内の水の自然現象による水から氷への潜熱域での体積変化を直接、弁の開閉動作に利用した独自の作動方式を有し、従来品のような感熱体エレメントを一切使用していないため、開弁時の凍結温度に達していない水の放出を抑え、常に外気温度に適応した排水量を約束する自力式省エネ・省力化製品である。

その仕様を、**表－1**に示す。



図－1　N型凍結防止弁



図－2　AF型凍結防止弁

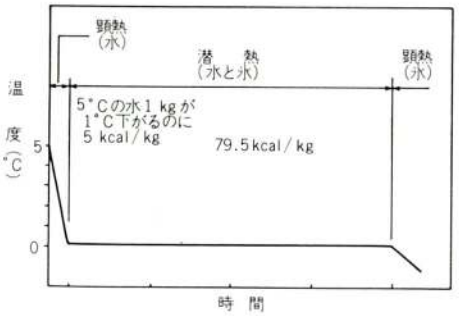
表－1　仕様

	N　型	AF型
使用圧力範囲(kgf/㎠)	0.1～10	0.1～10
使用温度範囲(　℃　)	−25～140	−20～140
最大排水量　(ℓ/h)	720	70
取り付け箇所	配管末	蛇口内

※N型の接続管径は、PF1/2　PT1/2　PT3/4（ただしPTの場合はザルボ専用継手を使用）

弁の開閉に氷の体積変化を利用

氷点下の気温が続くと、配管や機器内に滞留する水はやがて凍る。水が凍ると約10%体積が増加し、閉塞や破損事故につながることは周知のとおりである。しかし水が凍るには凝固熱（79.5kcal／kg）に相当する熱の移動が必要であり、**図－3**に示すように、顕熱に較べて約16倍の時間がかかる。この潜熱域での、多大な時間と10%の体積変化量と力および安定した温度は、この上ない自然の温度調整不要のエレメントである。



図－3　水と氷（5℃の水が氷になるまで）

従来品の感熱体エレメントを使用した凍結防止弁は顕熱域（5～0℃）のわずかな範囲内で、かつ1℃以上で微妙な開閉弁温度調整を必要とするが、NおよびAF型は、この潜熱域の長い時間帯を利用して常に0℃で開閉弁作動させることができ、しかも温度調整は一切不要となる。

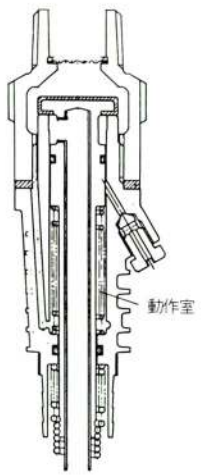
作動原理

1）凍結防止弁の動作室に、流入通路を介して給水管より水を充満させる。このとき弁は水圧力およびリターンバネ力により閉弁している。（**図－4**）

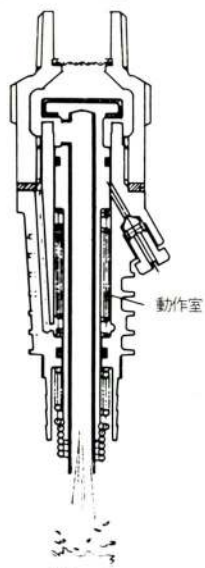
2）外気温度が降下し氷点下になると、給水管よりも速く動作室の水が氷結を始め（その降下速度比は約5倍）、水から氷への体積変化力で閉弁力に打ち勝って開弁（排水）を始める。

3）排水過程で埋設給水管内のやや温かい水が凍結防止弁の内部を通過すると、その通過熱量で動作室内の氷を溶かし、水圧力およびリターンバネ力で閉弁（止水）させる。このとき、通過水温の多くが凍結寸前の温度であったり、急激に外気温度が下がった場合は、気象条件に適応した排水を持続させる。（**図－5**）

4）以後、1）～3）の動作を繰り返す。



図－4



図－5

特長

1）外気温度感知で開弁（排水）、給水温度感知で閉弁（止水）するため、無駄な水の放出がなく、水の節約ができる。

2）動作部に水の自然現象による物性変化を利用している（感熱体エレメントを使用していないため）。

2）－1　動作室の開閉弁温度は常に0℃であり、微妙な温度調整の必要がなく、エレメント特有のヒステリシスによる開閉弁温度のバラツキがない。

2）－2　強大な体積膨張力で開弁するため、弁の作動が確実で、水圧の変化等による影響を受けない。また弁孔が大きくとれるため、ゴミ、スケール等による閉塞がない。

2）－3　給水・給湯配管を問わず、高温度域までの使用が可能。

3）気象状況に適応した排水をするため、排水を制御するオリフィスや定流量弁の内装が不要。

4）独自の機構により、シンプルな構造で耐久性に優れている。

5）ブロー弁の操作により、点検が容易にできる。

温度降下時間の算定

前述の潜熱域での温度降下時間比を〔凍結防止弁内〕と〔給水管〕とに当てはめ、下記条件で計算すると、

計算式

$$T=-AR\ln\frac{\theta-\theta_r}{\theta_o-\theta_r}+\frac{B}{4(\theta-\theta_r)}$$

T：温度降下時間（凍結防止弁の場合は開弁、給水管の場合は凍結時間）（h）
A：熱容量係数（kcal／m℃）
R：熱抵抗（mh℃／kcal）
θ：凍結水温（℃）
θ_r：外気温度（℃）
θ_o：初期水温（℃）
B：水の凝固係数（h℃）

計算条件

初期水温　　5℃
外気温度　　−5℃
風速　　5m／s
給水管径　　13㎜裸管（SGP）

※給水管内の静止水の1／4が氷結した時点を凍結とみなし、計算上の安全を考慮する。

計算結果

凍結防止弁の開弁時間	0.102時間
裸管の凍結時間	0.507時間
0.102時間経過後の管内水温	0.4℃

となり、凍結防止弁の開弁（排水）時の管内水温は0.4 ℃であり、0℃にも達していない。ゆえに、この条件下において、凍結防止弁は給水管に較べ約5倍速く温度降下することが分かり、確実に凍結は防止できる。

おわりに

時に氷点下となる地域等においては、凍結防止対策が不十分なケースが多く、事故発生時の被害が大きくなりがちである。あらかじめ凍結予防策として、給水管にはN型を、蛇口にはAF型凍結防止弁の使用をお奨めする。

また、これから配管工事をする場合には、水が自然流下できる配管勾配を容易に得られる寒冷地用エルボ継手（傾き1度10分）を含めて凍結防止対策をご検討いただきたい。

（みなみ　まさふみ　東亜高級継手バルブ製造株式会社）

美と建築
—— JIA大阪講演会

経済や産業構造の変革の進行する現代社会では、快適な都市環境づくりが大きな課題となっているが、建築の社会的・文化的な価値をより多くの人に認識してもらおうと「JIA大会'90千葉」の開催が予定されている。それに関連して、大阪講演会が建築本来の目的と美術的価値を再考しようと開かれる。

テーマ　美と建築
とき　1991年11月19日　PM6：30～8：30
ところ　テイジンホール
大阪市中央区南本町1－6－7
ＴＥＬ　06－268－3131
企画　菊竹清訓
講師　ゲオルギ・ストイロフ
ジョージ・グラスバーグ
（司会）東　孝光（大阪大学教授）
プロフィール　ゲオルギ・ストイロフ（ブルガリア）
建築家。1985～88年国際建築家連合（UIA）会長、現在、国際建築アカデミー（IAA）会長。
ジョージ・グラスバーグ（アルゼンチン）美術・建築評論家。ブエノスアイレスアート&コミュニケーションセンター（CAYC）理事、国際建築評論家委員会（CICA）理事、著書多数。
主催　日本オーチス・エレベーター㈱OTIS文化委員会
(社)新日本建築家協会
企画進行　㈱創作宣伝
問合せ　（ＴＥＬ　06－942－0681）

秋期講演会
—— 建設省建築研究所

とき　1990年11月21日(水)・22日(木)
ところ　安田生命ホール（東京・新宿駅西口）
■スケジュール
21日(水) AM10：00～12：25
1．長寿社会における住宅を考える
巽　和夫（京都大学教授）ほか
PM1：30～4：30
2．トーク&トーク再び、都市居住像のゆくえを探る
渡辺喜代美（東京都住宅局）ほか
22日(木) AM10：00～12：00
3．建築構造設計における地震力を考える
渡部　丹（東京都立大学教授）
PM1：10～4：30
4．多様な防災・安全を考える
馬場明生（建築研究所）ほか
主催　建設省建築研究所
協賛　（社）建築研究振興会
問合せ　建築研究所企画部企画調査課情報管理係
（ＴＥＬ　0298－64－2151）

1990建築仕上フォーラム
—— 展示会・シンポジウム



1989年の建築仕上フォーラム会場写真

とき　1990年11月1日(木)～4日(木)
ところ　日本コンベンションセンター（幕張メッセ）
テーマ　21世紀の家づくり・街づくり
入場料　展示会／有料1,000円
シンポジウム／有料（登録制・1セッション1,000円消費税込み）
主催　建築仕上フォーラム組織委員会
後援　(社)日本建築学会、(社)新日本建築家協会、(社)建築業協会、日本建築仕上学会、(社)インテリア産業協会、日本インテリア学会、(社)日本インテリアデザイナー協会、木造建築研究フォーラム、(財)建材試験センター、(財)千葉コンベンションビューロー、(財)建築研究協会
問合せ　1990仕上フォーラム運営委員会事務局
〒101 東京都千代田区神田佐久間町3－21－4 谷田部ビル内
ＴＥＬ　03－865－8999

国際デザイン・コンベンション'90

とき　1990年11月13日(火)AM10：00～PM5：30（会議）、PM6：00～8：00（トーク&ドリンク）
ところ　「遊学館」山形県学習センター
山形市緑町1－2－36
ＴＥＬ　0236－25－6411
テーマ　世界のなかの山形＝デザイン・シティの実現に向けて
主催　(財)国際デザイン交流協会
共催　国際デザイン・コンベンション'90—山形実行委員会
参加料　■会議（300名）
一般　6,000円
国際デザイン交流協会賛助会員　5,000円
学生　3,000円
■トーク&ドリンク（100名）　4,000円
問合せ　(財)国際デザイン交流協会事業第2部
ＴＥＬ　06－346－2611

グローバリゼーション・オブ・デザイン

とき　1990年11月8日(木)PM3：00～6：00
ところ　梅田センタービルＢ２Ｆ「クリスタルホール」
大阪市北区中崎西2－4－12
ＴＥＬ　06－373－9981
参加料　15,000円
定員　300名
申込方法　06－886－0360 ㈱リックデザイン（担当：赤尾／生藤）まで。
パネラー　・杉本貴志（スーパーポテト）
・ジェイムス・エバンソン（アーティスト・アーキテクト）
・マーク・リントット（PTCOファーイーストマネージャー）
・グレン・プシェルバーク（IDデザインナー）
問合せ　06－886－0360 ㈱リックデザイン

日本建築協会

月間の動き

平成２年８月分

理　事　会

第４回定例理事会

22日　４時～４時35分　於本会会議室

出席者　佐野会長ほか27名

議事　(1)建築文化センター構想の件

(2)工事用仮設塀に描かれた絵画等並びに建築物に付属するモニュメントの推薦依頼

(3)後援及び協賛の件

(4)入退会者承認の件

(5)報告事項

編　集　委　員　会

第５回作品作風小委員会

２日　６時半～８時半　於本会会議室

出席者　宮下副委員長ほか４名

議事　(1)最近の作品掲載状況・予定報告

(2)「新建築調査表」の作品の選定

(3)「Gallery」内容報告及び今後の予定

(4)「インテリア」の作品掲載について

第３回施工材料分科会

６日　４時～８時半　於本会会議室

出席者　有光幹事ほか３名

議事　本年度第２回特集案（12月号）の検討

第５回会員企画小委員会

６日　６時半～８時半　於本会会議室

出席者　高田副委員長ほか５名

議事　「建築と社会」（シリーズもの）の報告と掲載予定

第５回編集委員会

９日　４時～６時　於本会会議室

出席者　溝神委員長ほか６名

議事　(1)８月号「高強度化－設計の多様化をめざして」特集経過報告

(2)９月号「やわらかな住宅管理・ユーザーの役割」（仮称）特集経過報告

(3)10月号「兵庫県営繕の歩み」・「都市のナイスプレイス」特集経過報告

(4)11月号「第37回青年技術者」・「和歌山県の展望と景観」特集経過報告

(5)12月号「施工材料」特集経過報告

(6)１月号「再開発・面開発」（仮称）特集経過報告

(7)２月号「オフィス・インテリア」（仮称）特集経過報告

(8)特集企画・シリーズ・作品・その他の検討

(9)収支状況報告

第４回法令分科会

21日　２時～４時　於本会会議室

出席者　島田幹事ほか２名

議事　法令特集の企画

第６回和歌山支部創立40周年記念特集幹事会

22日　１時半～４時　於日本建築協会和歌山支部会議室

出席者　溝神委員長、北山支部長ほか９名

議事　「建築と社会」和歌山支部創立40周年記念特集の検討

第３回設備分科会

22日　４時～６時　於本会会議室

出席者　遠藤幹事ほか５名

議事　(1)「設備の頁」の企画

(2)設備特集の企画

第３回計画系分科会－建築系－

23日　６時～９時　於本会会議室

出席者　上杉幹事ほか４名

議事　平成３年４月号「建築計画系」特集の検討

第４回構造分科会

23日　４時～５時半　於本会会議室

出席者　山崎幹事ほか４名

議事　(1)「構造の頁」の企画

(2)「建築と土木」特集共同企画の件

第５回広告企画小委員会

28日　４時～５時半　於本会会議室

出席者　溝神委員長ほか４名

議事　(1)８月号「高強度化－設計の多様化をめざして」特集広告途中経過報告

(2)９月号「やわらかな住宅管理・ユーザーの役割」（仮称）特集広告途中経過報告

(3)10月号「兵庫県営繕の歩み」・「都市のナイス・プレイス」特集広告途中経過報告

(4)11月号「第37回青年技術者選衡」・「和歌山県の展望と景観」特集広告途中経過報告

(5)12月号「施工材料」特集広告途中経過報告

(6)平成２年度独自特集企画、その他

(7)収支状況報告

事　業　委　員　会

第３回リゾート施設見学分科会

２日　６時～７時45分　於本会会議室

出席者　中川幹事ほか２名

議事　見学会の企画について

第２回「新梅田シティ」企画分科会

２日　７時～９時　於本会会議室

出席者　松隈主査ほか３名

議事　(1)作品展の会場

(2)講演会場

(3)今後のスケジュール

第５回「関西の祭事」研究会

３日　６時半～９時　於本会会議室

出席者　大森主査ほか３名

議事　(1)「愛宕の火まつり」現地ヒアリングの結果

(2)「愛宕の火まつり」当日の作業スケジュール

第４回「ヴォーリズ」企画分科会

７日　６時半～８時半　於本会会議室

出席者　杉本主査ほか４名

議事　(1)「神戸女学院とヴォーリズの住宅を訪ねる」実施報告

(2)反省と今後の企画

第６回「海外建築視察旅行」企画分科会

８日　６時半～８時半　於本会会議室

出席者　大川幹事ほか３名

議事　(1)旅行社の選定

(2)今後の作業スケジュール

第７回「海外建築視察旅行」企画分科会

28日　６時半～９時　於本会会議室

出席者　大川幹事ほか２名

議事　(1)旅行社選定の結果報告

(2)予告原稿

(3)協賛

建　材　委　員　会

第４回建材委員会

８日　３時半～５時半　於本会会議室

出席者　金井委員長ほか14名

材料説明：エバーフレッシュII／戸田委員

今後の検討建材：マルチプライマー他／松村委員　ペリアパネル／竹田委員

建　築　ク　ラ　ブ

第220回朝食会

21日　８時～９時半　於大阪グランドホテル

演題　「論語と経営」

講師　伊與田　覚（財）成人教学研究所）

出席者　61名

７月・８月の入会者（敬称略）

〔団体会員４社〕

㈱ＩＡＯ竹田設計室　㈱サンロック・イズミ

㈱熊谷組名古屋支店　㈱大丸

〔個人会員32名〕

大島　弘資（安井建築設計㈱名古屋）　篠原　佳則（安井建築設計㈱名古屋）　野崎　敏夫（安井建築設計㈱名古屋）

益田　正博（安井建築設計㈱名古屋）　脇田　一美（安井建築設計㈱名古屋）　西本　伸男（大成建設）

渡邊　吉晟（大成建設）　伊藤弥太郎（鹿島建設名古屋支店）　太田　貞興（太田建築設計事務所）

奥　高儀（フジタ工業）　加藤　和雄（加藤状況空間研究所）　仙田　篤（鴻池組名古屋）

森田　時雄（川鉄建材工業）　渥美　信（西日本旅客鉄道）　石田　健（西日本旅客鉄道）

小佐見祐二（西日本旅客鉄道）　新宅　忠也（西日本旅客鉄道）　末吉　正（西日本旅客鉄道）

竹田　晃（西日本旅客鉄道）　藤田　昌也（西日本旅客鉄道）　坪根　英慈（西日本旅客鉄道）

宮崎　博司（西日本旅客鉄道）　横谷　一成（西日本旅客鉄道）　鈴木　慶智（伊藤建築設計事務所）

竹内　祐治（伊藤建築設計事務所）　古市　季也（伊藤建築設計事務所）　澤野　隆（邑中建築設計事務所）

鈴木　敏司（住都工房）　永濱彰一郎（レールシティー西開発）　八木　玲（ＩＡＯ竹田設計室）

山田　誠（平野木工）　渡辺　誠一（セントラル技術センター）

名門の反攻S.O.M.シカゴ事務所の最新作二題

モダニズム華やかなりし頃、S.O.M.（＊1）は世界の建築界にとって指導的立場であり続けたと言っても過言ではない。特にそのシカゴ事務所は、サリヴァンを始めとするシカゴ派、ライト、ミースと続く米国建築界本流の嫡子として確固たる存在の基盤を築き上げていた。ダウンタウンの領域を明示するかのように南北端にそびえるシアーズ・タワー（＊2）とジョン・ハンコック・センター（＊3）は、そのシステマティックな外観構成、機能的な平面構成から構造形式に至る迄、その時々のモダニズムの成果を唱い上げる金字塔だったのである。

しかし、時代は推移する。その教条の矛盾が糾弾され、ポスト・モダンと称されるいささか楽観的な復古主義や、既成の価値観を否定することに表現としての存在意義を求める脱構築主義が喧伝されるに及び、S.O.M. は何時しかジャーナリズムの表舞台からすっかり疎遠になってしまったようだ。さらに商業建築の分野においては、歴史主義へ大きくシフトしてしまった米国世論に則り、鮮やかに転身を遂げたヤーンやK.P.F. と言った“流行作家”の攻勢の前に、変節を逡巡し近代に固執を続けたその存在は次第に薄らぎ、一時は組織の存立さえ危ぶまれる不振に陥ったとのことである。

その大組織が漸く重い腰を上げるかのように反攻に撃って出たのは数年前のことである。一転、歴史に着目した計画案の数々を一挙に公開し、各地で展示会を開催する等キャンペーン擬いの公報活動が話題を集めたのを想いだす。当時、あまりの変身振りにそれら竣工時の完成度を訝る声も少なくなかったが、今回、シカゴ事務所によるその成果二作品、AT&Tコーポレイト・センター（＊4）とNBCタワー（＊5）を竣工直後の状態で観ることができた。

AT&Tは、シアーズ・タワーから僅か一ブロック北東に離れて新築された。全面石貼りで左右相対称、60階建ての頂部に近付くに従い三段階にわたってセットバックしており、一目見るなりシカゴの正統なスカイスクレーパーの復活を意図して設計されたことがわかる。その高さに比較して幅員の小さな前面道路に立って仰ぎ見ると、威圧的な迄に堂々たるタワーであり、むしろ古色蒼然たる風格にさえ満ちている。石とサッシ及びガラスの色は慎重に選ばれたであろう結果、街並みにほぼ完全に同化しており、やや饒舌気味ながら基壇部のディテールも濃密である。ロビー内部も豊饒なデザインで貫かれ、古き良き時代のアメリカ映画に登場するエスタブリッシュされた白人達がいかにも好みそうな優雅な雰囲気が創出されている。

一方NBCタワーは、全米三大ネットワークのひとつであるNBC社の中部における一大拠点として、ループの北東、シカゴ川の対岸に建設された。周辺はやや低密度の開発途上地域である上、川沿いに位置するため四周からその全容を眺めることができる絶好のロケーションにある。AT&Tに比較するとこちらは垂直性が遙かに強調されており、やはり三段階に大きくセットバックした二段目において恰もフライング・バットレスのように構造フレームを露出した処理がなされているのが特徴的である。担当者の言によれば、それらは西側に隣接するトリビューン・タワー（＊6）の頂部に呼応するよう意図されたものであり、全体のフォルムに緊張感を与えた上に力強さをも表象しており、その現代的解釈は成功したと言って良いだろう。基壇部のディテールはAT&Tと比べるとやや抑制的ではあるが密度は高く、建物全体の調子にも相応しいものである。地盤面においては、人と車の導線計画から前面広場の構成、舗道のパターンやストリート・ファニチュアの配置、ディテール、そして埴栽計画に至る迄、街区全体が周到に統制されていた。

両者を比較した上で総じて論ずれば、NBCタワーの方がより高い完成度を有している印象を受けた。AT&Tもデザインの質は高いものであり、伝統的なスカイスクレーパーの蘇生と言う命題に関して言えば充分成功の部類に入るとは思うが、全体としてややデザイン過剰の感がした。近代精神のもと要素を“消去”して行く手法に長けた建築家達が、一転“付加”する方向を試みた挙句、勇み足的に厚化粧し過ぎたと言った風貌である。一方、NBCタワーは伝統的な衣をまといながらも所謂“SOMらしさ”が建物全体から漂っている。新生SOMの再出発の布石として捉えても良いのではなかろうか。

それにしても、川越しにNBCタワーを眺めていると、サーリネン父（＊7）によるトリビューン・タワー・コンペ二等案の姿が彷彿として来るのは筆者だけではないだろう。当時、“近代”を体現した進取の気性が大いに話題を呼んだ案が、70年もの懸隔を経て当選案の隣に、しかもSOMによって“連想”されるなど余りに寓意的に過ぎる話ではあるが、逆に、それは今日の米国の建築事情を端的に物語っていると言えるのかも知れない。

シーザー・ペリ・アンド・アソシエイツに勤務しつつ、ジャーナリズムから情報を吸収する毎日を続けていると、米国の建築を取り巻く環境が、漸次保守的な傾向を強めていることが体感できる。AT&T,NBC 共、言わば時代の先端を行く大企業であり、日本においてであれば技術至上主義的なアプローチが最初に考慮されてもよいところであるが、そのような発想自体まるで禁忌であるかのような雰囲気である。現にシカゴにおいては丹下健三による作品（＊8）も建設中であるが、ミラーガラスと金属板による鋭角的な表現が評論家の間では散々の不評を買っている（＊9）。

大企業によるスカイスクレーパーであればそれだけ、企業の姿勢が建物に反映されることが求められる。米国の強い世論の前に、経営陣も建築家もそれに適う方向性が強いられるのもある程度やむを得ないのかも知れない。しかし新世紀を目前にしながらこのような状況がいつ迄も続くとも到底考え難い。歴史学的な見地に立てば、何れ閉塞感が深まり、それを打破する状況の到来が希求されるに至る筈であろうが、その政治と経済同様、具体的な見通しが未だ全く立っていないのがこの国の現状のようである。

（薄田　学／竹中工務店設計部）

＊1　SKIDMORE, OWINGS & MERRILL, SINCE 1935
＊2　SEARS TOWER, CHICAGO, ILLINOIS, 1974
＊3　JOHN HANCOCK CENTER, CHICAGO, ILLINOIS, 1970
＊4　AT&T COOPERATE CENTER, CHICAGO, ILLINOIS, 1990
＊5　NBC TOWER, CHICAGO, ILLINOIS, 1990
＊6　TRIBUNE TOWER, CHICAGO, ILLINOIS, 1925
＊7　GOTTLIEB ELIEL SAARINEN, 1873-1950
＊8　AMA MEDICAL HEADQUARTERS, CHICAGO, ILLINOIS
＊9　ARCHITECTURE, FEBRUARY, 1990
＊10　折しも、この記事の執筆中に、かってS.O.M. ニューヨーク事務所を率いたGORDON BANSHAFT氏の訃報が伝えられた。81歳であった。冥福を祈りたい。



AT&Tコーポレイト・センター全景



NBCタワー全景

劣化した打放しコンクリートの

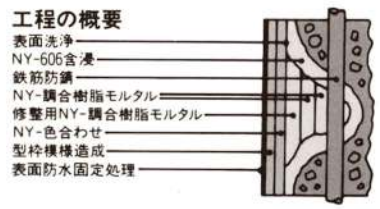
意匠復元、超耐候性付与。

14年の実績

吉田工法は、打放しコンクリートの耐久性を内面から改修します。含浸強化剤「NY-606」、補修剤「NY-調合樹脂モルタル」でコンクリートに抜群の接着性と強度を持たせ、劣化を防止。さらにトップコート「NY-9090」で超耐候性仕上げです。しかも、独特の型枠模様も設計当時のイメージに美しく甦らせます。(PAT.P.)

●責任施工で10年間の保証付

工程の概要



超耐候性特殊弾性アクリルシリコン樹脂系仕上げ

打放しコンクリート

若返りシステム

RENOVATION 吉田工法



カタログをご請求ください。

ニチエー吉田株式会社

本　社　〒435 静岡県浜松市上西町1314番地 ☎(0534)64-2111 FAX(0534)64-2117
営業所　東京 ☎(03)718-7695　大阪 ☎(06)399-7958

好評発売中　サビ・型枠のあく用特殊洗浄剤　ケミカルエースR・H

新刊　全国書店で好評発売中！

建築技術者のための

建築構造問題快答集13

建築構造設計に携わる技術者が実務の上で遭遇した疑問に対して、その道の先達が明快に回答する他に類書を見ないQ＆A集。

石黒徳衛　監修　A5判　328頁　税込定価3,900円

実例　地質と場所打ち杭の設計

東京および周辺385箇所の土質&施工データマップ付き

場所打ち杭の設計を地質という観点から捉え、設計例を用いてわかりやすく解説。構造設計者・施工者必携の貴重な資料集。

佐竹次男 北中将博 共著　A5判　368頁　税込定価6,800円

別冊「建築技術」Vol.2　夏涼しく冬暖かい住まい

快適な住まいづくりのすべて

温熱環境に関するノウハウを、設計者や居住者、メーカーの方々に向けて詳細に解説する〝実用保存版シリーズ第2号〟。

建設省建築研究所 監修　A4判　260頁　定価3,300円

株式会社　建築技術

〒151 東京都渋谷区幡ヶ谷1-1-2 福西ビル
TEL. 03-5371-3811　FAX. 03-5371-8282

建築技術者必携の専門誌

建築技術11

10月18日
全国書店一斉発売
税込定価 1,240円

●特集

―中高層ビルのファサード―

新・ファサードシステム

この特集では、今後の中高層ビルのファサードシステムのイメージを提案し、最近のカーテンウォールの事例を多数集めて紹介します。

連載記事

①高齢化社会の住宅
高齢化対応住宅の技術的条件

②新・固定モーメント法
剛節材と一端ヒンジ材の混合フレーム

1．総論
●中高層ビルと町づくり●新・ファサードシステムについて●ビルディングシステムの方向性について

2．新・ファサードの考え方
●「新・ファサード」の⇨対象となるビルディング・タイプ、求められる生産供給・構法・デザイン上の条件、具体像とその展開

3．カーテンウォール現況分析
●中高層ビルのファサードの現況●メタルカーテンウォールとPCカーテンウォール（特長と利用法）●GRC・CFRC（特長と利用法）

4．乾式外壁構法
●乾式外壁構法の現況と動向●新・ファサードシステムの開発研究委員会レポートから

5．最近の中高層ビルファサード
●メタルカーテンウォール●PCカーテンウォール●GRCカーテンウォール●CFRCカーテンウォール●ALCパネル

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市中央区三宮町3−7−6(神戸フクトクビル5階)
電話　神戸(331) 0881〜3
支店　大阪市北区西天満2丁目6番8号(堂ビル5階)
電話　大阪(364) 2031〜4
倉庫　神戸市東灘区御影石町4丁目 (電話811-3610)

OM

テトカッパー防水層

カッパー防水帯 ——— コーパータイト／オクロン防水帯

資料をご請求下さい。

奥山化工業株式会社

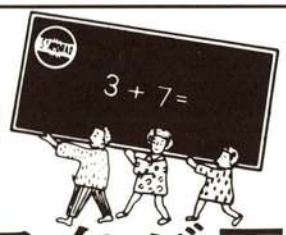
本　社 東京都中央区銀座8-4-9 奥山ビル　TEL03(571)2703㈹ FAX03(571)0264
大阪事務所 TEL06(391)1081−2 FAX 06(395)2109　名古屋出張所 TEL052(811)3660
横浜営業所 TEL045(320)4832　FAX045(320)4765　厚木出張所 TEL0462(21)1761 FAX0462(23)1341
埼玉営業所 TEL048(774)2845　茨城出張所 TEL0292(28)0878 FAX0292(28)2614

新しい時代の、新しい扉をひらきたい。

TOYO Shutter

東洋シヤッター株式会社

本　社　〒540 大阪市中央区常盤町1−3−8（日本生命谷町ビル）
TEL (06)943−6571(代)
■東京/横浜/盛岡/仙台/水戸/静岡/岡崎/名古屋/富山/大津/京都/神戸/広島/高松/福岡/他全国主要都市



Standard　Board&Slate

フタバ工業

〒547　大阪市平野区加美北3−4−5　TEL 大阪06(792)5858(代)

奉仕感謝の店
タイル工事施工

株式会社 川岸窯業商店

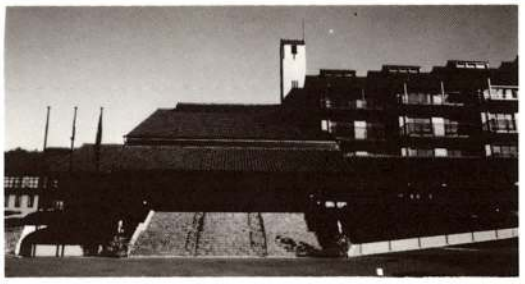
本　社　〒550 大阪市西区西本町1−13−33
電話　大阪 06(532)代0461　〒550
天理営業所　天理市丹波市新町50

情報処理・電算写植組版

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神田都義

本　社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町7-5-30　☎06(606)1111代
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町4-7 三宝ビル　☎0992 (26)4371
津山写植センター　〒708 津山市福田1372−1　☎0868 (28)4377



〒556 大阪市浪速区塩草二丁目二番三号
ファックス　五六一〜七四五四
☎　五六一〜七四一六

ナニワ瓦株式会社

あらゆる屋根工事の相談は、

空気調和・給排水・衛生・防災設備 設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話（434)6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話（302)2271(代)
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

商品は空気です。

熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03－344－1851(大代)　大阪本社☎06－448－3603(代)
大阪支社 ☎06－448－5851(代)　名古屋支店 ☎052－211－1535(代)　中国支店 ☎082－247－5541
九州支店 ☎092－431－2147(代)　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒650 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)441-8231
東京本社　〒102 東京都千代田区富士見2丁目15番10号　電話(03)261-8231
支　社　名古屋・福岡
支　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・川崎・松江・徳島・下関・長崎・大分・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン
技術研究所　〒354 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

空気調和　搬送機設備
給排水衛生　設計施工
人に優しい環境づくり

第一工業株式会社

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話　06－364－6661(代表)
本　社　〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話　03－211－8511(代表)

空気調和設備　産業設備
給排水設備　水処理施設
電気設備　環境施設

三機工業株式会社

取締役社長　白谷清二
大阪支店長　三田村嘉也

大阪支店　大阪市中央区北浜2－2－21　電話06(202)3071(代表)
本　店　東京都千代田区有楽町1-4-1　電話03(502)6111(大代)
支　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国

空気調和設備
換気・除塵設備設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区靱本町3－1－27　TEL(443) 8071
本　社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支　店　名古屋　福岡

空気調和設備
衛生設備設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話(352) 1131(代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話(667) 3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

ガス設備の設計・施工のご相談は
大阪ガス指定工事会社・大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

本　社
大阪営業所　大阪市北区西天満5-11-12　電 06－313－1846
枚方営業所　枚方市甲斐田東町9－3　電0720－49－2128

空気調和・衛生設備・設計施工

株式会社 三晃空調

本　社　大阪市中央区城見2丁目1番61号ツイン21MIDタワー　電話 06－949－1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03－344－1911
大阪本店　大阪市北区西天満4丁目6番18号　電話 06－363－1371
支　店　仙台市青葉区大町2丁目2番10号　電話022－261－3002
名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号　電話052－581－8571
広島市中区紙屋町1丁目2番22号　電話082－247－4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092－761－3795
営業所　札幌・横浜・京都・神戸・松江
出張所　青森・秋田・盛岡・大宮・千葉・川崎・富山・福井・和歌山・鳥取・岡山・高松・下関・熊本・鹿児島・沖縄

給・排水・衛生・消火・空調設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市北区中津6丁目8番4号　**電話大阪(458)3628番**
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西・神戸

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む

株式会社精研

本　社　大阪市中央区瓦屋町2丁目11番16号(オートセンタービル1，2階)
郵便番号542　電話 大阪（06）768－5031　代表
メンテナンス部　電　話　大阪（06）768－1651　代表
東京支店　東京都文京区小石川1丁目12番14号（日本生命小石川ビル7階）
郵便番号112　電話（03）5689－2351代表

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話（06)352－3501(代)
三重支店　津市栄町2－111　電話(0592)26－3610(代)
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53－7431(代)
滋賀営業所　大津市中央2丁目4-28　電話(0775)22－9738(代)



電気を美学する。

K栗原工業株式会社

本社
〒530 大阪市北区角田町1番1号(東阪急ビル) ☎(06)313-1101
東京本店
105 東京都港区芝大門1-4-8(浜松町清和ビル)
支店
東関東・横浜・名古屋・大阪南・神戸・広島・四国・九州・シンガポール

Carrier

冷暖房はCARRIER キャリア

東洋キヤリア工業㈱デストビューター関西地区

日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話 大阪 (384) 1201～7

電気工事設計施工

株式会社 三興社

代表取締役 土井敏裕

本　社　大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル5階)
電　話　06(361)3671(代)
支　店　東京都中央区日本橋茅場町2丁目17番3号
電　話　03(666)1478(代)
営業所　堺・泉州・泉南・滋賀

誠実と技術でお応えする

住友電設株式会社

取締役会長 代谷正元
取締役社長 相馬一男

本社／〒553 大阪市福島区福島7丁目22-8 ☎(06)452-1151(大代)　東京／〒105 東京都港区芝2丁目2－17 ☎(03)454-7311(大代)

営業種目 設計・施工・監理

●電力工事
発変電設備工事
架空送配電線工事
地中送配電線工事

●設備工事
ビル電気設備工事
工場電気設備工事
防爆電気設備工事
計装工事
空調工事
給排水衛生工事
特殊配管工事
消防施設設備工事

●プラント工事
●情報システム工事
光伝送システム工事
CATVシステム工事
各種アンテナ装置工事

電気設備・計装制御設備・空調設備・クリーンルーム設備・プラント設備
給排水衛生設備・エネルギー集中監視システム…設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納秀一

本　社　〒530 大阪市北区西天満2-6-8(堂ビル)　TEL 06(364)1471・FAX 06(364)5533
東京支社　〒105 東京都港区新橋2-16(ニュー新橋ビル)　TEL 03(504)0231・FAX 03(504)0268
名古屋支店　〒462 名古屋市北区金城3-12-14　TEL052(991)5131・FAX052(914)7535
神戸支店　〒657 神戸市灘区岩屋中町1-2-9(エビスビル)　TEL078(881)5571・FAX078(871)6281
堺研究所　〒590 大阪府堺市三宝町七丁369　TEL0722(27)8408・FAX0722(27)1424

電気設備 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山本貴士

本　社　大阪市北区中之島3－2－4　朝日ビル　TEL 大阪06(385)1361(代)
大阪営業所　TEL 大阪06(385)1361(代)　京都営業所　TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所　TEL 東京03(574)0665　福岡出張所　TEL 福岡092(771)6168

特殊壁装材製造販売　和室に最適

●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)

(株)ホクシンクロス

〒583 大阪府羽曳野市島泉8－173－1
TEL(0729)39－3610

工場　〒580　大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子501

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

関西支社

専務取締役支社長 横田幸一

大阪市中央区高麗橋4丁目3番7号　電話大阪(202)0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支　社　北海道・東北・丸ノ内・新宿・神奈川・東関東・中部・九州

営業種目

●防水工事　塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法　各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事　各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事　シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹付工事　アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建設業許可　大阪府知事許可（般－53）第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員

大阪市北区末広町3－21
星和地所扇町ビル201S
TEL06(315)0701

㈱特殊技研

Construction chemistry for the future.

コンクリート用混和剤／コンクリート用補修材
高性能無収縮材／コンクリート用高性能床材

Master Builders Technologies

ポゾリス物産株式会社
日曹マスターピルダーズ株式会社

本　社：東京都港区六本木3－16－26 TEL03-582-8813
大阪支店：大阪市中央区北浜3-2-23(信愛ビル) TEL06-202-3294

技術と信頼で人と企業に貢献する

青葉印刷株式会社

代表取締役社長 依藤孝行

〒534 大阪市都島区中野町2丁目10番11号　TEL(06)351—5428(代)
FAX(06)351—5299

省エネルギー時代の断熱用シート防水材

日立バイナリーシートP

日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。

日立電線株式會社　本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)

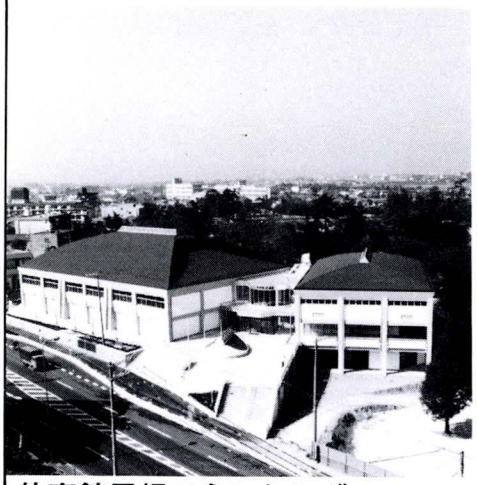
特　許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

半世紀の実績が誇る技術とアフターケアー！

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種
- オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
- オリエンタルスチールライト(ＳＴＬ)
- オリエンタルメタル(ＯＰＭ)
- 鋼板製オリエンタルフネンシングル
- オリエンタルオリセラム


体育館屋根フネンシングル

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・ボルトレスルーフBL・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ボーロイド(断熱材)D.G.K.　※カタログを御請求下さい

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り３－26 松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
大阪支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷・姫路

東京本社及工場　〒335　蕨市塚越５丁目６番32号　電話 蕨(0484)42－3115(代)
支店及工場　東北・東京・関東・熊谷

デンカCSAファミリー製品

- **デンカCSA**（膨張性混和材）　コンクリートのひびわれ防止に
- **デンカタスコン**（グラウト用無収縮材）　鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
- **デンカキューテックス**（止水・補修用急硬セメント）　コンクリート躯体の漏水補修に
- **デンカES**（土質安定用急硬材）　地盤補強用薬注入
- **デンカΣ1000**（製品用超高度混和材）　コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に

電気化学工業株式会社
近畿地区販売店

浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・網野（07727）2－2220
舞鶴（0773）76－0133

金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）332－6861
TEL 東京（03）272－8501

小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）443－6181

光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）252－6000

株式会社トーゴー／本社
TEL 滋賀・守山(0775) 83－2381

建築と社会
第71輯第10号

社団法人 日本建築協会 〒530 大阪市北区梅田1の3の2100 電話大阪06(348)0635 FAX06(348)0634



パーホロンタイルカーペットシリーズ

パーホロンタイルカーペットは、自由に組み合わせることができます。素材に、美しい質感が持続するBCFナイロンと、スキやユガミのない一体感を保つ塩化ビニルを採用。寸法安定性にきわめて優れ、重さや温度変化によって変形することもありません。また、万一汚れても、その部分だけを交換するだけでOKです。オフィスやホテル、図書館など、人が集まる所におすすめします。

種　類	全　厚	特　長	色　数
LL-700	7.0㎜	高制電性タイプ	20色
LL-1000	6.5㎜	超制電性タイプ	24色(常備在庫10色)
LL-1000SV	6.5㎜	超制電性タイプ	24色(受注生産)
LL-2000	6.5㎜	高目付タイプ	24色(受注生産)
LL-2000SV	6.5㎜	超制電・高目付タイプ	24色(受注生産)
LC-1200	9.5㎜	制電性タイプ	15色(常備在庫9色)

塩ビ技術がタイルカーペットを変えた。 ——— 塩ビのバッキング材+BCFナイロン

●バッキング材に塩化ビニルを使用。温度変化や荷重による変形が少なく、寸法安定性に優れています。 ●サイズは500㎜×500㎜。施工、部分補修が容易です。 ●BCFナイロンを使用。耐摩耗性、弾性回復率に優れています。 ●洗剤による洗浄も可能です。 ●耐久性、吸音性、防炎性、制電性、電気絶縁性に優れています。

ときめきの生活空間をサイエンスする
ロンシール工業株式会社

●本　社／〒130 東京都墨田区緑4-15-3 TEL.03(5600)1821
●大阪支店／〒532 大阪市淀川区西中島3-9-13 大北ビル TEL.06 (304) 2700

●営業所
札　幌 TEL.011(531)2602　大　宮 TEL.048(664)1511　岡　山 TEL. 086926-4321
青　森 TEL.0177(77)1155　千　葉 TEL.0472(46)5851　高　松 TEL.0878(31)4177
仙　台 TEL.022(265)4771　横　浜 TEL.045(662)7370　広　島 TEL.082(211)2700
新　潟 TEL.025(243)3791　静　岡 TEL.0542(51)3712　福　岡 TEL.092(472)5857
金　沢 TEL.0762(92)1161　名古屋 TEL.052(935)7063　鹿児島 TEL.0992(58)6571

振替口座大阪一一二九七五番
正会員の購読料は会費に含めて徴収
定価九八〇円（本体九五一円 送料共 消費税二九円）